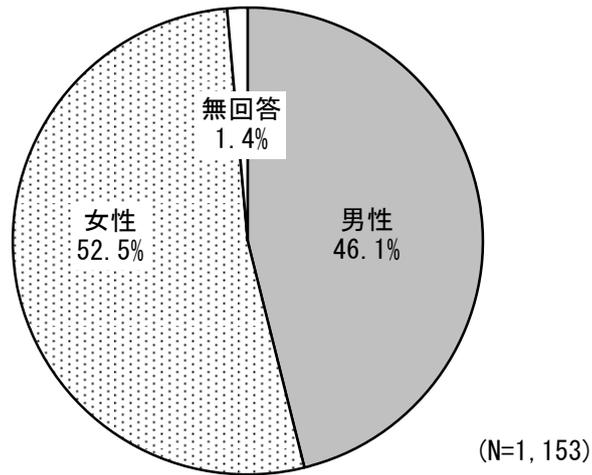


Ⅱ 調査結果

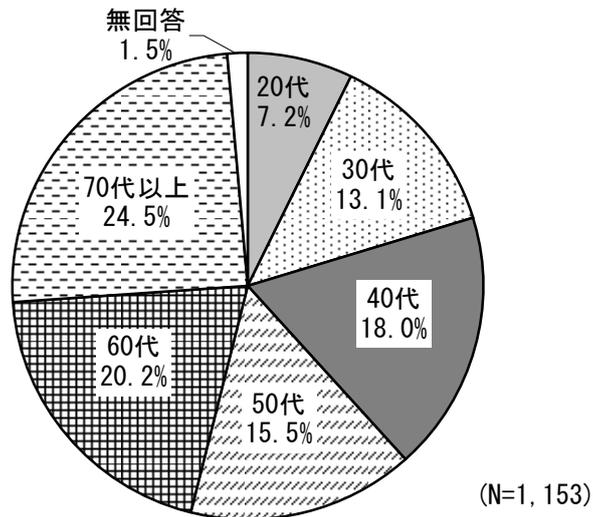
1 回答者の属性

F 1 性別



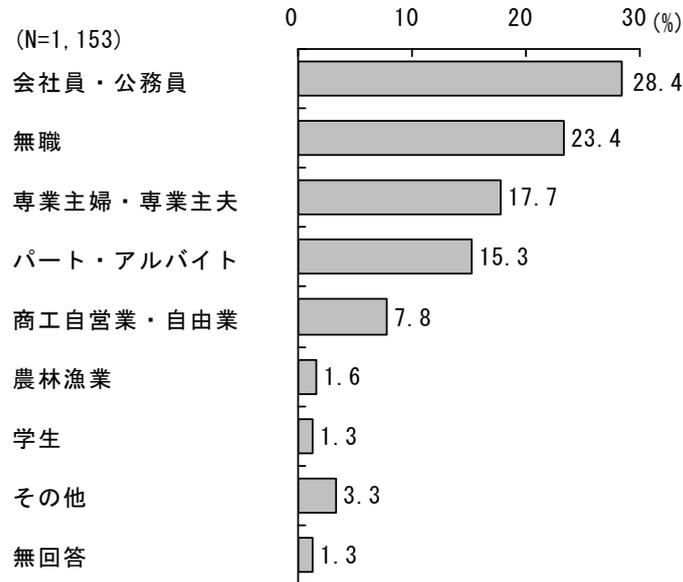
性別は、「女性」(52.5%)が、「男性」(46.1%)より多くなっている。

F 2 年齢



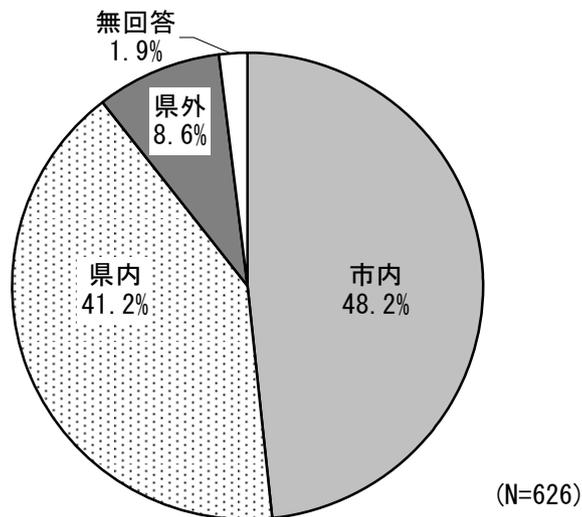
年齢は、「70代以上」(24.5%)が最も多く、次いで「60代」(20.2%)、「40代」(18.0%)、「50代」(15.5%)などとなっている。

F 3 職業



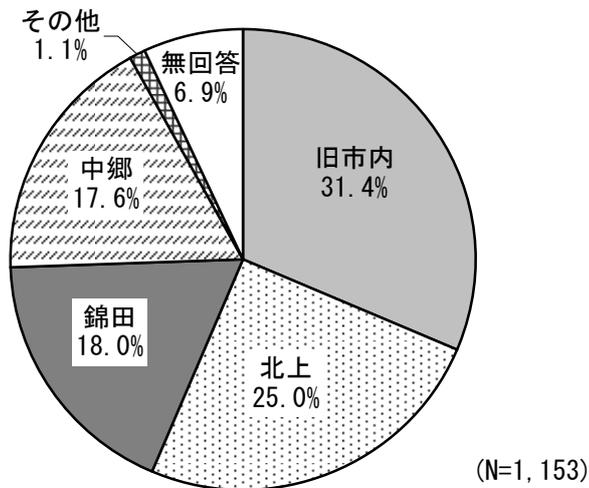
職業は、「会社員・公務員」(28.4%) が最も多く、次いで「無職」(23.4%)、「専業主婦・専業主夫」(17.7%) などとなっている。

F 4 職場（通学地）の所在地



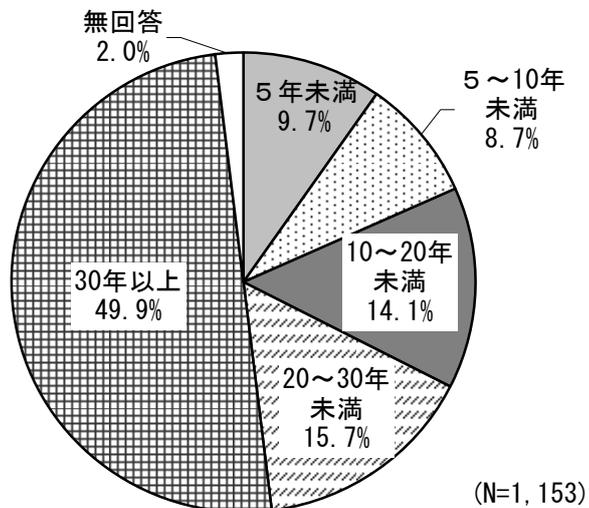
職場（通学地）の所在地は、「市内」(48.2%) が最も多く、次いで「県内」(41.2%)、「県外」(8.6%) となっている。「県内」、「県外」を合わせた“三島市外”は49.8%となっている。

F 5 居住地区



居住地区は、「旧市内」(31.4%)が最も多く、次いで「北上」(25.0%)、「錦田」(18.0%)、「中郷」(17.6%)となっている。

F 6 三島市在住歴

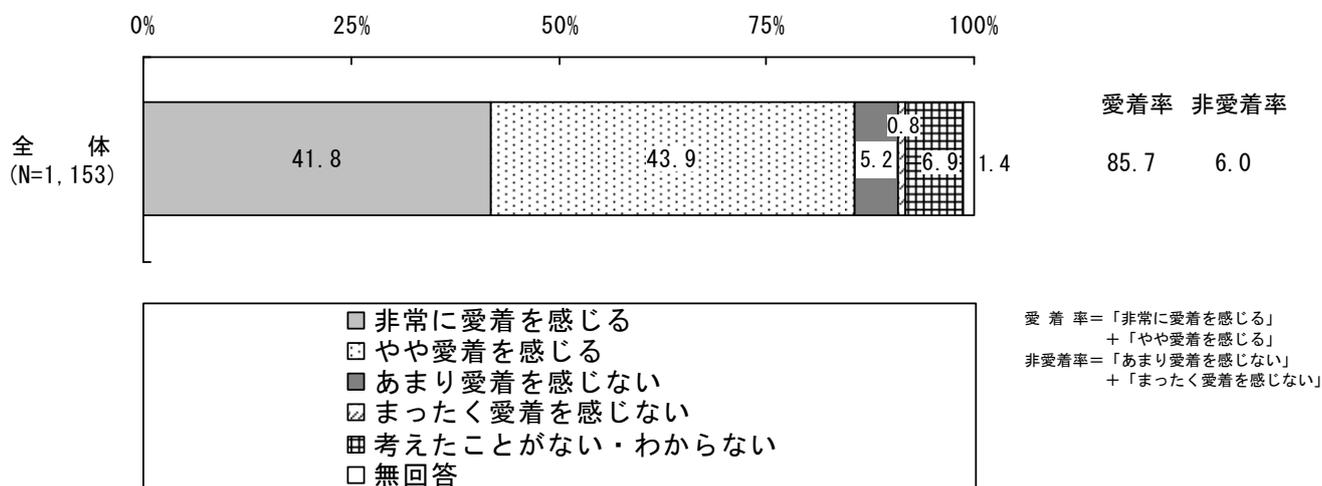


三島市在住歴は、「30年以上」(49.9%)が最も多く、次いで「20~30年未満」(15.7%)、「10~20年未満」(14.1%)、「5年未満」(9.7%)、「5~10年未満」(8.7%)となっている。

2 『居住環境』について

1) 三島市への愛着度

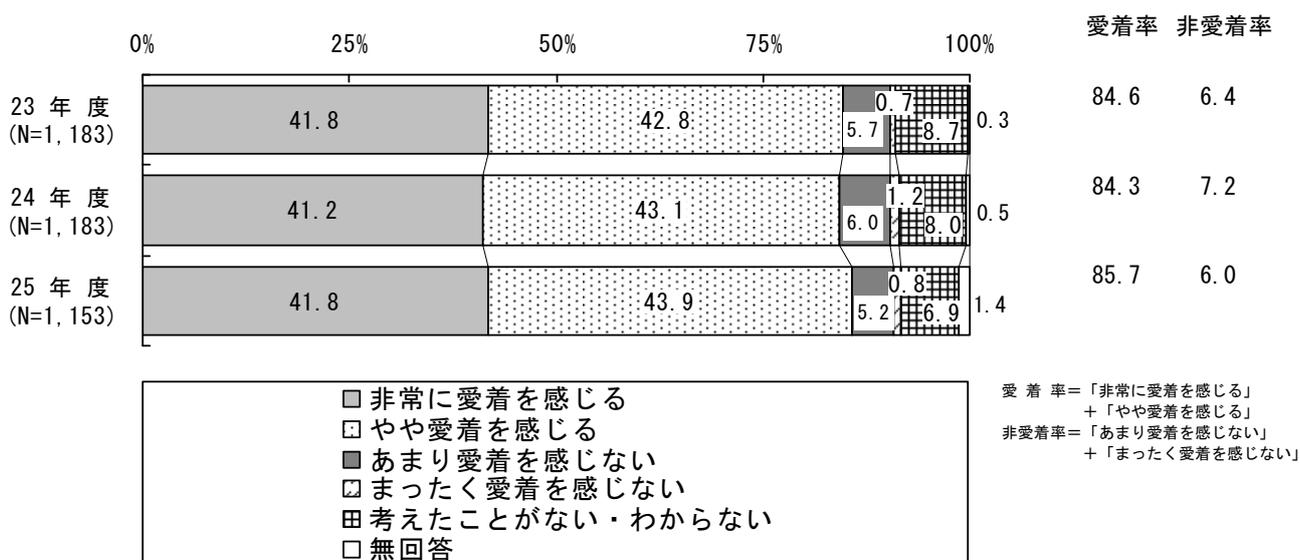
問1 あなたは、三島市に愛着を感じますか。(〇はひとつ)



*** 三島市への“愛着率”は85.7% ***

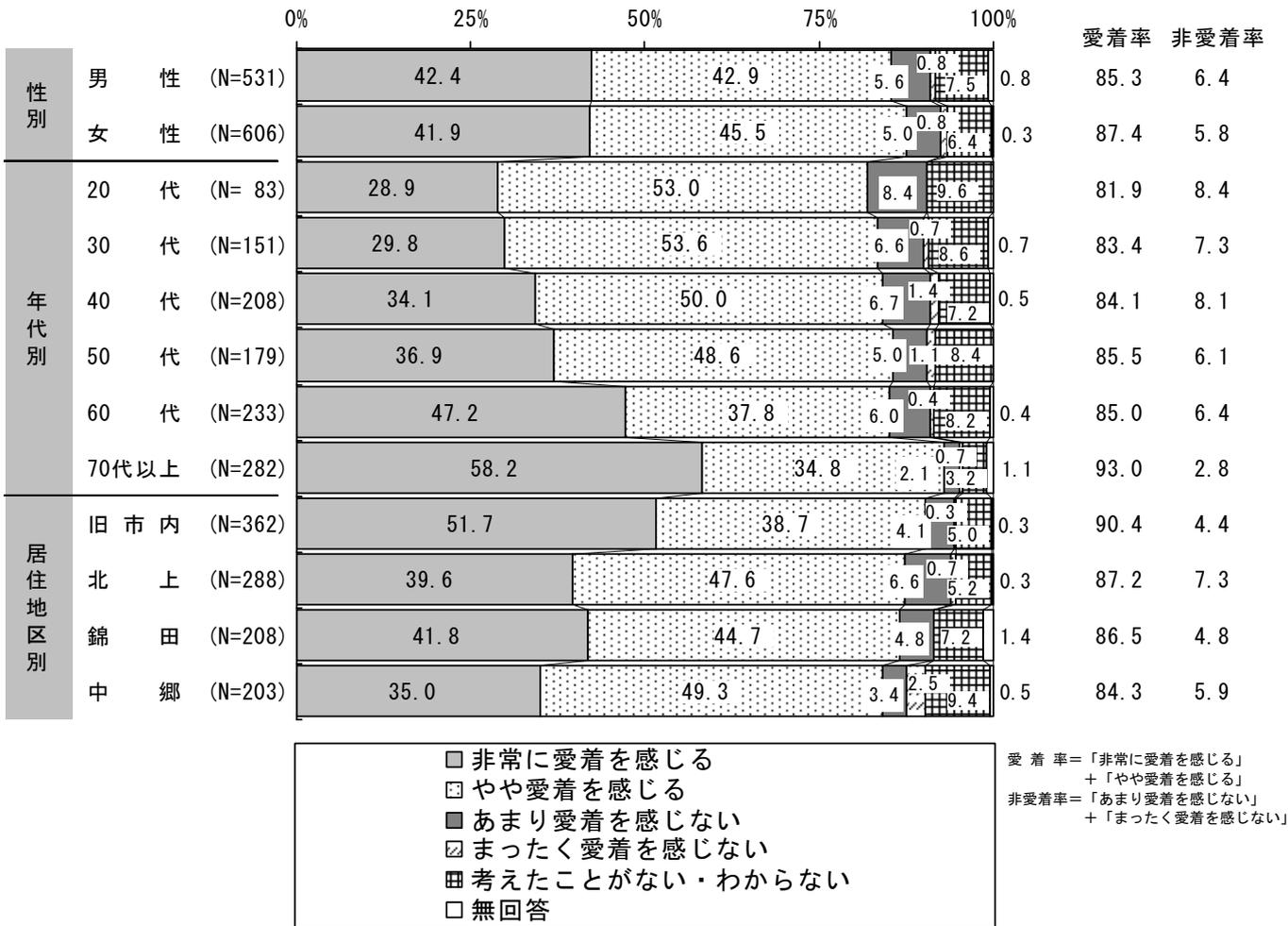
三島市への愛着度について聞いたところ、「非常に愛着を感じる」(41.8%)、「やや愛着を感じる」(43.9%)を合わせた“愛着率”は85.7%となっている。一方、「あまり愛着を感じない」(5.2%)、「まったく愛着を感じない」(0.8%)を合わせた“非愛着率”は6.0%となっている。

【時系列比較】



時系列でみると、“愛着率”(85.7%)は、23年度調査(84.6%)や24年度調査(84.3%)と同様の傾向を示し、8割台半ばとなっている。

【属性別比較】



性別

性別でみると、「愛着率」（男性 85.3%、女性 87.4%）で、性別による大きな差はみられず、男性・女性とも約8割となっている。

年代別

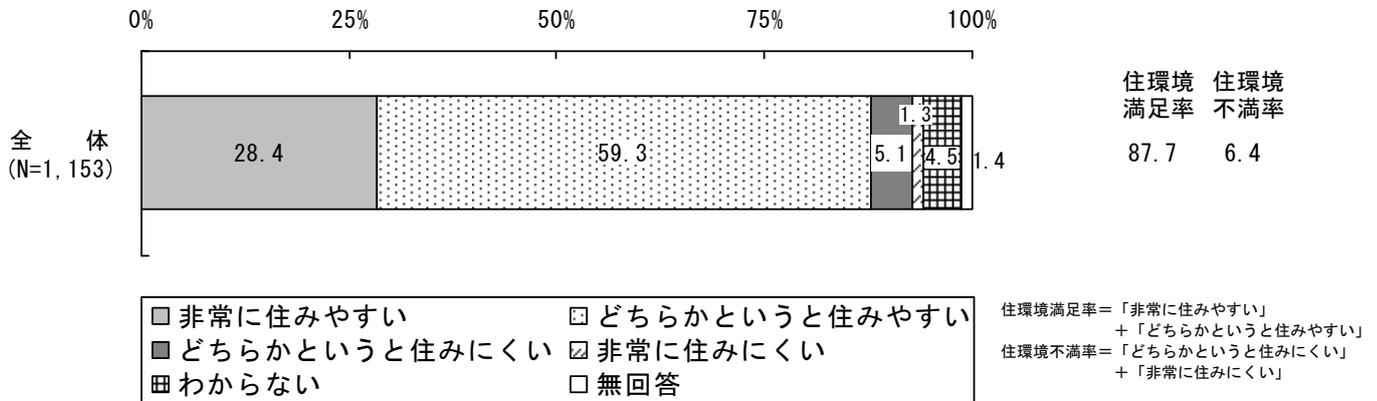
年代別でみると、「愛着率」は、70代以上（93.0%）が多く、50代（85.5%）、60代（85.0%）、40代（84.1%）で8割台半ばを占めている。「非常に愛着を感じる」は、年代が上がるほど割合が多くなっており、70代以上（58.2%）では半数を超えている。

居住地区別

居住地区別でみると、「愛着率」は旧市内（90.4%）が多く、次いで北上（87.2%）、錦田（86.5%）、中郷（84.3%）と、いずれも8割を超えている。「非常に愛着を感じる」は、旧市内（51.7%）が多くなっている。

2) 三島市の住みやすさ

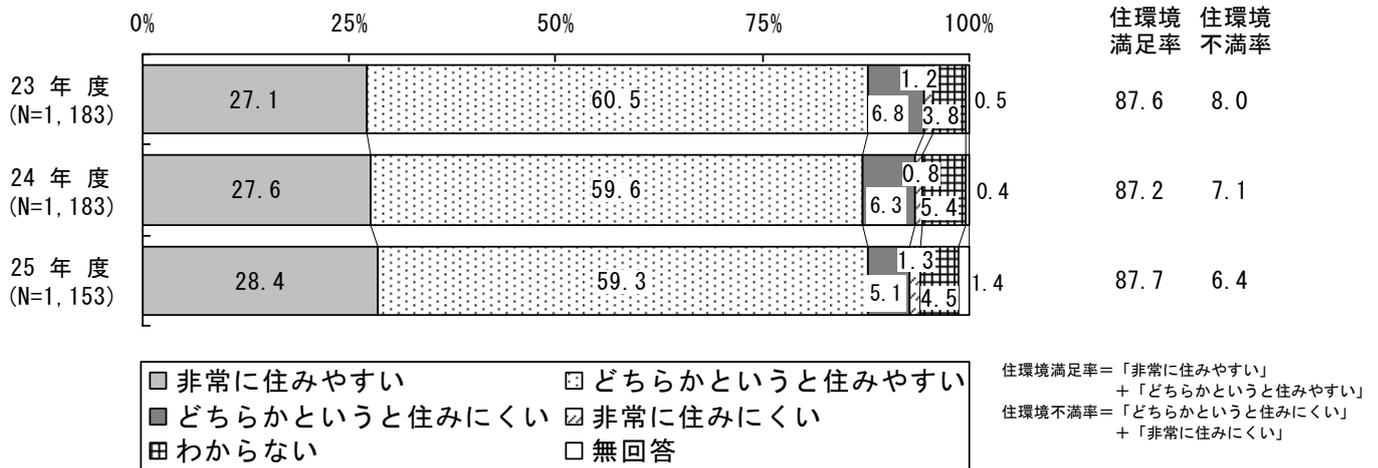
問2 あなたは、三島市が住みやすいところだと思いますか。(〇はひとつ)



*** 三島市の“住環境満足率”は 87.7% ***

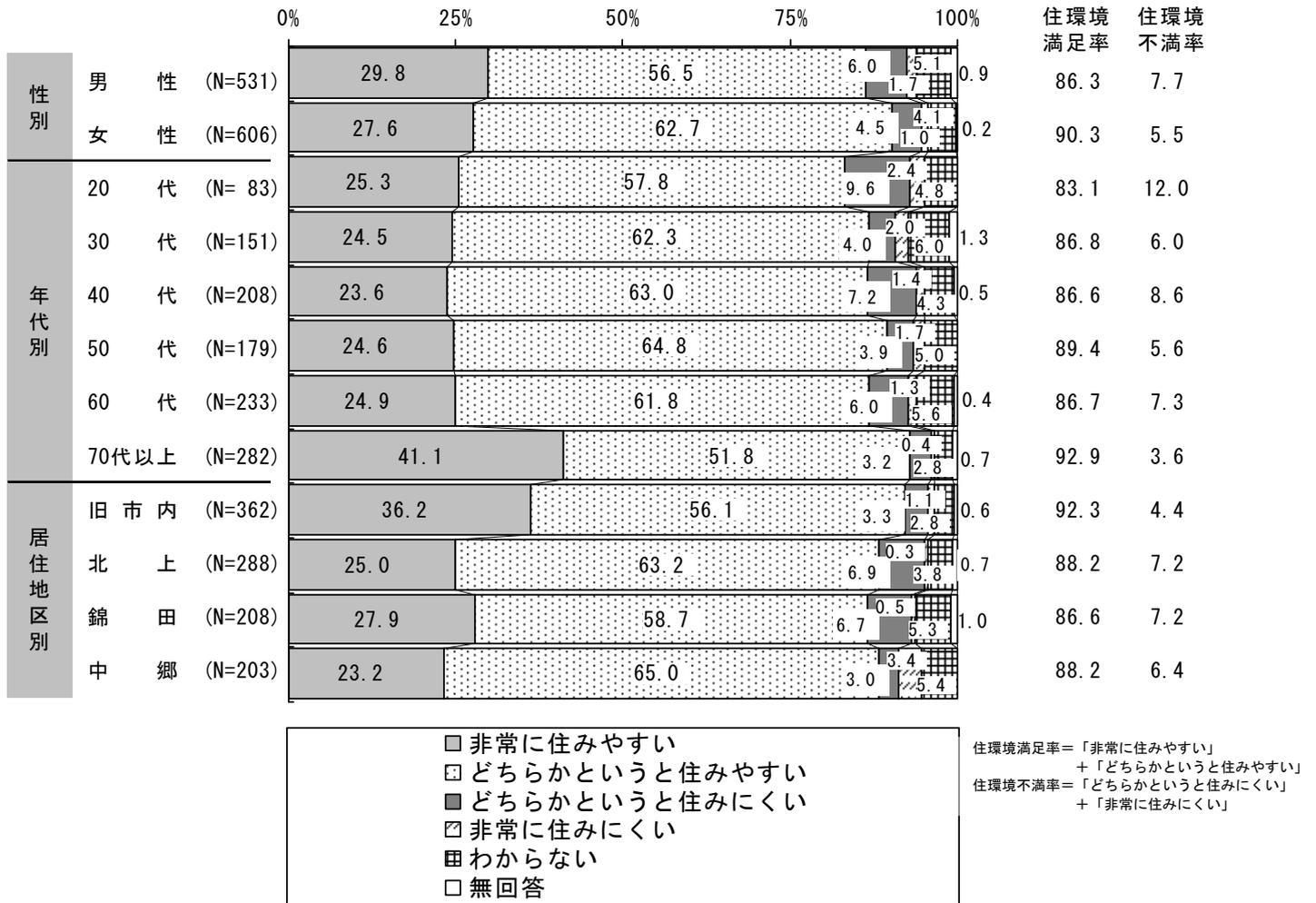
三島市の住みやすさについて聞いたところ、「非常に住みやすい」(28.4%)、「どちらかという住みやすい」(59.3%)を合わせた“住環境満足率”は87.7%となっている。一方、「どちらかという住みにくい」(5.1%)、「非常に住みにくい」(1.3%)を合わせた“住環境不満率”は6.4%となっている。

【時系列比較】



時系列でみると、“住環境満足率”(87.7%)は、23年度調査(87.6%)や24年度調査(87.2%)と同様の傾向を示し、約9割を占めている。

【属性別比較】



性別

性別でみると、「住環境満足率」（男性 86.3%、女性 90.3%）で、性別による大きな差はみられず、男性・女性とも約9割となっている。

年代別

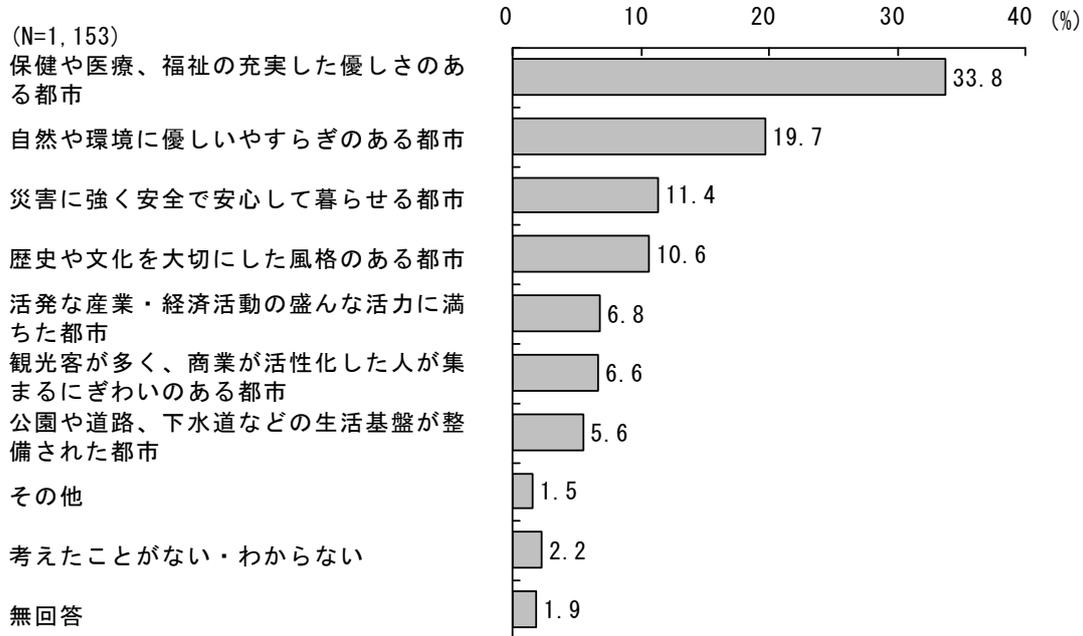
年代別でみると、「住環境満足率」は、70代以上（92.9%）、50代（89.4%）、で約9割を占め、多くなっている。20代（83.1%）では8割半ばとなっている。また、「非常に住みやすい」は、70代以上（41.1%）が多く、40代（23.6%）が少なくなっている。

居住地区別

居住地区別でみると、「住環境満足率」は、旧市内（92.3%）が多く、次いで北上（88.2%）、中郷（88.2%）、錦田（86.6%）となっている。

3) 三島市が将来どのような町になったらよいと思うか

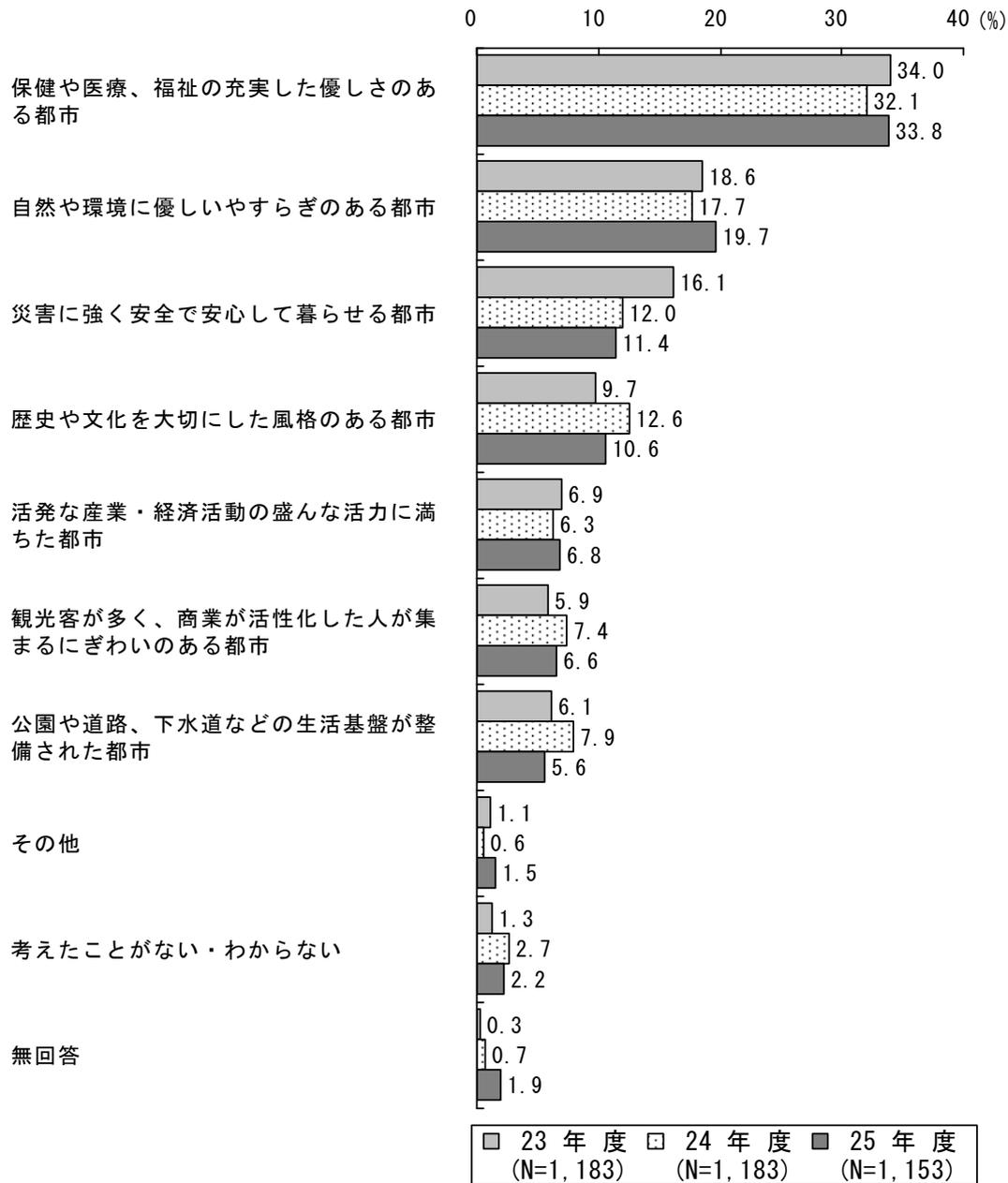
問3 あなたは、三島市が将来どのような町になったらよいと思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。(〇はひとつ)



***** 将来の都市像は「保健や医療、福祉の充実した優しさある都市」が 33.8% *****

三島市がどのような町になったらよいと思うかについて聞いたところ、「保健や医療、福祉の充実した優しさのある都市」(33.8%)が最も多く、次いで「自然や環境に優しいやすらぎのある都市」(19.7%)、「災害に強く安全で安心して暮らせる都市」(11.4%)、「歴史や文化を大切にされた風格のある都市」(10.6%)などとなっている。

【時系列比較】



時系列でみると、「災害に強く安全で安心して暮らせる都市」(11.4%)は、23年度調査(16.1%)以降微減傾向にある。その他の項目については、時系列でみると大きな差はみられない。

【属性別比較】

単位：(%)

		調査数	保健や医療、福祉の充実した優しさのある都市	自然や環境に優しいやすらぎのある都市	災害に強く安全で安心して暮らせる都市	歴史や文化を大切にした風格のある都市	活発な産業・経済活動の盛んな活力に満ちた都市	観光客が多く、商業が活性化した人が集まるにぎわいのある都市	公園や道路、下水道などの生活基盤が整備された都市	その他	考えたことがない・わからない	無回答
性別	男性	531	29.4	19.4	9.4	13.0	7.2	8.9	8.7	2.1	1.7	0.4
	女性	606	38.4	20.3	13.0	8.6	6.6	4.8	3.1	1.0	2.5	1.7
年代別	20代	83	22.9	18.1	14.5	14.5	7.2	8.4	8.4	3.6	2.4	0.0
	30代	151	35.1	19.9	14.6	7.9	6.0	5.3	7.3	0.7	2.6	0.7
	40代	208	29.3	17.8	12.5	12.5	8.7	7.7	7.7	1.0	2.4	0.5
	50代	179	32.4	22.9	10.1	8.9	3.4	10.1	6.1	2.2	3.4	0.6
	60代	233	33.5	24.9	12.4	10.7	6.0	5.2	2.6	2.1	2.1	0.4
	70代以上	282	42.9	14.9	8.2	11.0	8.9	5.0	4.6	0.7	1.1	2.8
居住地区別	旧市内	362	34.0	18.8	11.3	11.3	8.0	8.0	5.2	0.6	2.2	0.6
	北上	288	35.8	22.2	10.4	10.4	4.9	5.9	6.3	2.1	1.0	1.0
	錦田	208	33.2	17.3	10.6	11.1	9.6	7.7	5.8	1.0	2.9	1.0
	中郷	203	34.5	21.7	14.8	8.4	5.4	5.4	5.9	1.0	2.0	1.0

1位

2位

3位

性別

性別でみると、「保健や医療、福祉の充実した優しさのある都市」（男性 29.4%、女性 38.4%）が最も多くなっている。また、男性では「歴史や文化を大切にした風格のある都市」（13.0%）が3位であるのに対し、女性は「災害に強く安全で安心して暮らせる都市」（13.0%）が3位となっている。

年代別

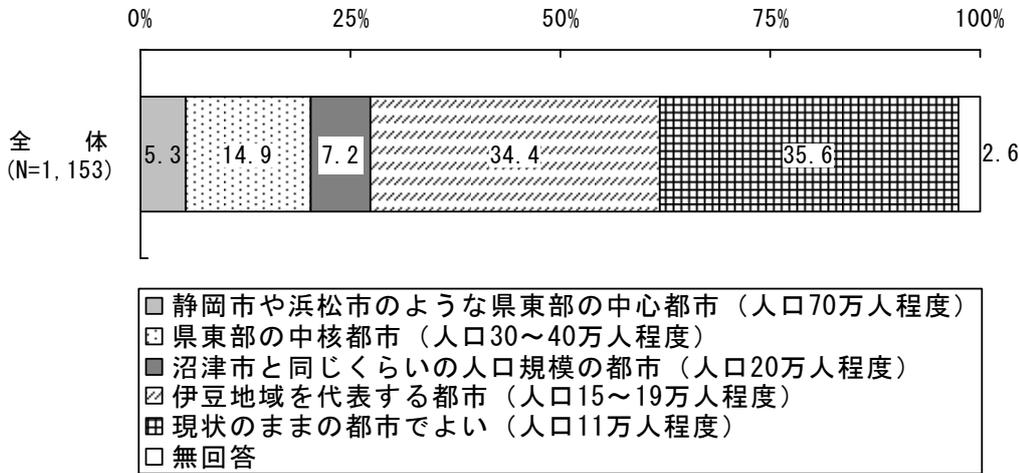
年代別でみると、いずれの年代でも「保健や医療、福祉の充実した優しさのある都市」が最も多くなっている。「災害に強く安全で安心して暮らせる都市」は、30代（14.6%）、20代（14.5%）で1割台半ばとなっている。また、「歴史や文化を大切にした風格のある都市」は、50代（8.9%）、30代（7.9%）で1割未満と少なくなっている。

居住地区別

居住地区別でみると、いずれの居住地区でも「保健や医療、福祉の充実した優しさのある都市」が最も多く、3割台半ばとなっている。また、「自然や環境に優しいやすらぎのある都市」は、北上（22.2%）が多くなっている。

4) 将来の都市規模

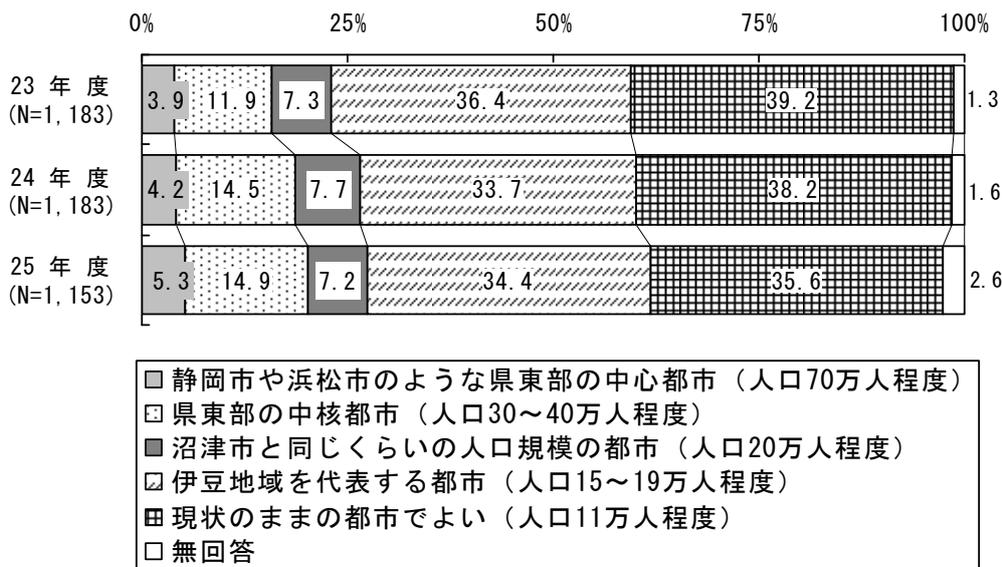
問4 あなたは、三島市を含むこの地域が将来どのような都市になることが望ましいとお考えですか。
(〇はひとつ)



*** 将来の都市規模は「現状のままの都市でよい」が 35.6% ***

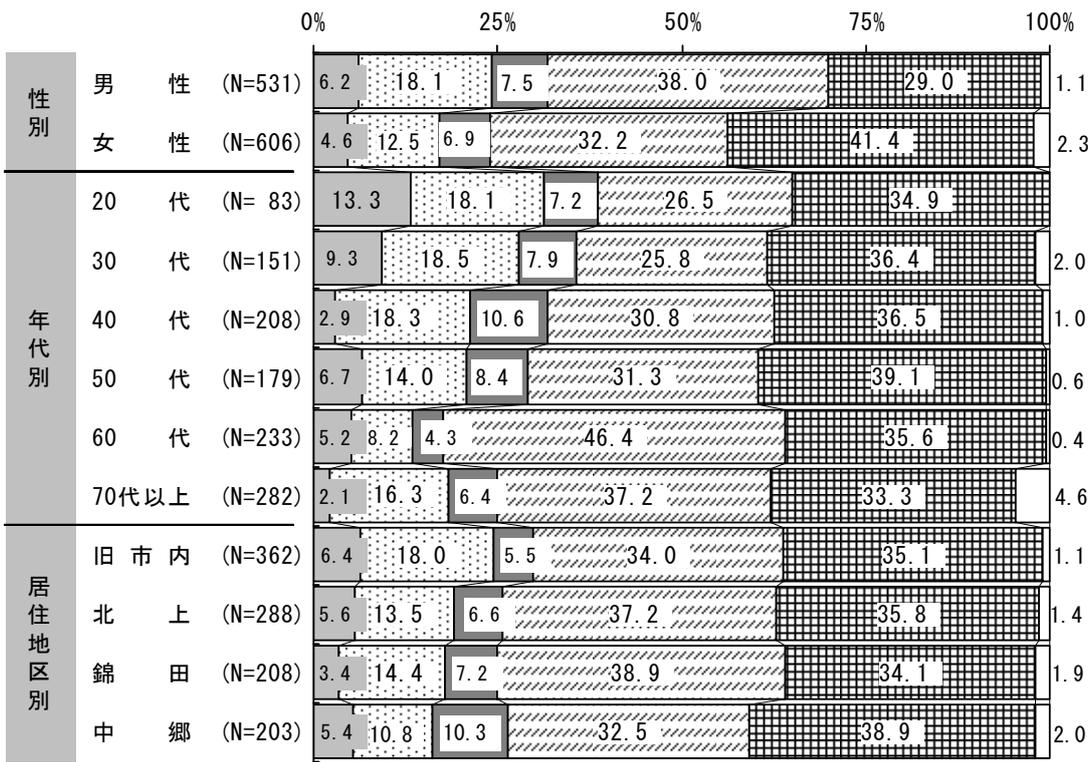
将来の都市規模について聞いたところ、「現状のままの都市でよい (人口 11 万人程度)」(35.6%) が最も多く、次いで「伊豆地域を代表する都市 (人口 15~19 万人程度)」(34.4%)、「県東部の中核都市 (人口 30~40 万人程度)」(14.9%)、「沼津市と同じくらいの人口規模の都市 (人口 20 万人程度)」(7.2%)、「静岡市や浜松市のような県東部の中心都市 (人口 70 万人程度)」(5.3%) となっている。

【時系列比較】



時系列でみると、いずれの年度も「現状のままの都市でよい (人口 11 万人程度)」が最も多く、次いで「伊豆地域を代表する都市 (人口 15~19 万人程度)」となっている。

【属性別比較】



- 静岡市や浜松市のような県東部の中心都市（人口70万人程度）
- 県東部の中核都市（人口30～40万人程度）
- 沼津市と同じくらいの人口規模の都市（人口20万人程度）
- ▣ 伊豆地域を代表する都市（人口15～19万人程度）
- ▤ 現状のままの都市でよい（人口11万人程度）
- 無回答

性別

性別でみると、男性は「伊豆地域を代表する都市（人口15～19万人程度）」（38.0%）が最も多く、女性は「現状のままの都市でよい（人口11万人程度）」（41.4%）が最も多くなっている。

年代別

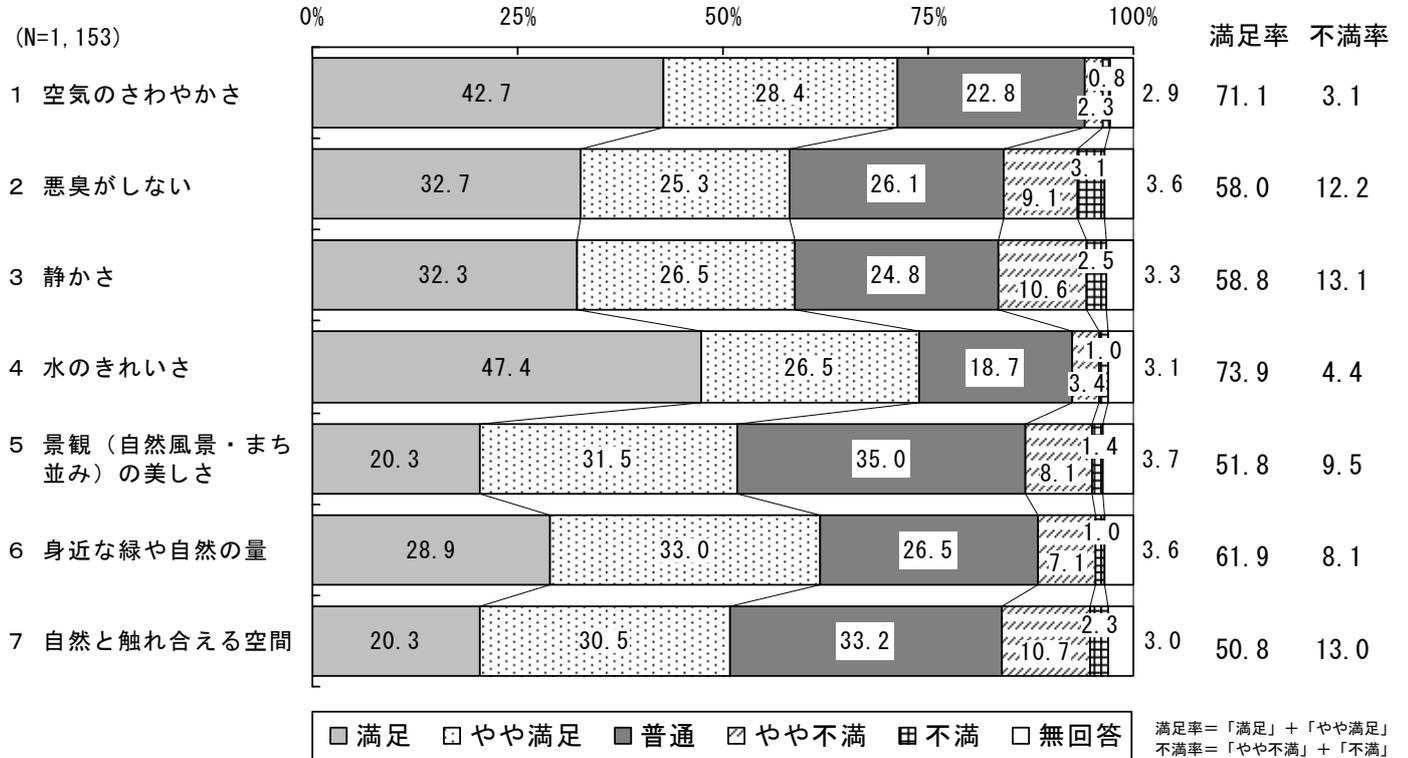
年代別でみると、「伊豆地域を代表する都市（人口15～19万人程度）」は、60代（46.4%）が最も多く、次いで70代以上（37.2%）、50代（31.3%）と、上の年代ほど多くなっている。また、「県東部の中核都市（人口30～40万人程度）」は、20代（18.1%）、30代（18.5%）、40代（18.3%）と、20代から40代で約2割となっている。

居住地区別

居住地区別でみると、「伊豆地域を代表する都市（人口15～19万人程度）」は、錦田（38.9%）が、「現状のままの都市でよい（人口11万人程度）」は、中郷（38.9%）が多くなっている。

5) 生活環境の満足度

問5 あなたが住む地域の生活環境の満足度についてお答えください。1～7の項目ごとに該当する番号を選んでください。(それぞれ○はひとつ)



*** 生活環境の満足率は、『空気のさわやかさ』と『水のきれいさ』で7割以上 ***

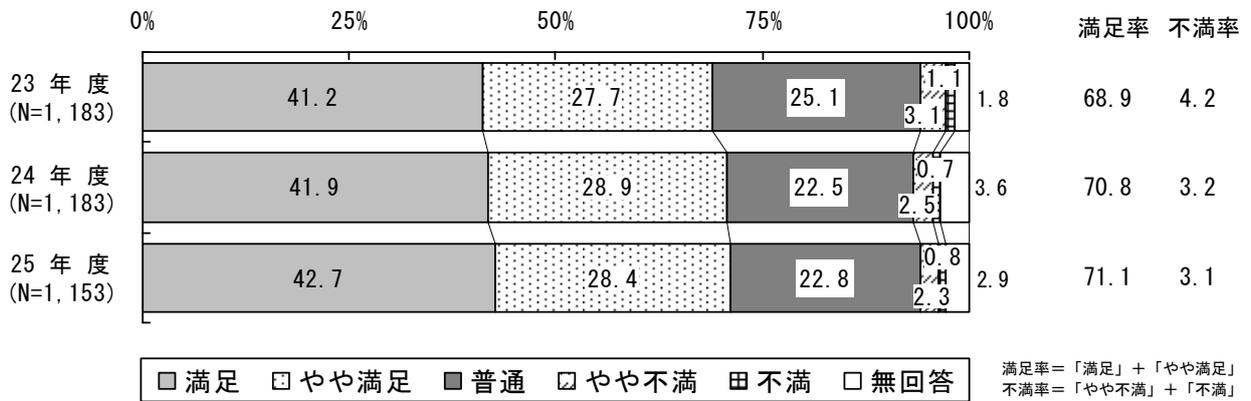
生活環境の満足度について聞いたところ、いずれの項目でも「満足」と「やや満足」を合わせた“満足率”が「やや不満」と「不満」を合わせた“不満率”を上回っている。

“満足率”は、『1 空気のさわやかさ』(71.1%)、『4 水のきれいさ』(73.9%)で7割を超えている。また、「満足」は、『4 水のきれいさ』(47.4%)、『1 空気のさわやかさ』(42.7%)が多く、『5 景観(自然風景・まち並みの美しさ)』(20.3%)、『7 自然と触れ合える空間』(20.3%)は約2割となっている。

一方、“不満率”は『3 静かさ』(13.1%)、『7 自然と触れ合える空間』(13.0%)及び『2 悪臭がしない』(12.2%)で1割を超えている。

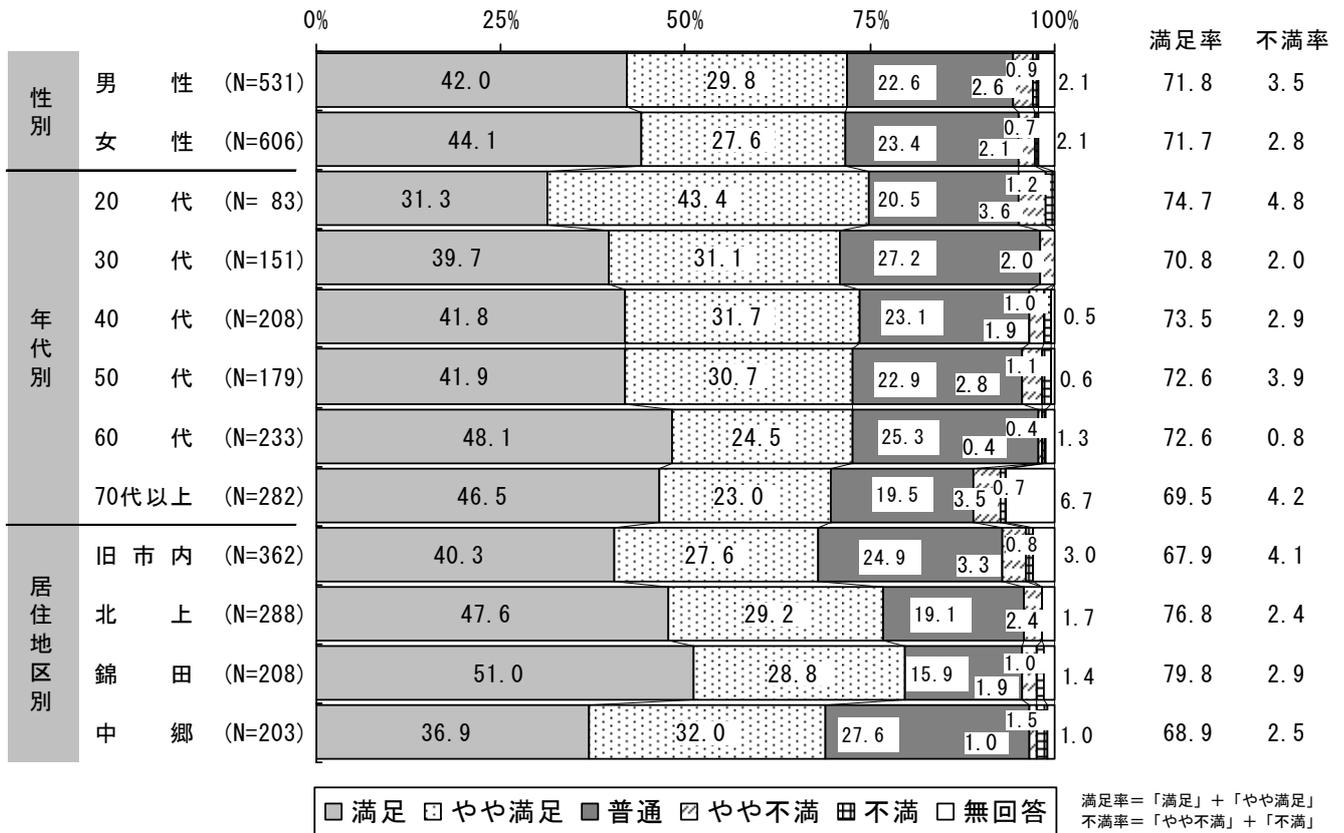
① 空気のさわやかさ

【時系列比較】



時系列でみると、“満足率”（71.1%）は、23年度調査（68.9%）以降微増傾向にある。

【属性別比較】



性別

性別でみると、「満足率」（男性 71.8%、女性 71.7%）で、性別による大きな差はみられず、男性・女性とも約7割となっている。

年代別

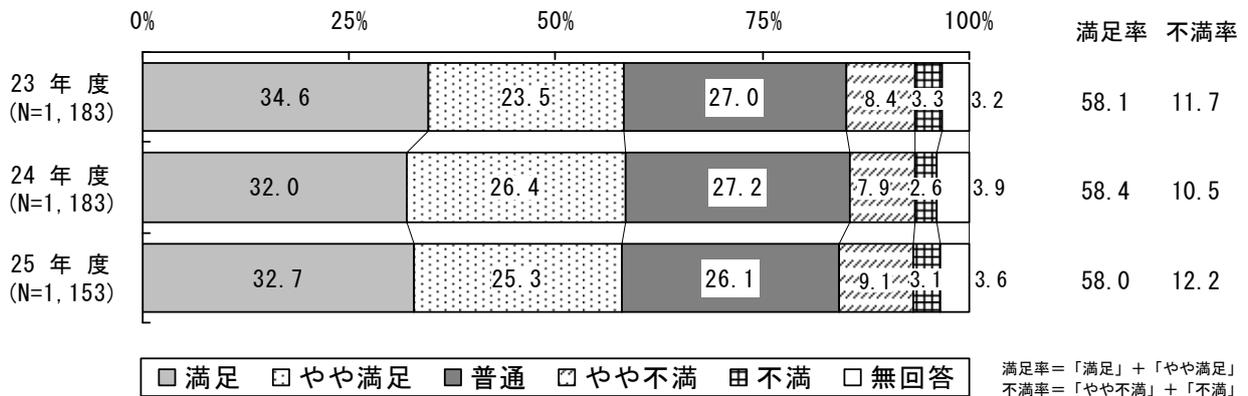
年代別でみると、「満足率」は20代（74.7%）が多く、次いで40代（73.5%）となっている。一方、「満足」は、60代（48.1%）が最も多く、次いで70代以上（46.5%）と上の年代ほど多くなっている。

居住地区別

居住地区別でみると、「満足率」は錦田（79.8%）で最も多く、「満足」（51.0%）は半数を超えている。

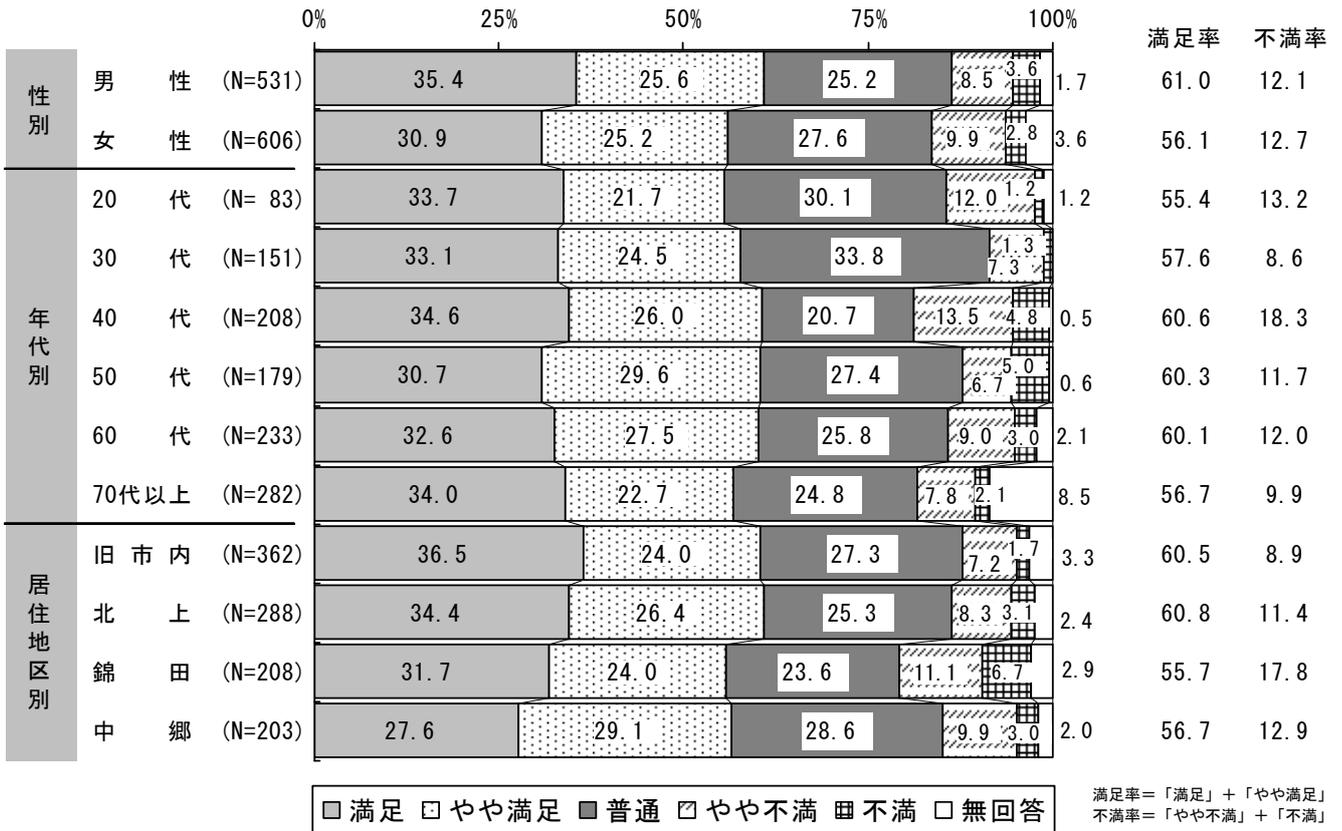
② 悪臭がしない

【時系列比較】



時系列で見ると、“満足率”（58.0%）は、23年度調査（58.1%）や24年度調査（58.4%）と同様の傾向を示し、約6割を占めている。

【属性別比較】



性別

性別でみると、「満足率」（男性 61.0%、女性 56.1%）で、性別による大きな差はみられず、男性・女性とも約6割となっている。

年代別

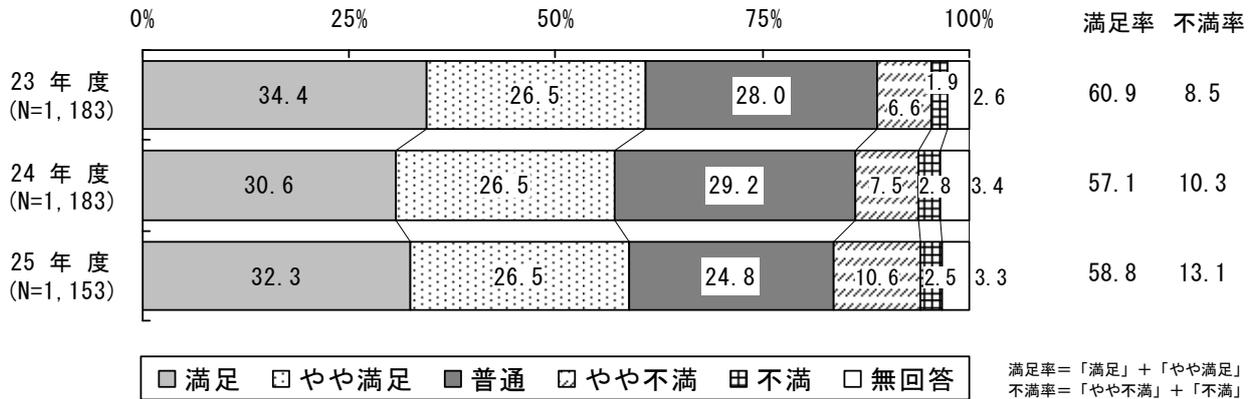
年代別でみると、「満足率」は40代（60.6%）が最も多く、次いで50代（60.3%）、60代（60.1%）となっているが、20代（55.4%）は5割台半ばと少なくなっている。

居住地区別

居住地区別でみると、「満足率」は北上（60.8%）で最も多く、次いで旧市内（60.5%）となっている。また、「普通」は北上（25.3%）、錦田（23.6%）で2割台半ばと少なくなっている。

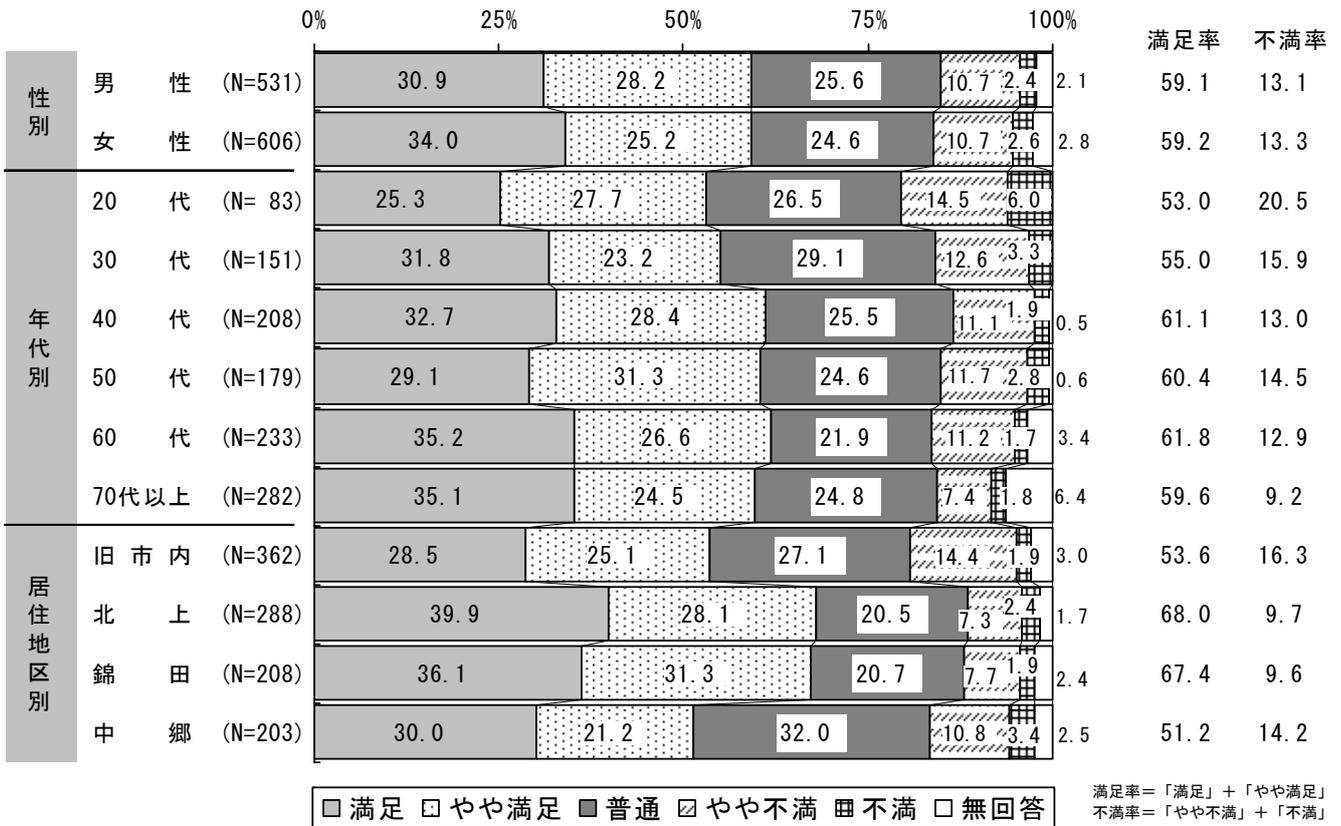
③ 静かさ

【時系列比較】



時系列でみると、“満足率”（58.8%）は、23年度調査（60.9%）に比べ24年度調査（57.1%）で減少したが、再度増加傾向を示し、約6割を占めている。

【属性別比較】



性別

性別でみると、“満足率”（男性 59.1%、女性 59.2%）で、性別による大きな差はみられず、男性・女性とも約6割となっている。

年代別

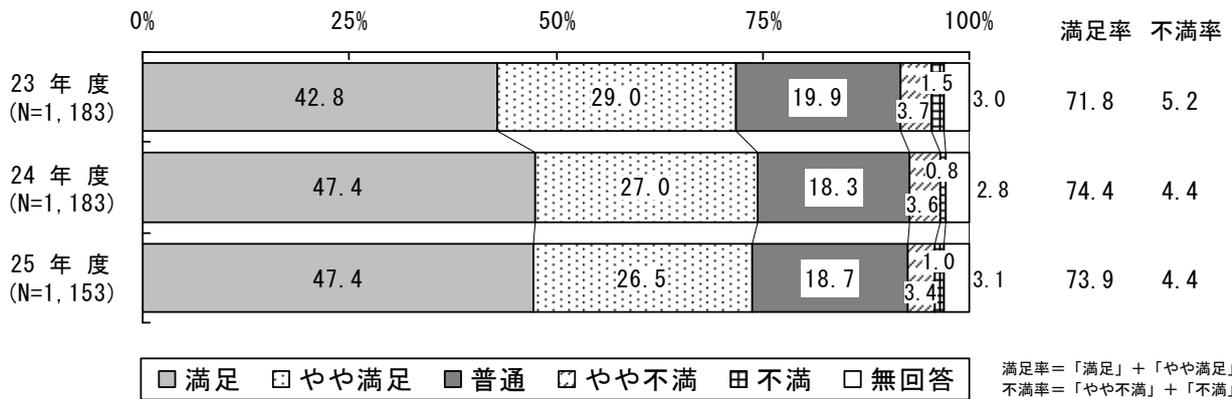
年代別でみると、“満足率”は60代（61.8%）、40代（61.1%）、50代（60.4%）で多くなっている。

居住地区別

居住地区別でみると、“満足率”は北上（68.0%）で最も多く、約7割となっている。一方、“不満率”は旧市内（16.3%）で多くなっている。

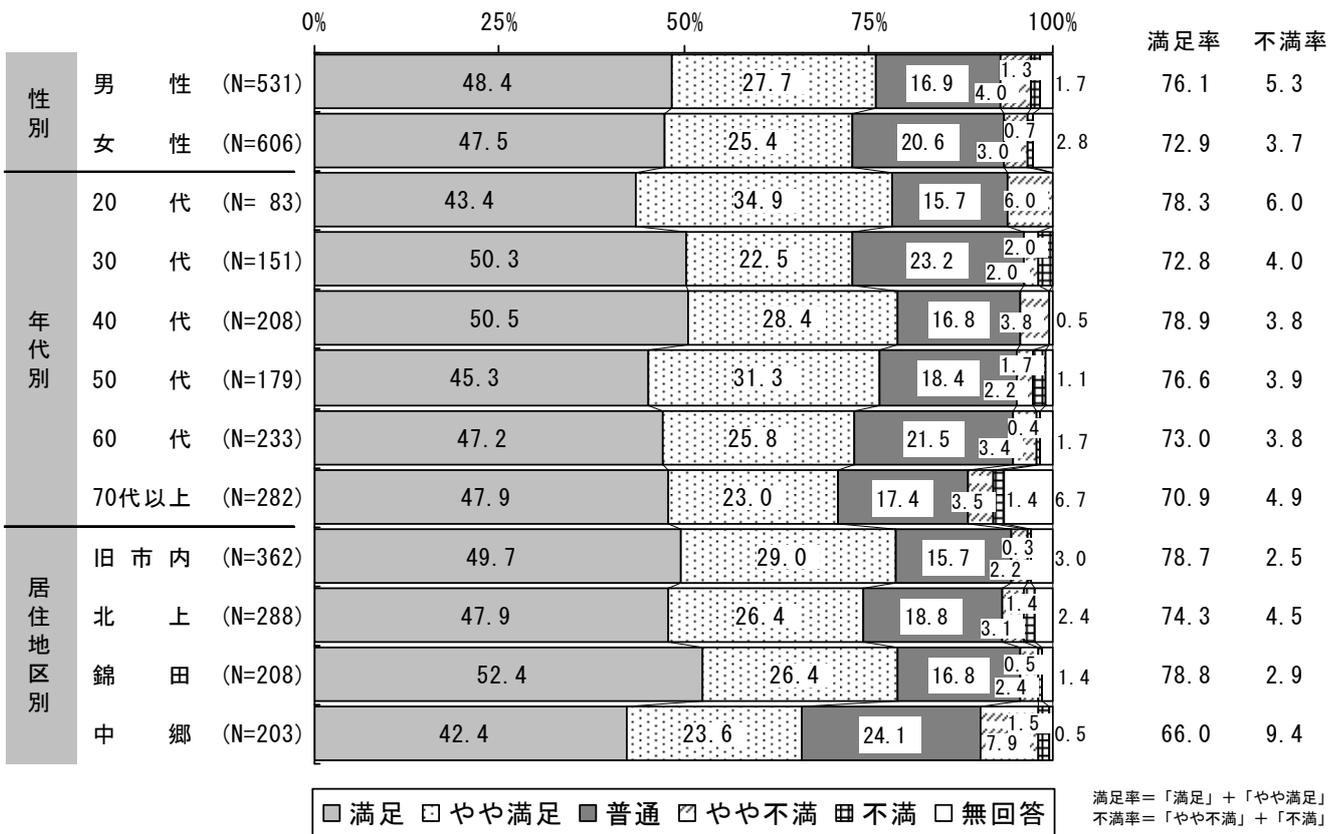
④ 水のきれいさ

【時系列比較】



時系列でみると、“満足率”（73.9%）は、23年度調査（71.8%）に比べ24年度調査（74.4%）で増加したが、再度減少傾向を示し、7割台半ばとなっている。

【属性別比較】



性別

性別でみると、“満足率”（男性 76.1%、女性 72.9%）で、性別による大きな差はみられず、男性・女性とも7割台となっている。

年代別

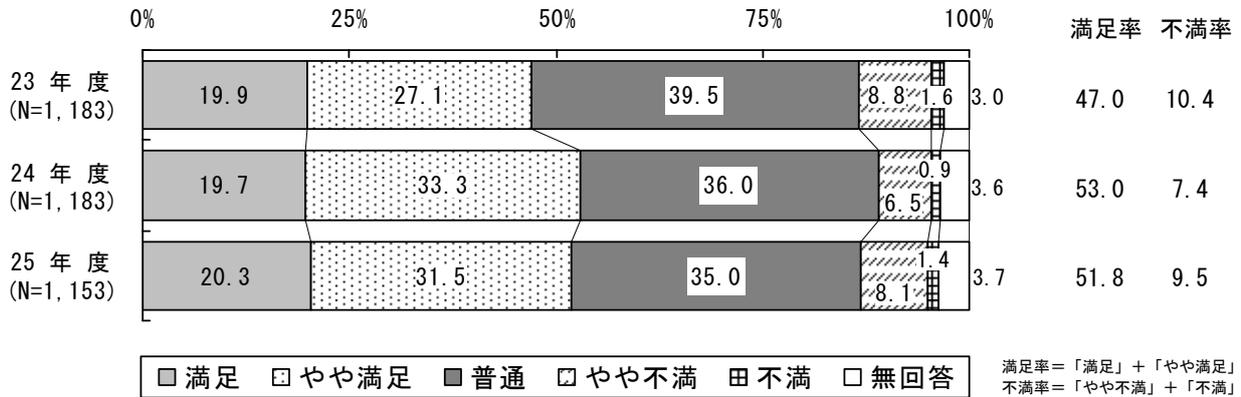
年代別でみると、“満足率”は40代（78.9%）で最も多く、次いで20代（78.3%）、50代（76.6%）となっている。

居住地区別

居住地区別でみると、“満足率”は、錦田（78.8%）で最も多くなっている。「満足」は、錦田（52.4%）、旧市内（49.7%）で多く、5割前後となっているものの、中郷（42.4%）では約4割にとどまっている。

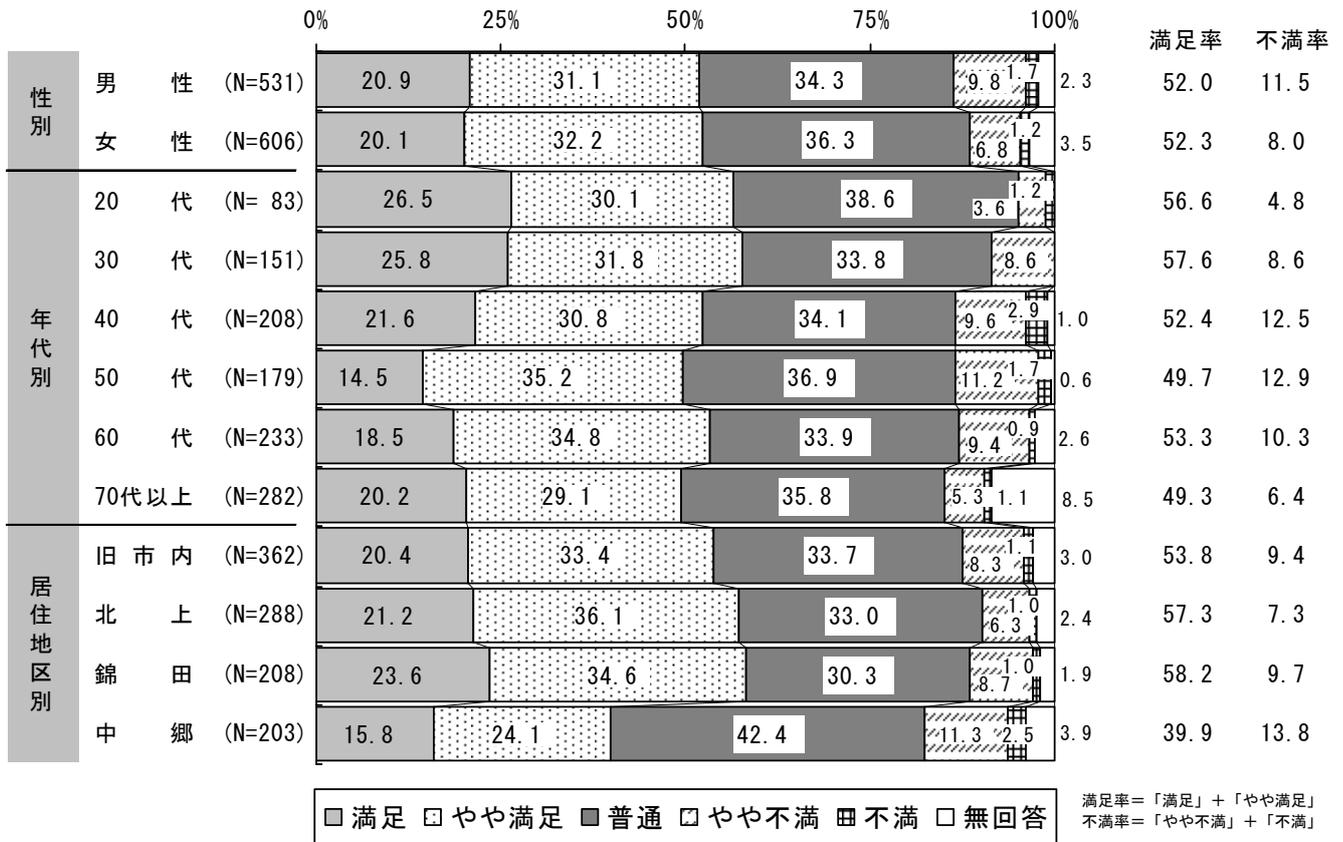
⑤ 景観（自然風景・まち並み）の美しさ

【時系列比較】



時系列でみると、“満足率”（51.8%）は、23年度調査（47.0%）に比べ24年度調査（53.0%）で増加したが、再度減少傾向を示し、5割を超えている。

【属性別比較】



性別

性別でみると、“満足率”（男性 52.0%、女性 52.3%）で、性別による大きな差はみられず、男性・女性とも5割を超えている。

年代別

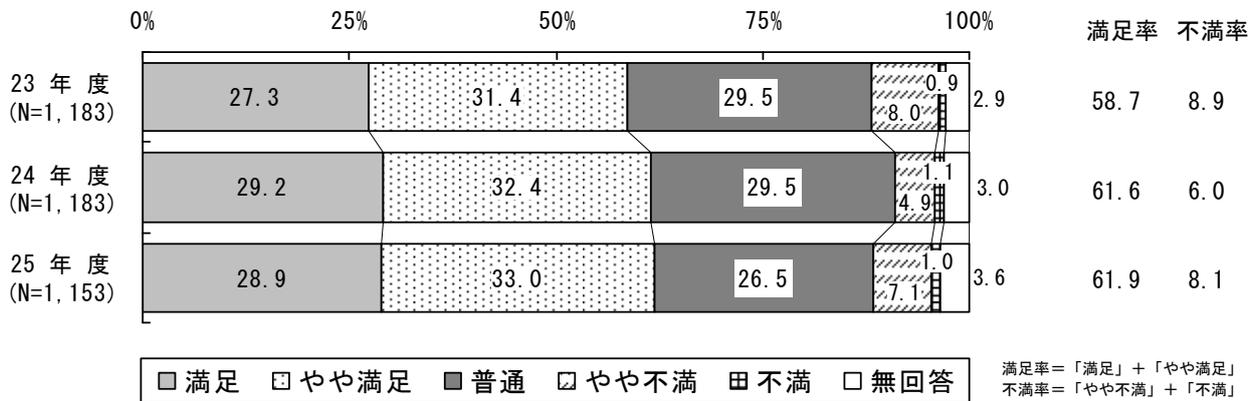
年代別でみると、“満足率”は30代（57.6%）が最も多く、次いで20代（56.6%）、60代（53.3%）となっている。

居住地区別

居住地区別でみると、“満足率”は錦田（58.2%）で最も多くなっている。一方で、中郷（39.9%）では約4割と少なくなっている。

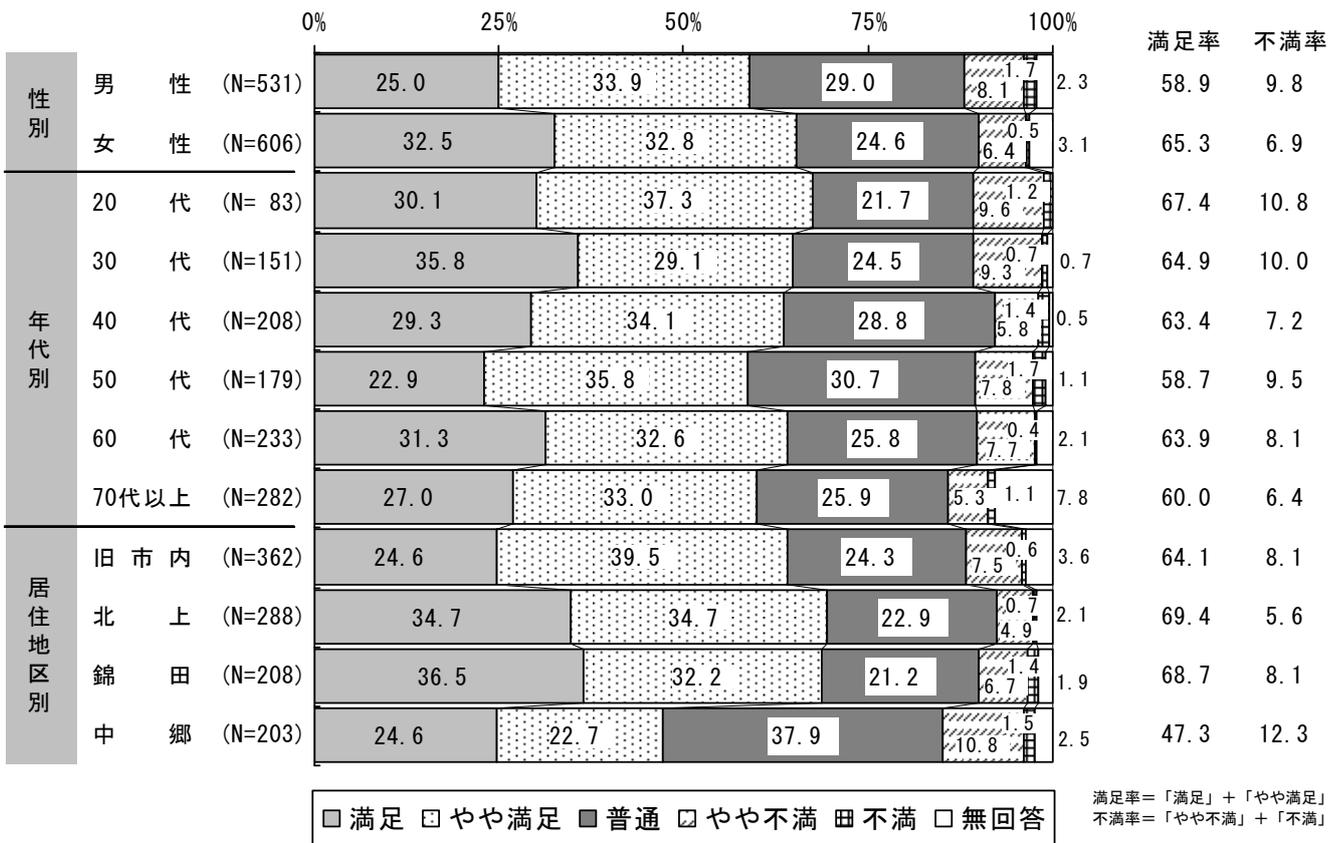
⑥ 身近な緑や自然の量

【時系列比較】



時系列でみると、“満足率”（61.9%）は23年度調査（58.7%）以降微増傾向にある。

【属性別比較】



性別

性別でみると、“満足率”（男性 58.9%、女性 65.3%）で差がみられ、女性の方が6ポイント高くなっている。

年代別

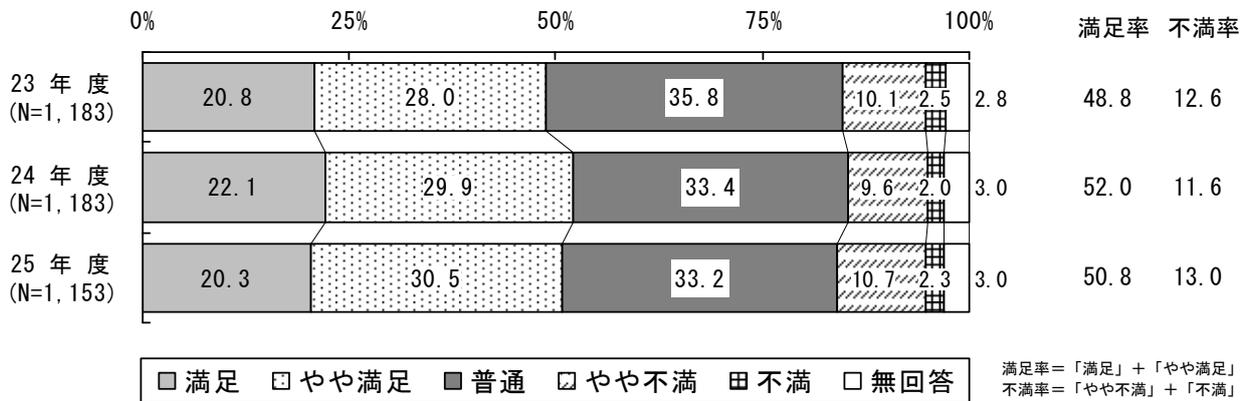
年代別でみると、“満足率”は20代（67.4%）で多く、次いで30代（64.9%）となっている。「普通」は50代（30.7%）で約3割と多くなっている。

居住地区別

居住地区別でみると、“満足率”は、北上（69.4%）で最も多く、一方、中郷（47.3%）では約5割と少なくなっている。

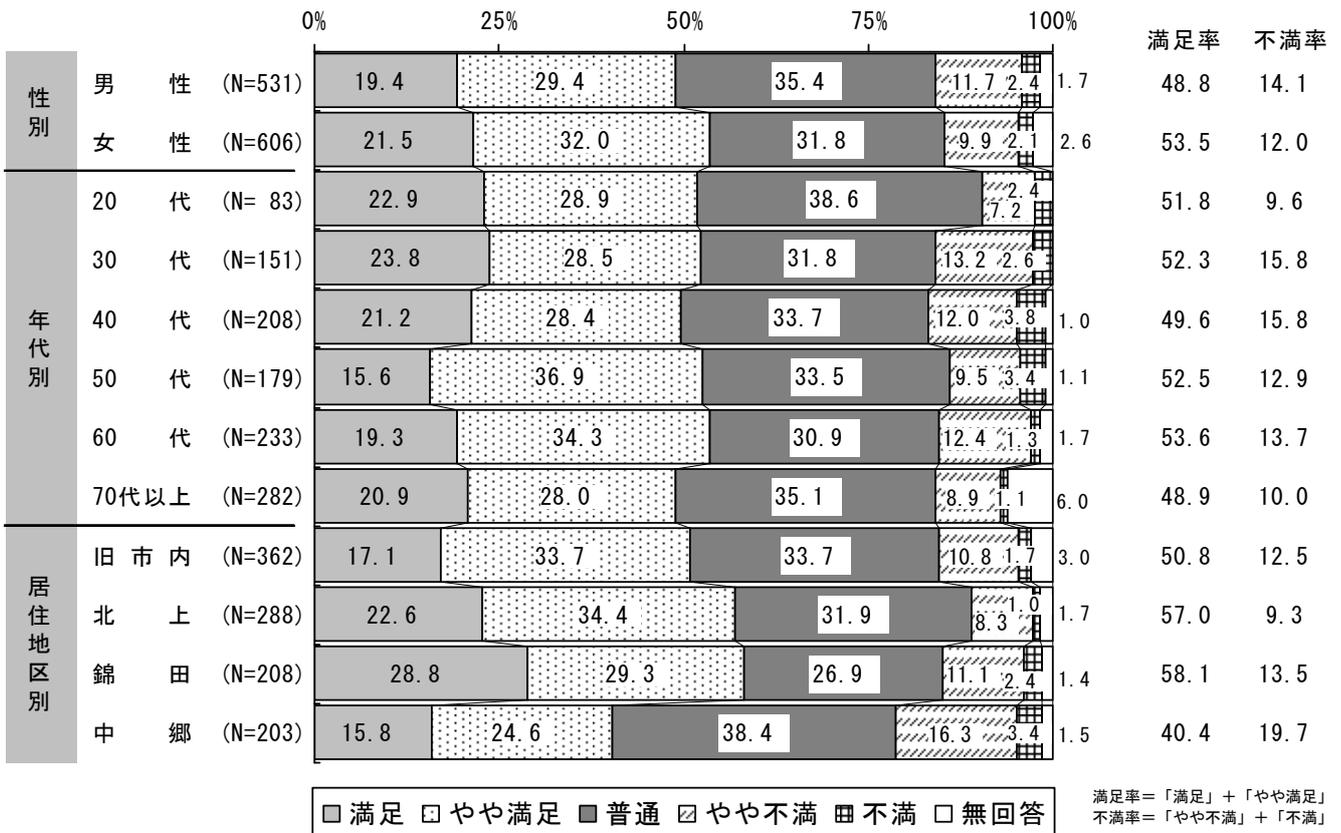
⑦ 自然と触れ合える空間

【時系列比較】



時系列でみると、“満足率”（50.8%）は、23年度調査（48.8%）に比べ24年度調査（52.0%）で増加したが、再度減少傾向を示し、約5割を占めている。

【属性別比較】



性別

性別でみると、「満足率」（男性 48.8%、女性 53.5%）で、性別による大きな差はみられず、男性・女性とも5割前後となっている。

年代別

年代別でみると、「満足率」は60代（53.6%）で最も多く、一方、70代以上（48.9%）で少なくなっている。「普通」は20代（38.6%）が約4割となっている。

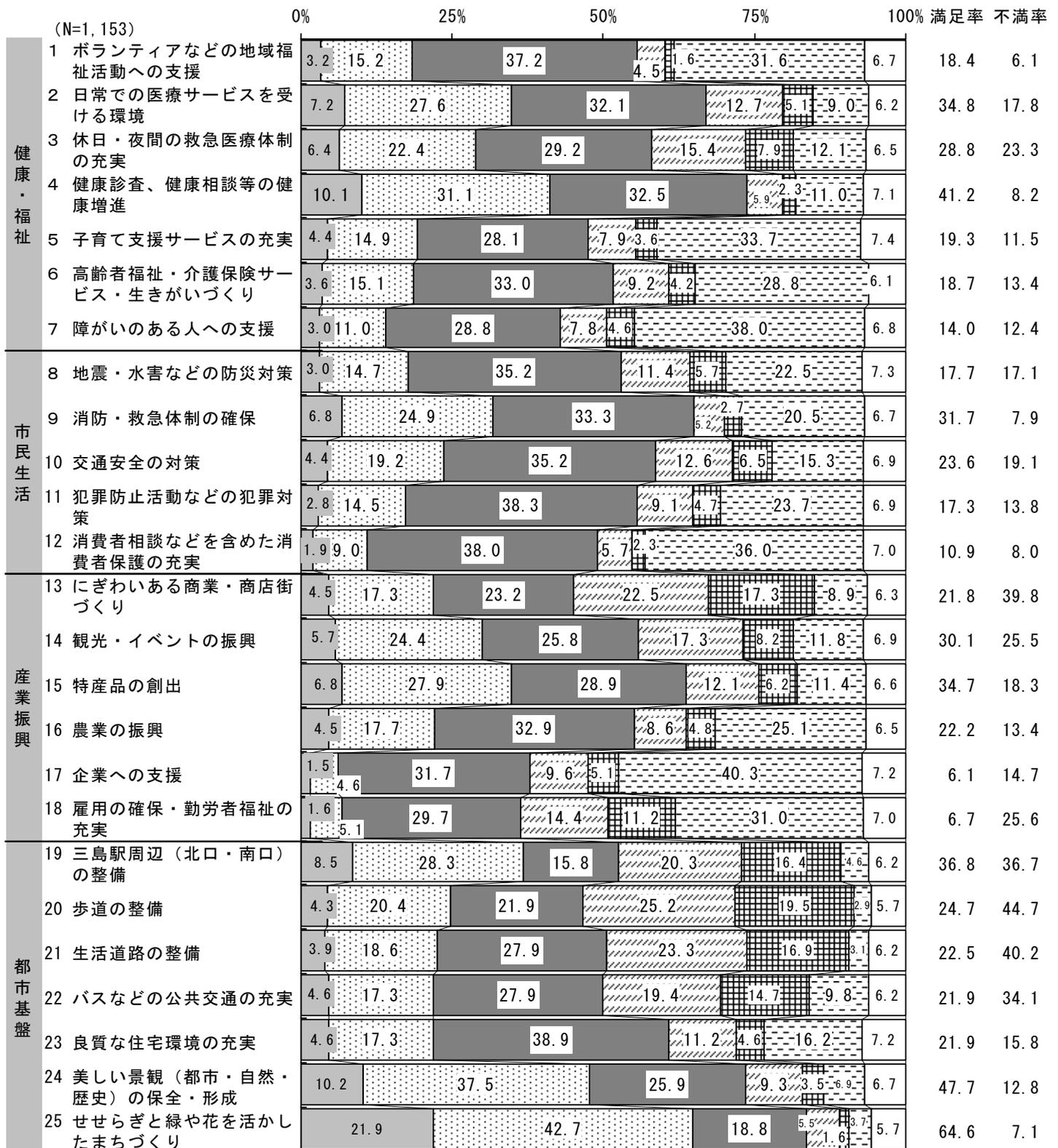
居住地区別

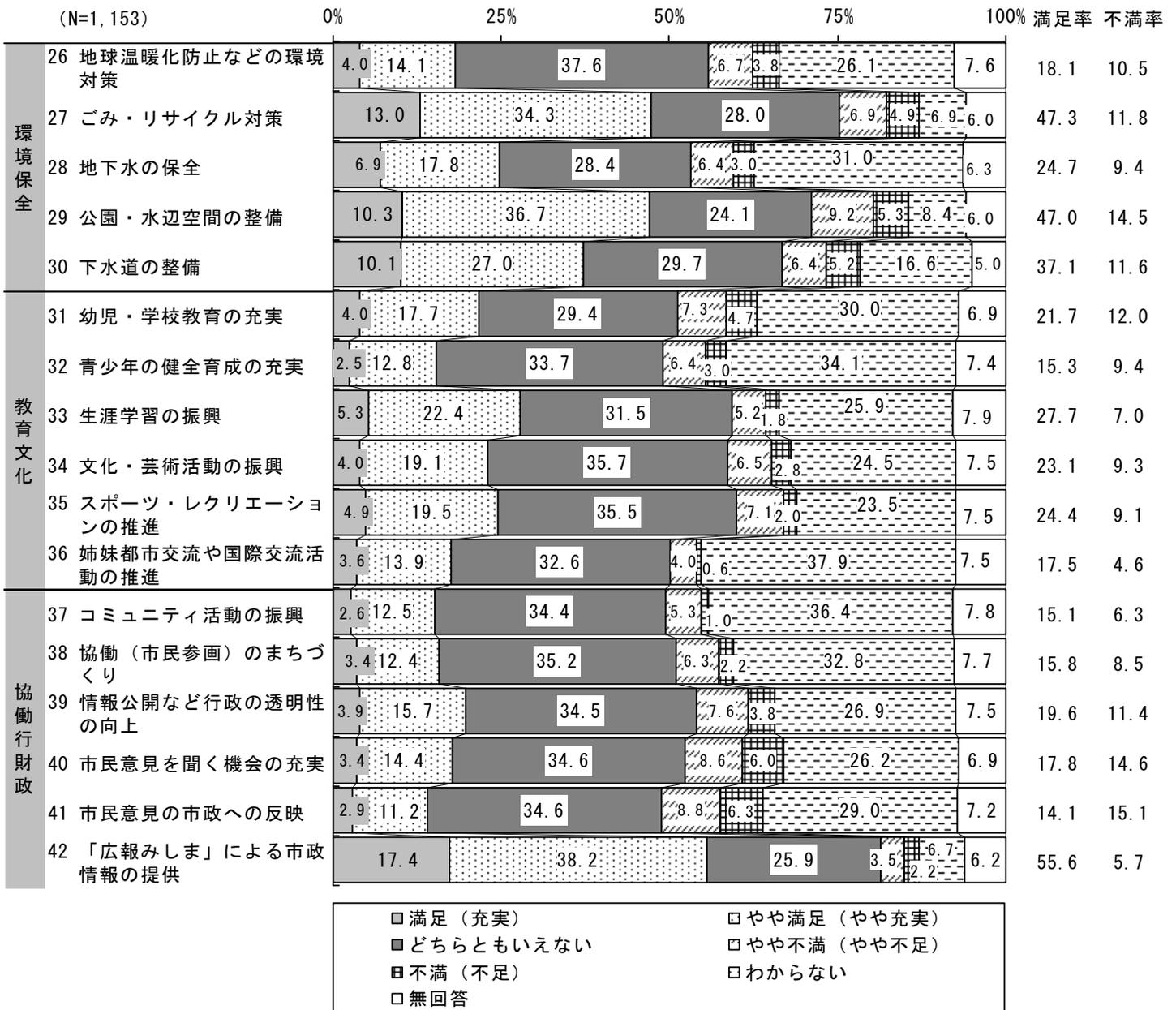
居住地区別でみると、「満足率」は錦田（58.1%）で最も多く、一方、中郷（40.4%）では約4割と少なくなっている。「満足」は錦田（28.8%）、北上（22.6%）で多く、中郷（15.8%）、旧市内（17.1%）で少なくなっている。また、「普通」は錦田（26.9%）で少なくなっている。

3 『市の取り組みの満足度』について

1) 三島市の施策に対する満足（充実）度

問6 毎日の暮らしを通じて、市が行なっている施策に対する満足（充実）度についてお答えください。
1～42の項目ごとに該当する番号を選んでください。（それぞれ○はひとつ）





満足率 = 「満足 (充実)」 + 「やや満足 (やや充実)」
 不満率 = 「やや不満 (やや不足)」 + 「不満 (不足)」

***** 三島市の施策の満足率は『せせらぎと緑や花を活かしたまちづくり』が 64.6%、
 不満率は『歩道の整備』が 44.7% *****

三島市の施策に対する満足 (充実) 度について聞いたところ、“満足率”は、健康福祉に関する項目では『4 健康診査、健康相談等の健康増進』(41.2%)、市民生活に関する項目では『9 消防・救急体制の確保』(31.7%)、産業振興に関する項目では『15 特産品の創出』(34.7%)、都市基盤に関する項目では『25 せせらぎと緑や花を活かしたまちづくり』(64.6%)、環境保全に関する項目では『27 ごみ・リサイクル対策』(47.3%)、教育文化に関する項目では『33 生涯学習の振興』(27.7%)、協働行政に関する項目では『42 「広報みしま」による市政情報の提供』(55.6%)が最も多くなっている。

“不満率”は、健康福祉に関する項目では『3 休日・夜間の救急医療体制の充実』(23.3%)、市民生活に関する項目では『10 交通安全の対策』(19.1%)、産業振興に関する項目では『13 にぎわいある商業・商店街づくり』(39.8%)、都市基盤に関する項目では『20 歩道の整備』(44.7%)、環境保全に

関する項目では『29 公園・水辺空間の整備』（14.5%）、教育文化に関する項目では『31 幼児・学校教育の充実』（12.0%）、協働行財政に関する項目では『41 市民意見の市政への反映』（15.1%）がそれぞれ最も多くなっている。

満足率上位5項目

順位	項目	分類	満足率
1	25 せせらぎと緑や花を活かしたまちづくり	都市基盤	64.6%
2	42 「広報みしま」による市政情報の提供	協働行財政	55.6%
3	24 美しい景観（都市・自然・歴史）の保全・形成	都市基盤	47.7%
4	27 ごみ・リサイクル対策	環境保全	47.3%
5	29 公園・水辺空間の整備	環境保全	47.0%

不満率上位5項目

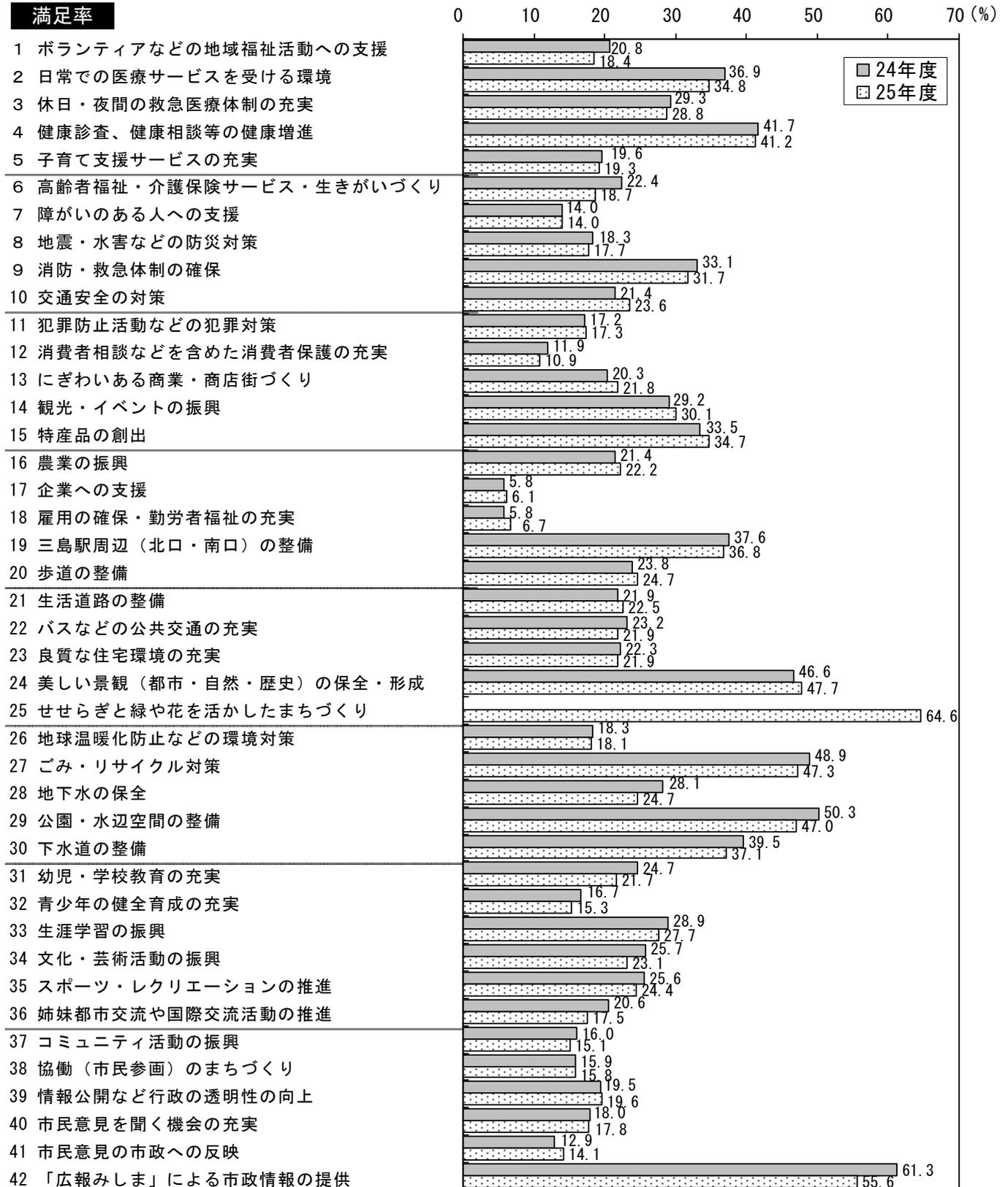
順位	項目	分類	不満率
1	20 歩道の整備	都市基盤	44.7%
2	21 生活道路の整備	都市基盤	40.2%
3	13 にぎわいある商業・商店街づくり	産業振興	39.8%
4	19 三島駅周辺（北口・南口）の整備	都市基盤	36.7%
5	22 バスなどの公共交通の充実	都市基盤	34.1%

“満足率”が多い上位5項目は、『25 せせらぎと緑や花を活かしたまちづくり』（64.6%）、『42 「広報みしま」による市政情報の提供』（55.6%）、『24 美しい景観（都市・自然・歴史）の保全・形成』（47.7%）、『27 ごみ・リサイクル対策』（47.3%）、『29 公園・水辺空間の整備』（47.0%）であり、都市基盤に関する項目と、環境保全に関する項目がそれぞれ2つずつ含まれている。

“不満率”が多い上位5項目は、『20 歩道の整備』（44.7%）、『21 生活道路の整備』（40.2%）、『13 にぎわいある商業・商店街づくり』（39.8%）、『19 三島駅周辺（北口・南口）の整備』（36.7%）、『22 バスなどの公共交通の充実』（34.1%）であり、都市基盤に関する項目が4つ含まれている。

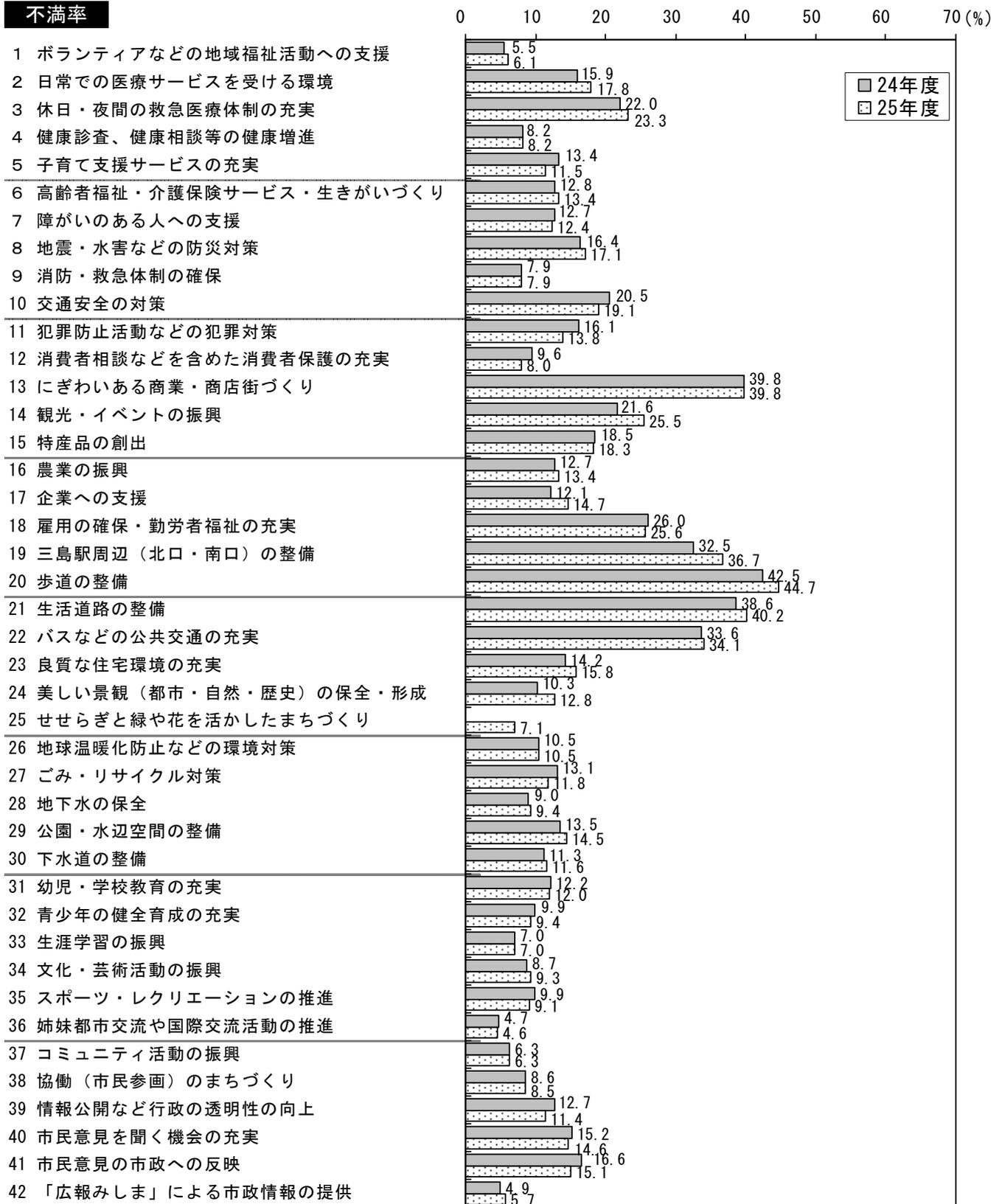
【時系列比較】

満足率



時系列でみると、“満足率”は、42項目中13項目で24年度調査に比べ高くなっており、特に、『24 美しい景観（都市・自然・歴史）の保全・形成』（47.7%）は、約5割を占めている。また、42項目中27項目では24年度調査に比べ“満足率”は低くなっている。なお、満足率の最も高い『25 せせらぎと緑や花を活かしたまちづくり』（64.6%）は今年度の新規設問となっている。

不満率

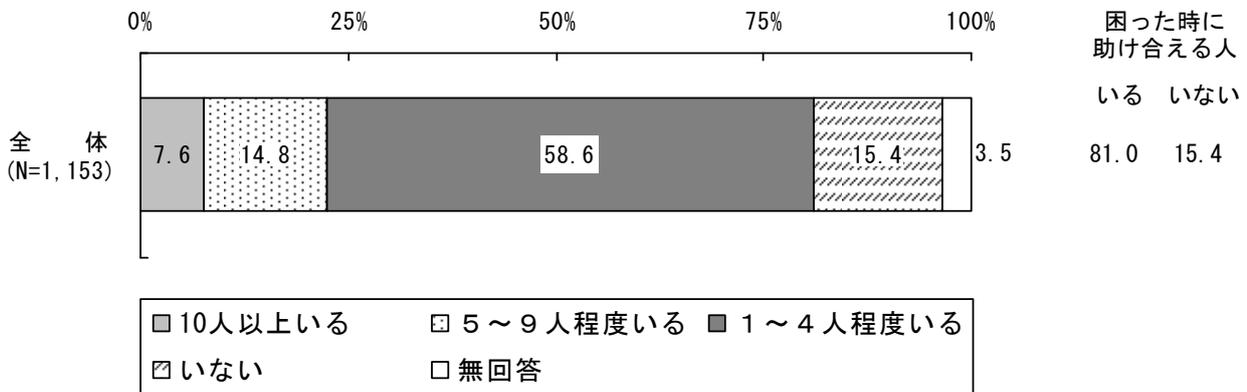


時系列でみると、“不満率”は、42項目中16項目で24年度調査に比べ低くなっており、42項目中6項目は24年度調査と同じ割合となっている。一方、42項目中19項目では24年度調査に比べ“不満率”は高く、『20 歩道の整備』（44.7%）は4割台半ばを占めている。なお、『25 せせらぎと緑や花を活かしたまちづくり』は今年度の新規設問となっている。

4 『総合計画の指標に関する項目』について

1) 困ったときに助け合える人の有無

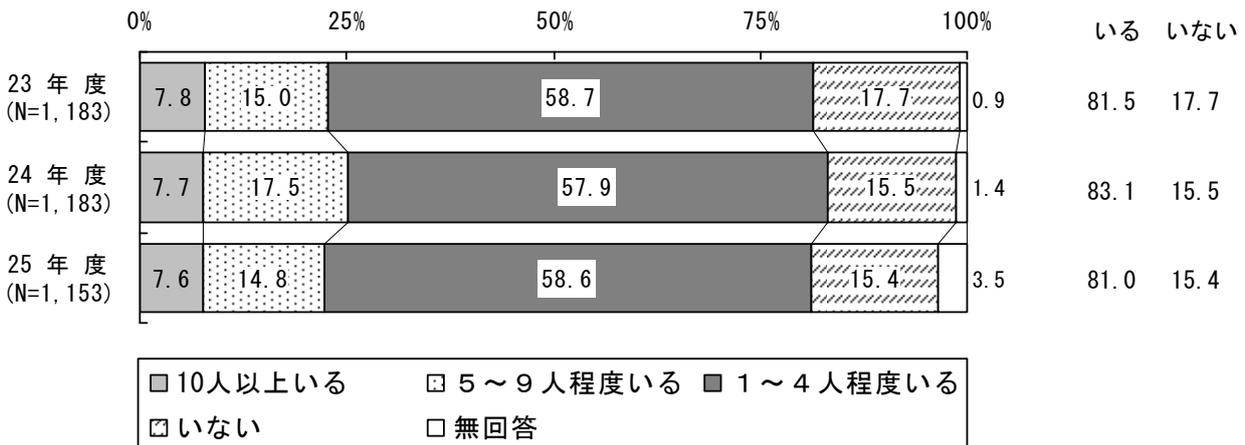
問7 困ったときに助け合うことができる人が近所にいますか。(〇はひとつ)



***** 困った時に助け合える人が“いる”人は81.0% *****

困った時に助け合える人の有無について聞いたところ、「1～4人程度いる」(58.6%)が最も多く、「5～9人程度いる」(14.8%)、「10人以上いる」(7.6%)を合わせた困った時に助け合える人が“いる”は81.0%となっている。一方、「いない」15.4%となっている。

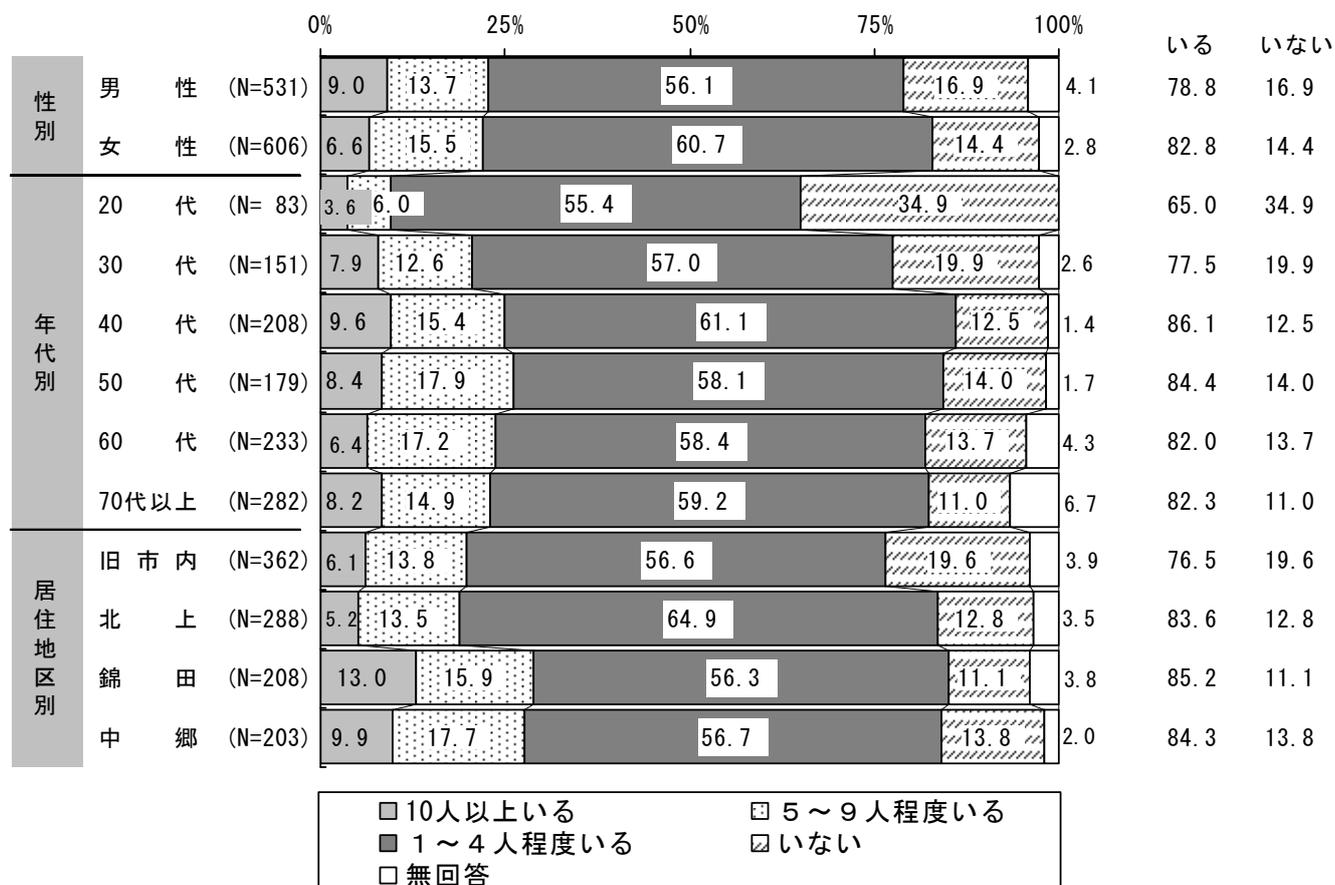
【時系列比較】



時系列でみると、困った時に助け合える人が“いる”(81.0%)は、23年度調査(81.5%)に比べ24年度調査(83.1%)で増加したが、再度減少傾向を示し、8割を超えている。

【属性別比較】

困った時に
助け合える人



性別

性別でみると、困った時に助け合える人が“いる”（男性 78.8%、女性 82.8%）で、男性・女性とも約 8 割となっている。「1～4 人程度いる」は、女性（60.7%）が、男性（56.1%）より多くなっている。

年代別

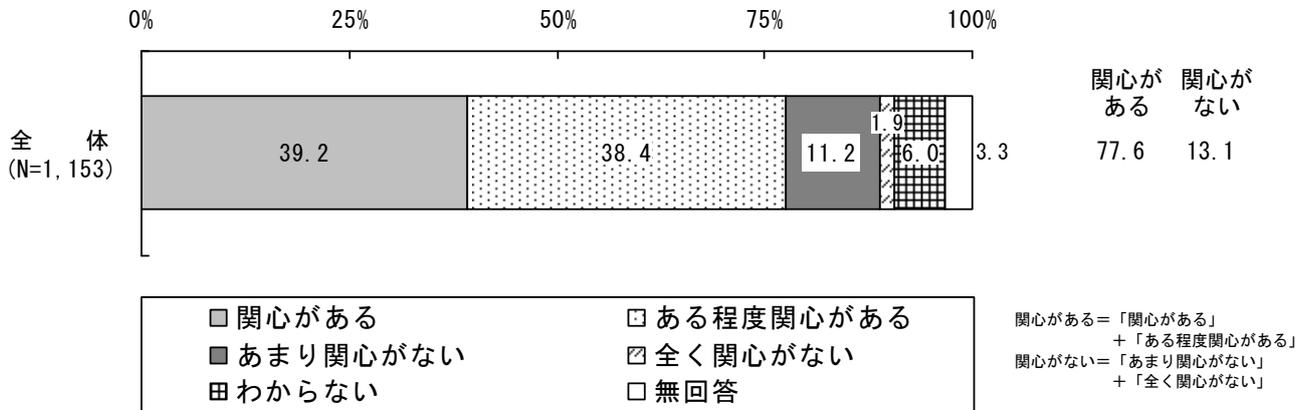
年代別でみると、困った時に助け合える人が“いる”は、40 代（86.1%）が最も多くなっている。一方、困った時に助け合える人が“いない”は、20 代（34.9%）が多くなっている。また、「5～9 人程度いる」は、50 代（17.9%）、60 代（17.2%）で約 2 割と多くなっている。

居住地区別

居住地区別でみると、困った時に助け合える人が“いる”は、錦田（85.2%）が多く、次いで中郷（84.3%）となっている。「10 人以上いる」は、錦田（13.0%）が多くなっている。

2) 食育への関心度

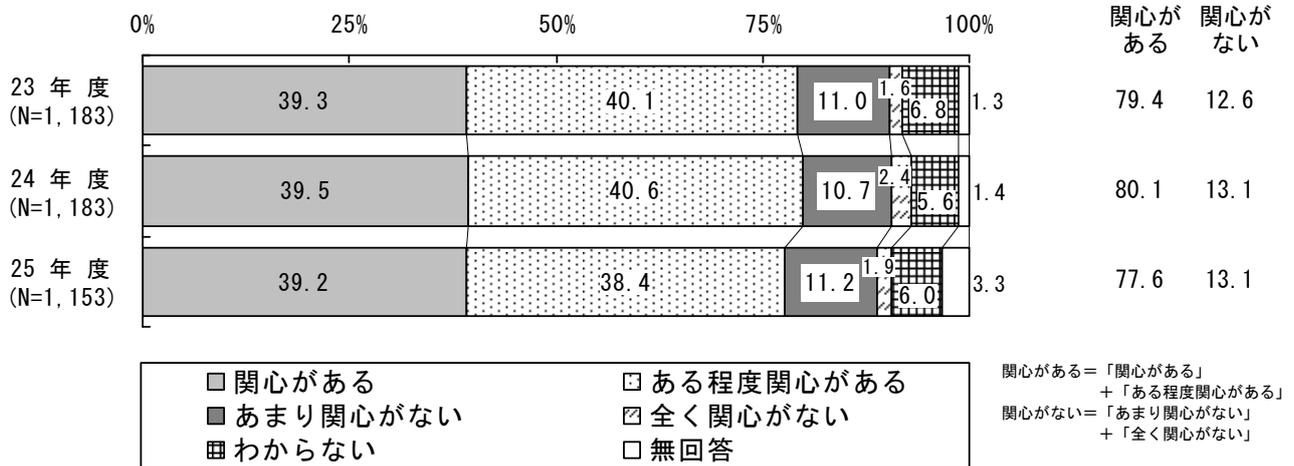
問8 食育に関心がありますか。(〇はひとつ)



*** 食育に“関心がある”のは77.6% ***

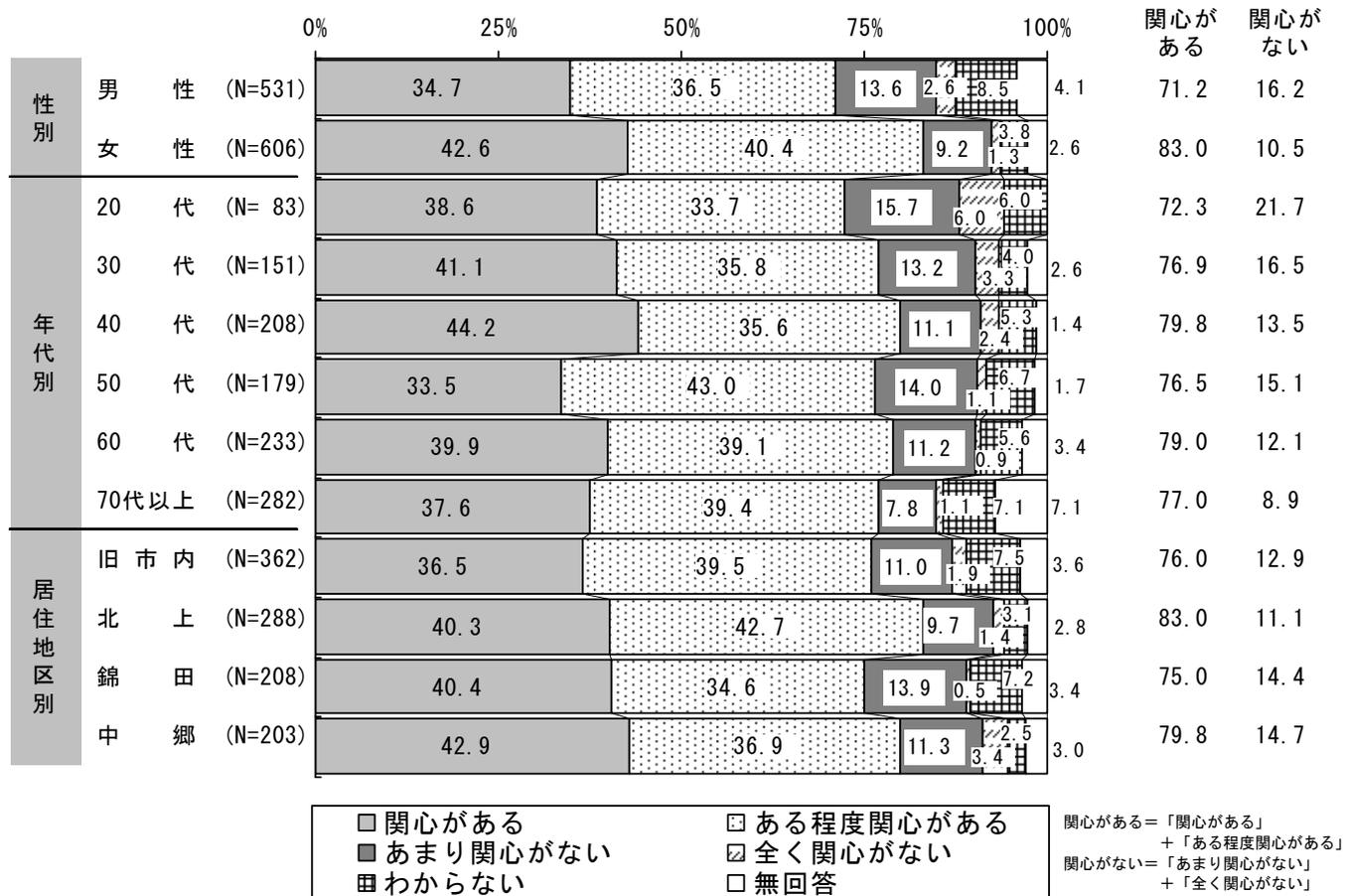
食育への関心度について聞いたところ、「関心がある」(39.2%)、「ある程度関心がある」(38.4%)を合わせた“関心がある”は77.6%となっている。一方、「あまり関心がない」(11.2%)、「全く関心がない」(1.9%)を合わせた“関心がない”は13.1%となっている。

【時系列比較】



時系列でみると、“関心がある” (77.6%) は、23年度調査 (79.4%) に比べ24年度調査 (80.1%) で微増傾向にあったが、再度減少傾向を示し、約8割を占めている。

【属性別比較】



性別

性別でみると、「関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせた、食育に“関心がある”は、女性(83.0%)が、男性(71.2%)より多くなっている。「関心がある」でも同様の傾向を示し、女性(42.6%)が、男性(34.7%)より多くなっている。

年代別

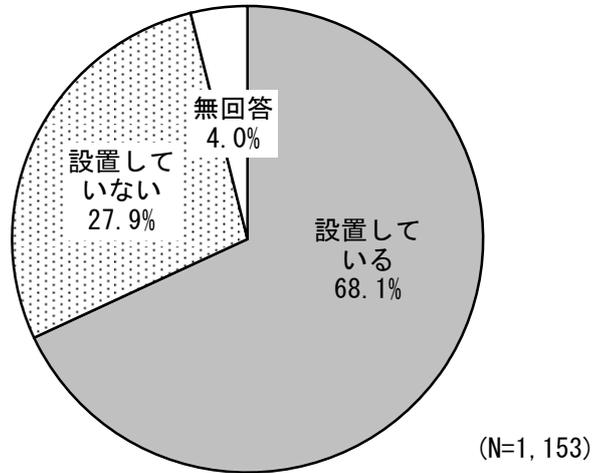
年代別でみると、「関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせた、食育に“関心がある”は、40代(79.8%)が多く、一方、20代(72.3%)は7割超にとどまっている。「関心がある」は、40代(44.2%)、30代(41.1%)で4割を超えている。また「ある程度関心がある」は、50代(43.0%)で4割台半ばと多くなっている。

居住地区別

居住地区別でみると、「関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせた、食育に“関心がある”は、北上(83.0%)が最も多くなっている。「関心がある」は、中郷(42.9%)が多くなっている。

3) 住宅用火災警報器の設置状況

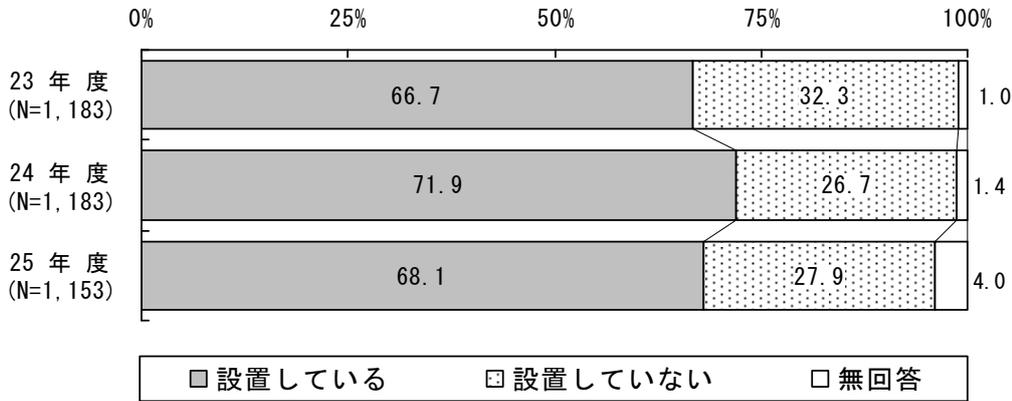
問9 住宅用火災警報器を設置していますか。(〇はひとつ)



*** 住宅用火災警報器を「設置している」のは68.1% ***

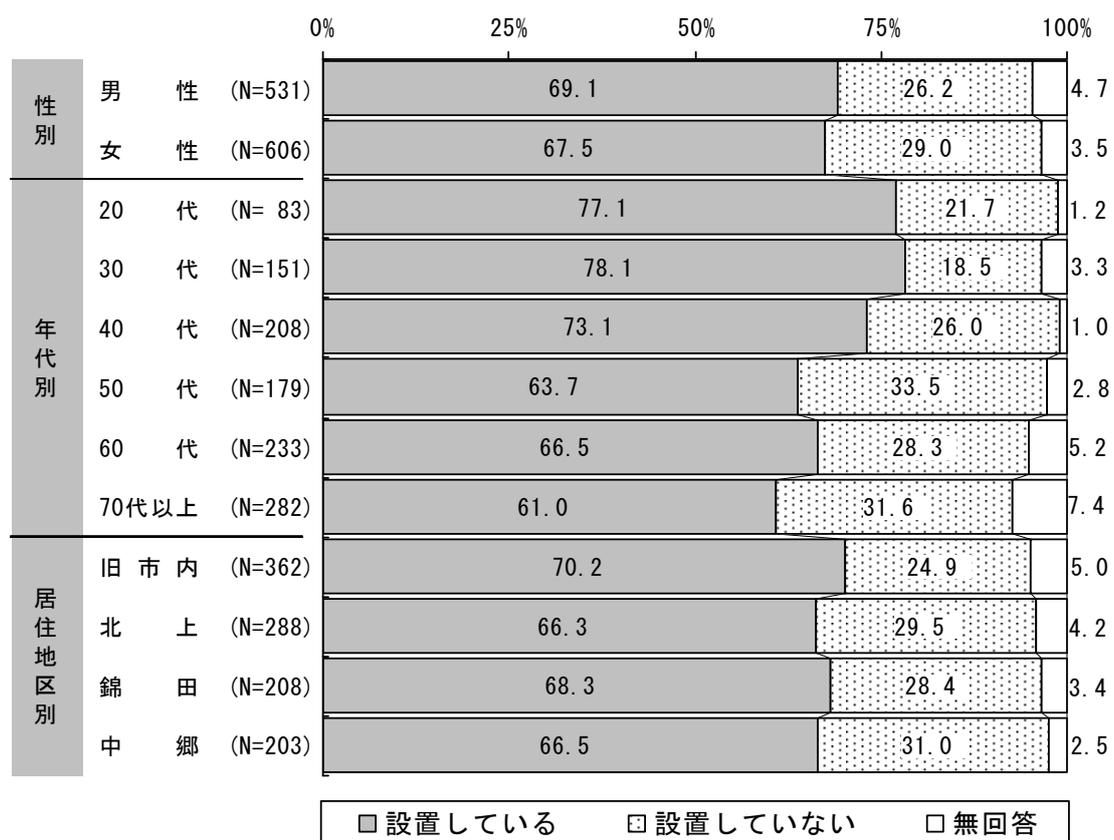
住宅用火災警報器の設置状況について聞いたところ、「設置している」(68.1%)は約7割となっている。一方、「設置していない」(27.9%)は、およそ4人に1人の割合となっている。

【時系列比較】



時系列で見ると、「設置している」(68.1%)は、23年度調査(66.7%)に比べ24年度調査(71.9%)で増加したが、再度減少傾向を示し、約7割を占めている。

【属性別比較】



性別

性別でみると、「設置している」(男性 69.1%、女性 67.5%) で、性別による大きな差はみられず、男性・女性とも約7割となっている。

年代別

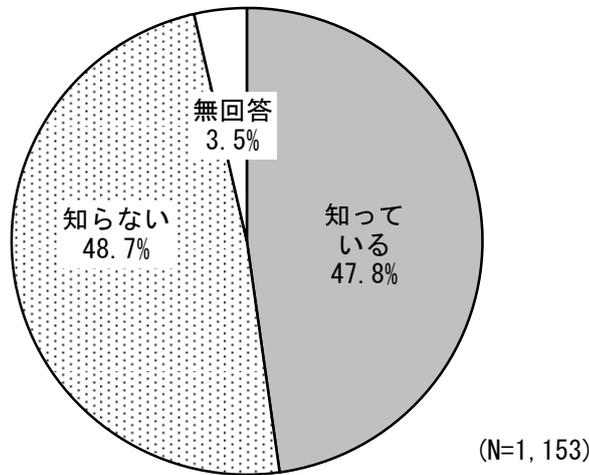
年代別でみると、「設置している」は、30代 (78.1%) が多くなっている。

居住地区別

居住地区別でみると、「設置している」は、旧市内 (70.2%) で最も多くなっている。一方、「設置していない」は、中郷 (31.0%) で多く、3割を超えている。

4) 市民相談室での消費生活相談実施の認知度

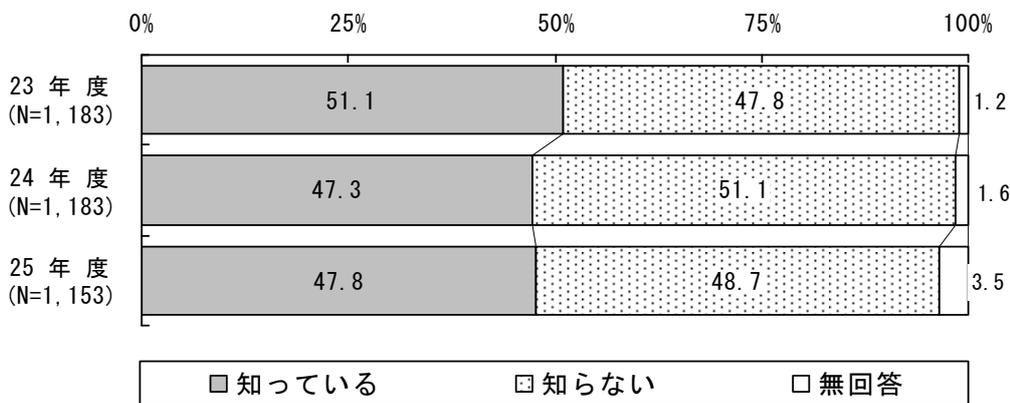
問10 市民相談室で消費生活相談を行なっていることを知っていますか。(〇はひとつ)



*** 市民相談室での消費生活相談実施の認知度は 47.8% ***

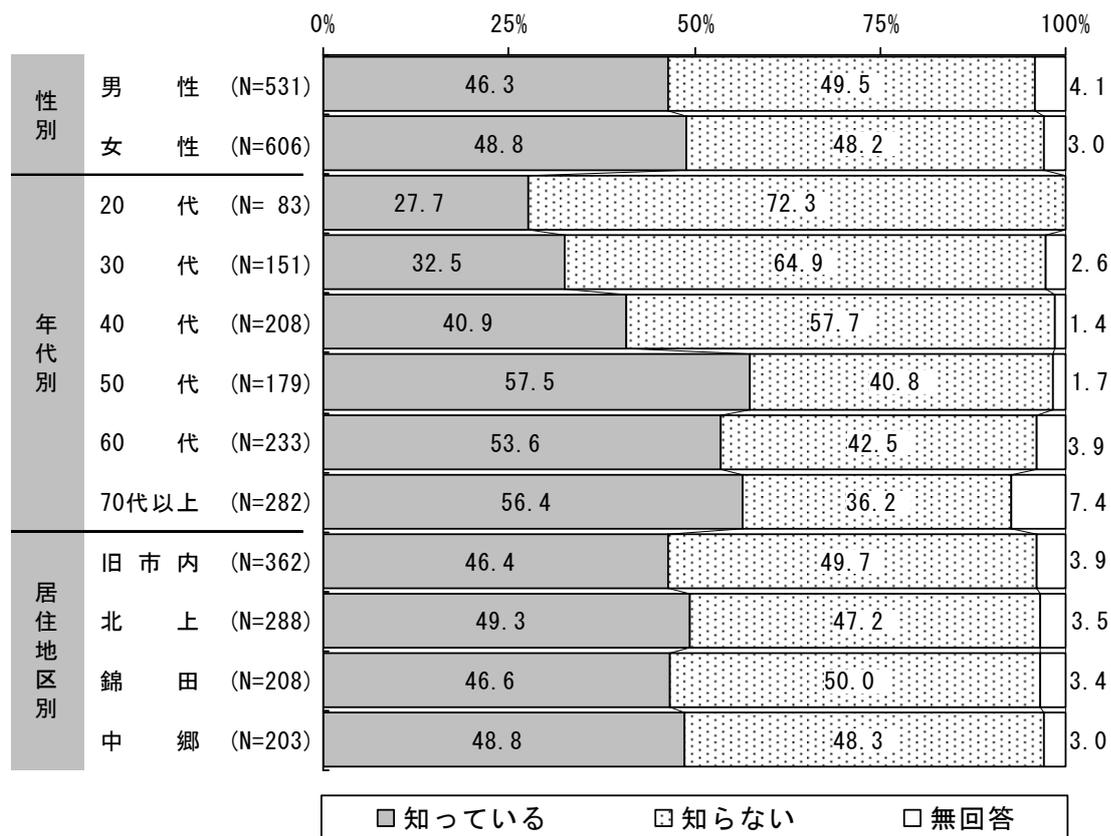
市民相談室での消費生活相談実施の認知について聞いたところ、「知らない」(48.7%)が「知っている」(47.8%)をわずかに上回っている。

【時系列比較】



時系列でみると、「知っている」(47.8%)は、23年度調査(51.1%)に比べ24年度調査(47.3%)で減少したが、再度微増加傾向を示し、約5割を占めている。

【属性別比較】



性別

性別でみると、「知っている」は、女性（48.8%）が、男性（46.3%）より多くなっている。

年代別

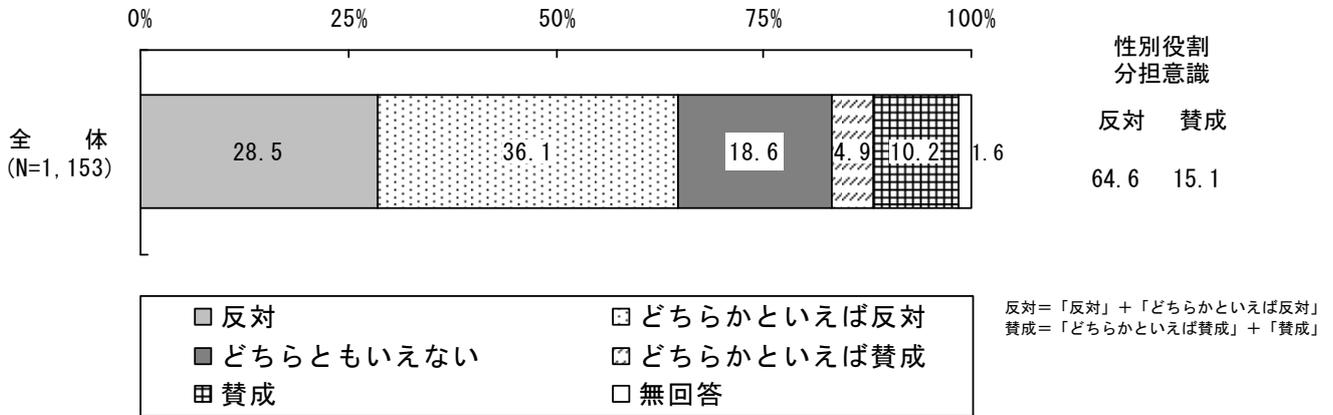
年代別でみると、「知っている」は、50代（57.5%）で最も多く、年齢が下がるにつれ、「知っている」が少なくなる傾向となり、20代（27.7%）は、約3割にとどまっている。

居住地区別

居住地区別でみると、「知っている」は、北上（49.3%）で最も多く、一方、旧市内（46.4%）では4割台半ばとなっている。

5) 性別役割分担意識の賛否度

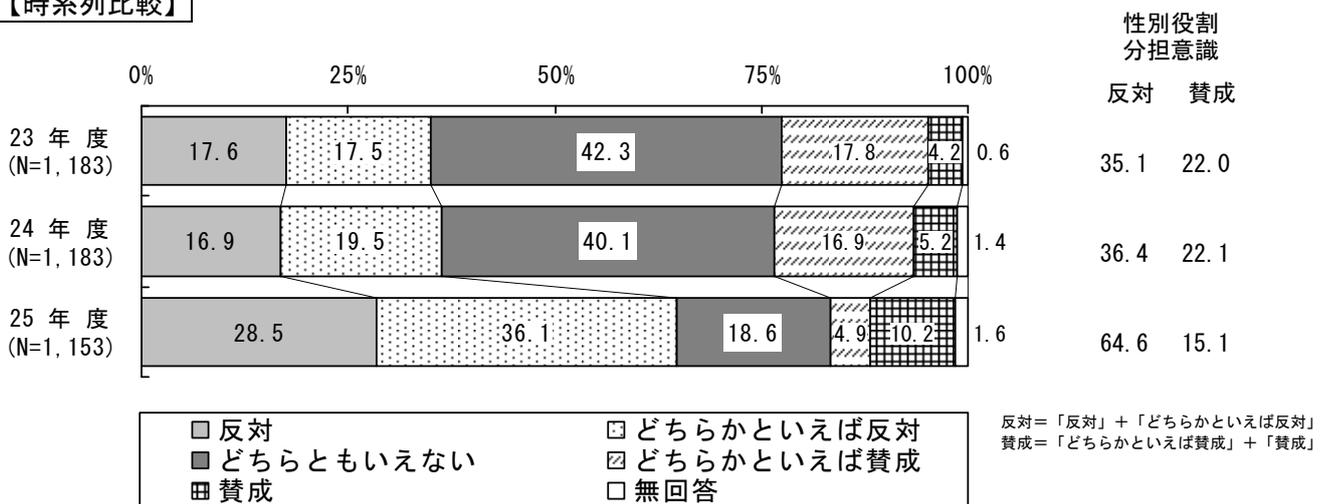
問11 「男性は仕事、女性は家庭」というような男女の役割を固定的に考えることについてどう思いますか。(〇はひとつ)



*** 性別役割分担意識に、反対は64.6% ***

性別役割分担意識の賛否について聞いたところ、「どちらともいえない」と答えた中間派が18.6%となっている。「どちらかといえば反対」(36.1%)、「反対」(28.5%)を合わせた“反対”は64.6%となっており、一方、「どちらかといえば賛成」(4.9%)、「賛成」(10.2%)を合わせた“賛成”は15.1%となっている。

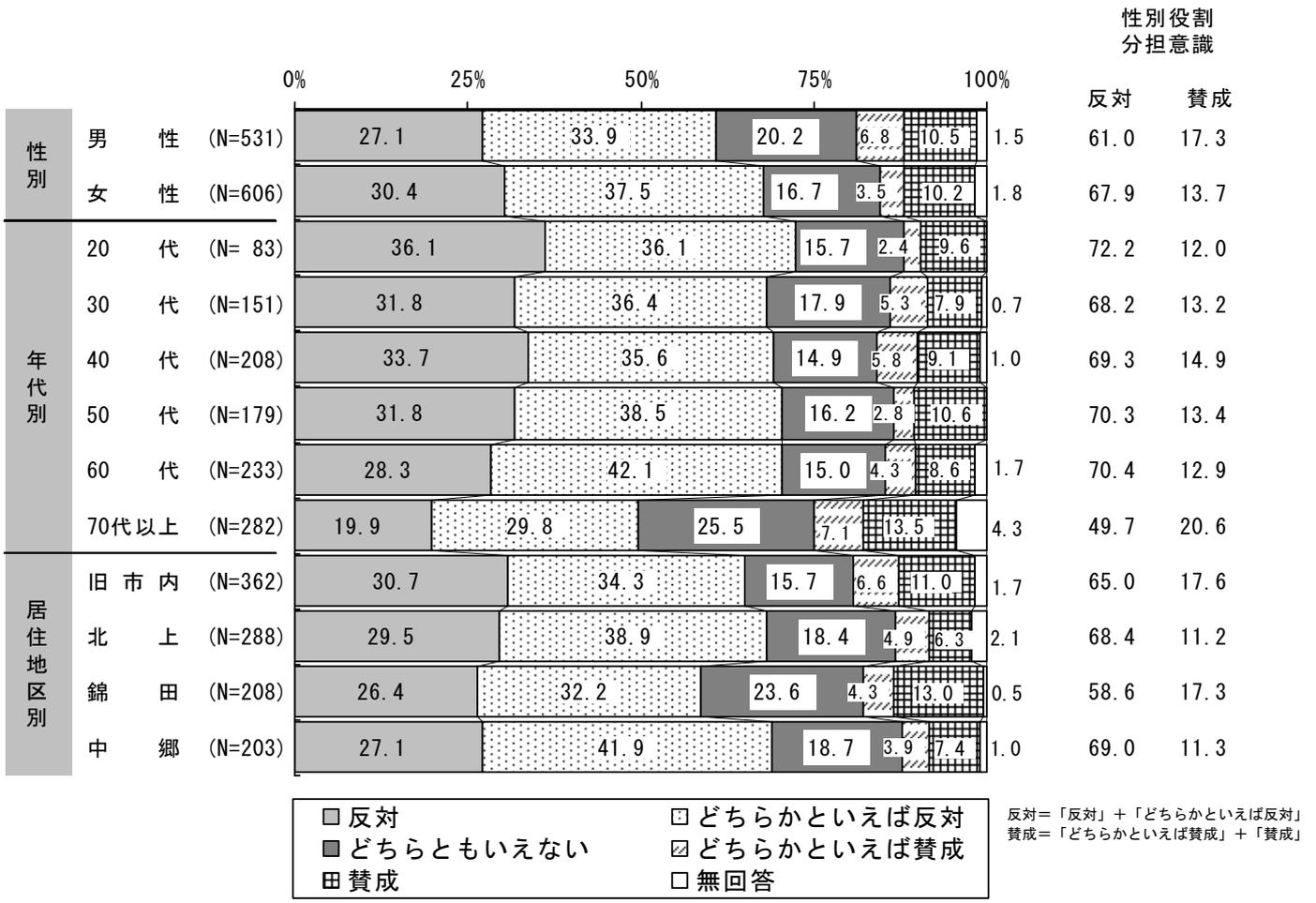
【時系列比較】



※23年度、24年度は「男性は仕事、女性は家庭という考え方をどう思いますか。」という設問文章で調査を行なった。

時系列でみると、“反対” (64.6%) は、23年度調査 (35.1%)、24年度調査 (36.4%) に比べ28ポイント以上増加している。但し、23年度、24年度は設問文が異なったため、このような結果となっている可能性がある。

【属性別比較】



性別

性別でみると、「反対」と「どちらかといえば反対」を合わせた“反対”は、女性（67.9%）が、男性（61.0%）より多くなっている。

年代別

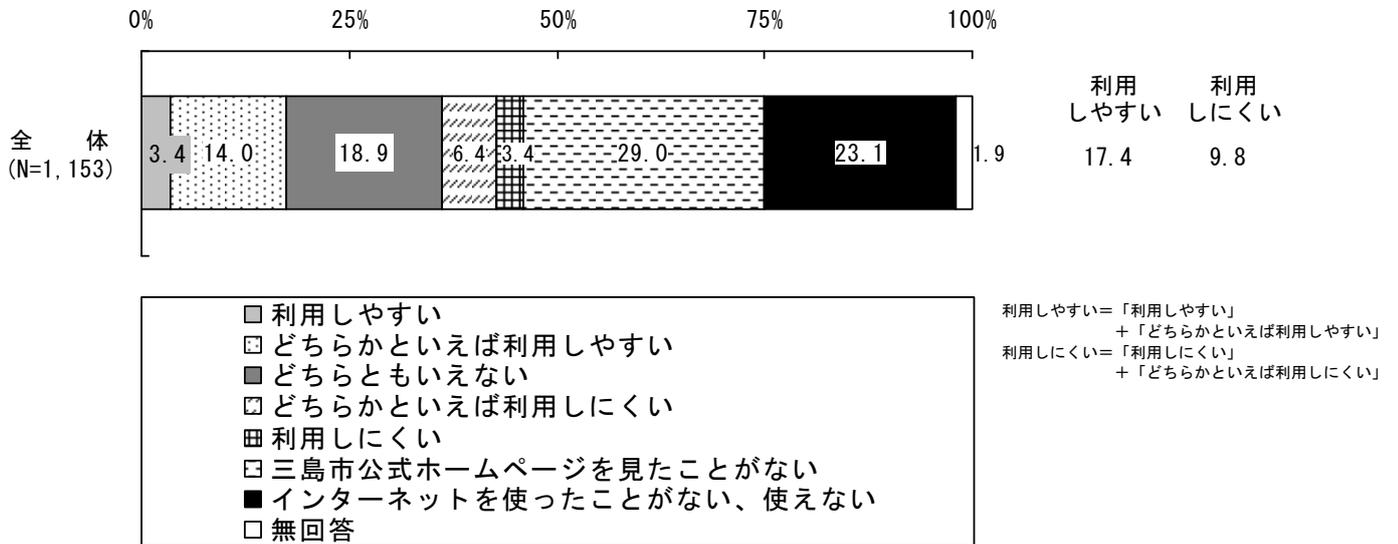
年代別でみると、「反対」と「どちらかといえば反対」を合わせた“反対”は60代（70.4%）が最も多くなっている。「反対」は年代が上がるにつれ少なくなっており、70代以上（19.9%）では約2割となっている。

居住地区別

居住地区別でみると、「反対」と「どちらかといえば反対」を合わせた“反対”は、中郷（69.0%）が最も多く、次いで北上（68.4%）となっている。

6) 三島市の公式ホームページの利用のしやすさ

問 1 2 三島市公式ホームページは利用しやすいですか。(○はひとつ)

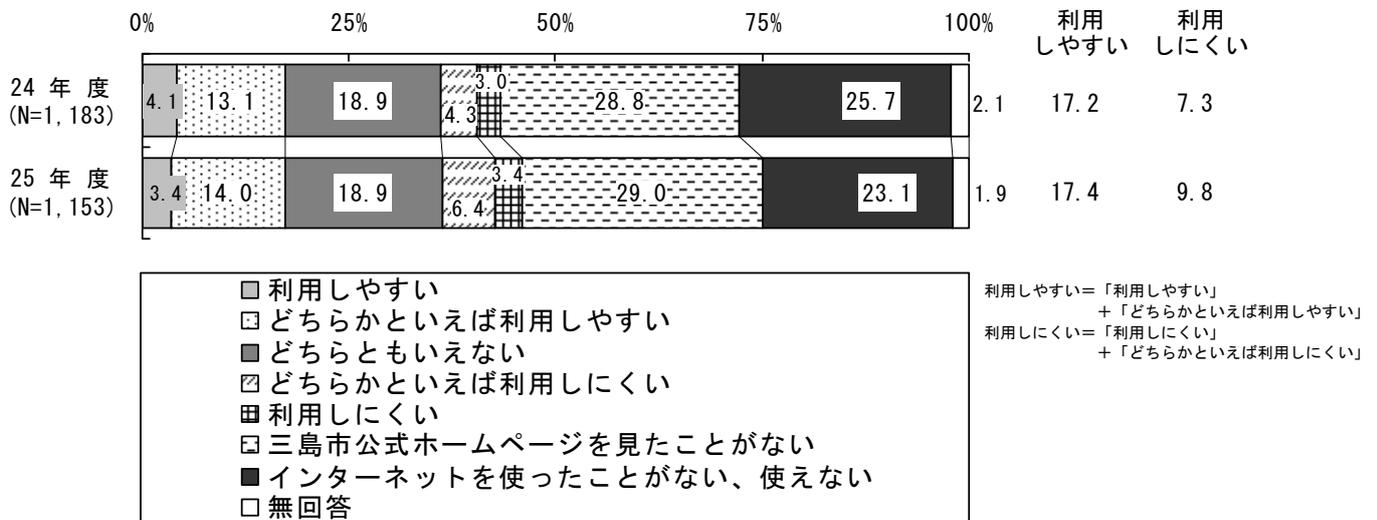


*** 三島市の公式ホームページの“利用者”は 46.1% “利用しやすい”は 17.4% ***

三島市の公式ホームページの利用しやすさについて聞いたところ、「利用しやすい」(3.4%)、「どちらかといえば利用しやすい」(14.0%)を合わせた“利用しやすい”は17.4%となっている。一方、「どちらかといえば利用しにくい」(6.4%)、「利用しにくい」(3.4%)を合わせた“利用しにくい”は9.8%となっている。これらを合わせた“利用者”は46.1%となっている。

また、「三島市公式ホームページを見たことがない」(29.0%)、「インターネットを使ったことがない、使えない」(23.1%)を合わせた“未利用者”は52.1%と半数を占めている。

【時系列比較】

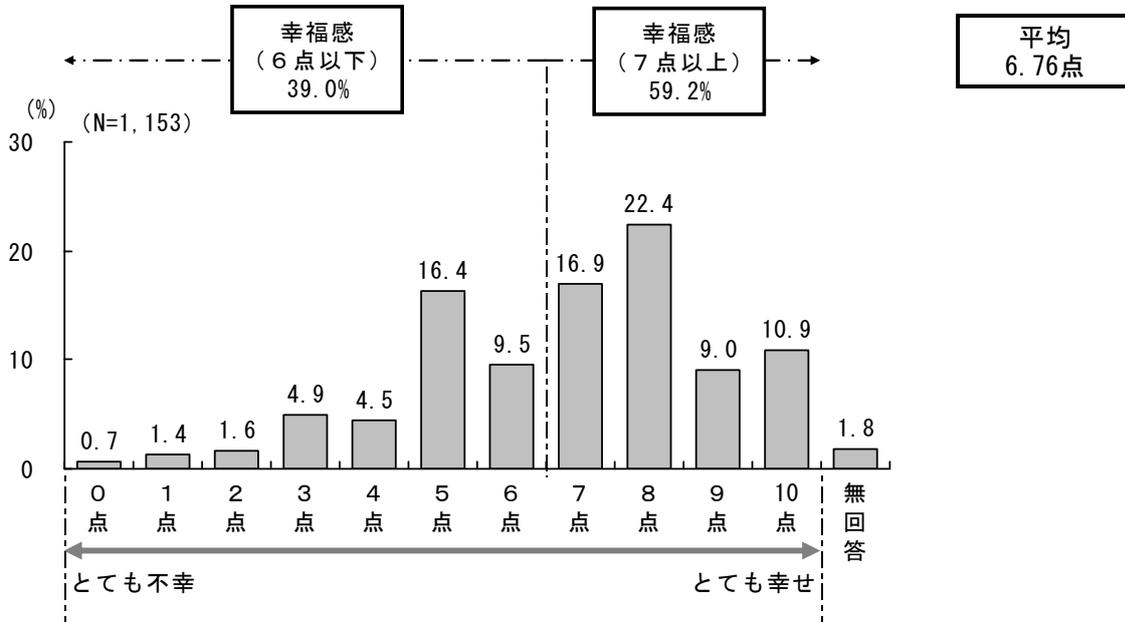


時系列でみると、“利用しやすい” (17.4%) は、24年度調査 (17.2%) と同様の傾向を示し、約2割を占めている。

5 『幸福度と健康づくり』について

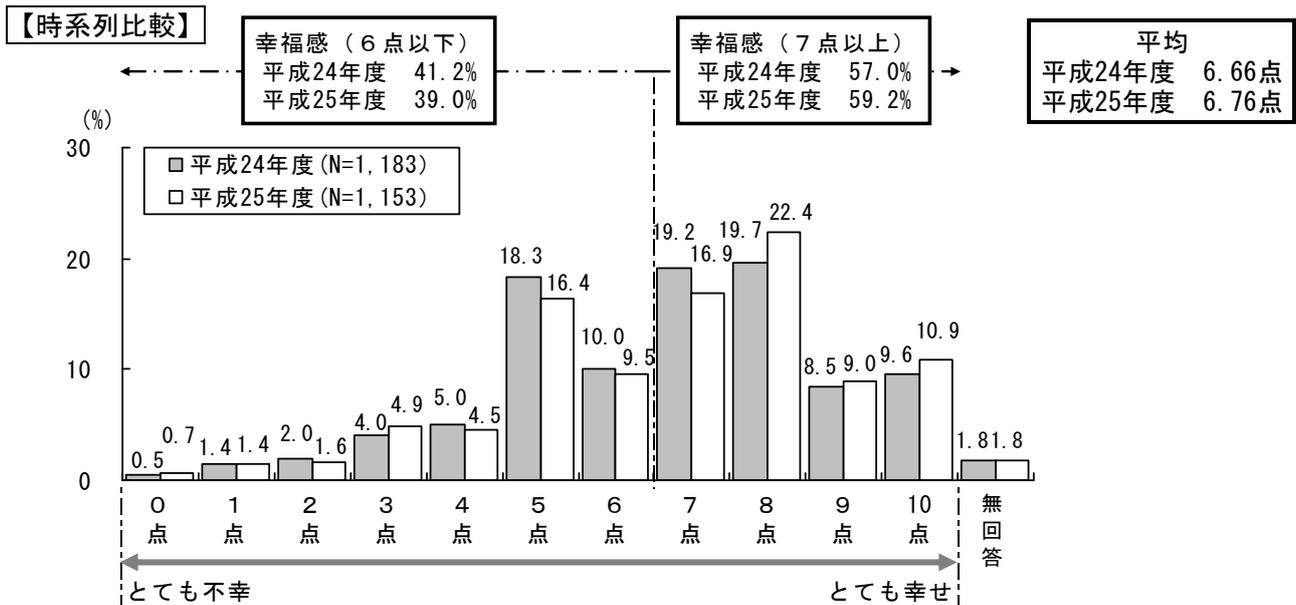
1) 幸福感

問13 現在あなたは、どの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。いずれかの数字を1つだけ○で囲んでください。



*** 現在の幸福感の平均は 6.76 点、平均以上は 59.2% ***

現在の幸福感について聞いたところ、「8点」(22.4%)、「7点」(16.9%)、「5点」(16.4%)が多くなっている。平均は6.76点で、平均点以上の「幸福感(7点以上)」(59.2%)は約6割となっている。



時系列で見ると、「幸福感(7点以上)」(59.2%)は、24年度調査(57.0%)と同様の傾向を示し、約6割を占めている。

【属性別比較】

単位：(%) 単位：(%)

		調査数	0点 (とても不幸)	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点 (とても幸せ)	無回答	幸福感 (6点以下)	幸福感 (7点以上)	平均
性別	男性	531	0.9	2.1	2.1	5.5	6.0	14.3	10.2	18.3	21.5	7.7	9.8	1.7	41.1	57.3	6.57
	女性	606	0.5	0.8	1.2	4.1	3.3	18.5	8.7	15.3	23.4	10.2	12.0	1.8	37.1	60.9	6.94
年代別	20代	83	3.6	1.2	4.8	2.4	2.4	9.6	18.1	20.5	22.9	3.6	10.8	0.0	42.1	57.8	6.52
	30代	151	0.7	0.7	1.3	4.6	3.3	11.9	11.3	15.9	27.2	9.3	13.2	0.7	33.8	65.6	7.07
	40代	208	0.5	1.9	2.9	4.8	5.3	13.9	6.7	19.2	19.7	10.6	12.5	1.9	36.0	62.0	6.79
	50代	179	0.0	3.4	1.1	5.0	4.5	17.3	12.3	19.0	20.7	10.1	6.1	0.6	43.6	55.9	6.53
	60代	233	0.9	0.9	0.4	6.9	6.0	13.3	9.4	16.3	26.2	8.6	9.0	2.1	37.8	60.1	6.75
	70代以上	282	0.4	0.7	1.1	3.9	3.2	24.5	6.4	13.1	20.2	9.6	13.5	3.5	40.2	56.4	6.87
居住地区別	旧市内	362	0.3	1.7	2.2	3.3	5.2	14.6	11.6	16.0	22.9	9.7	11.0	1.4	38.9	59.6	6.82
	北上	288	0.7	1.0	1.0	4.2	3.8	14.9	8.7	17.0	22.9	11.5	13.2	1.0	34.3	64.6	7.02
	錦田	208	1.4	1.4	1.0	6.3	4.8	20.7	5.8	15.9	24.0	8.2	9.1	1.4	41.4	57.2	6.57
	中郷	203	0.5	2.0	1.5	5.4	5.4	17.2	10.3	18.7	19.2	6.9	11.3	1.5	42.3	56.1	6.61

1位

2位

3位

性別

性別でみると、“幸福感（7点以上）”は、女性（60.9%）が、男性（57.3%）より多くなっている。

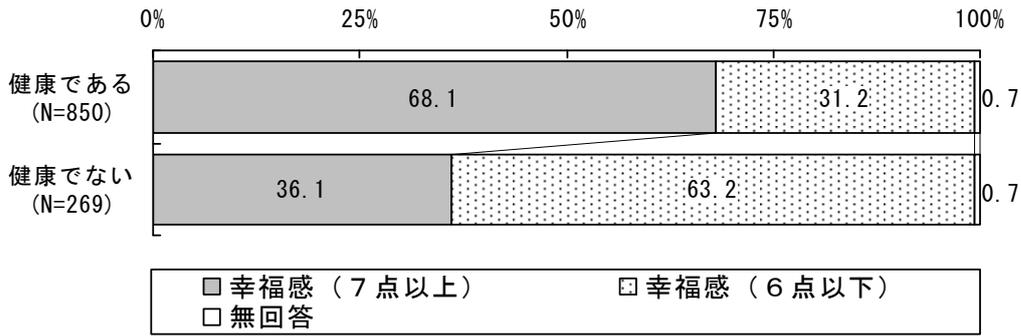
年代別

年代別でみると、“幸福感（7点以上）”は、30代（65.6%）で最も多くなっている。一方、50代（55.9%）で5割台半ばと少なくなっている。

居住地区別

居住地区別でみると、“幸福感（7点以上）”は、北上（64.6%）で最も多く、中郷（56.1%）は5割台半ばと少なくなっている。

【健康状態別の幸福感】

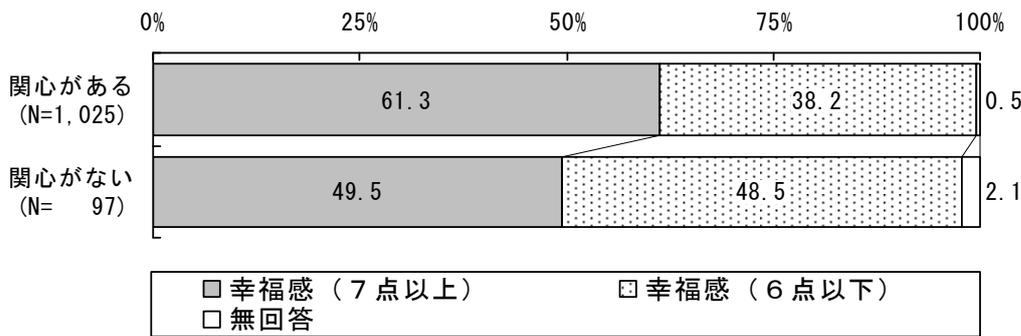


※健康状態については、p55の問15を参照。『健康である』＝「健康である」＋「どちらかといえば健康である」
『健康でない』＝「健康でない」＋「どちらかといえば健康でない」

健康状態別

健康状態別の幸福感をみると、『健康である』人は“幸福感（7点以上）”（68.1%）が多くなっている。

【健康づくりへの関心度別の幸福感】

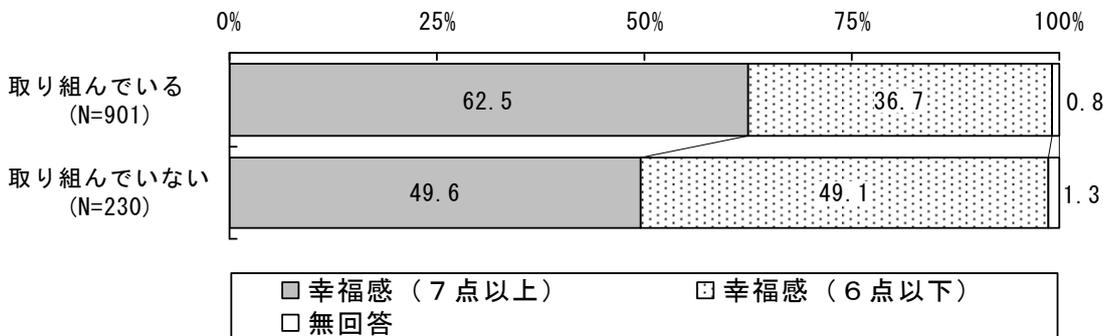


※健康づくりへの関心度については、p57の問16を参照。

健康づくりへの関心度別

健康づくりへの関心度別の幸福感をみると、『関心がある』人は“幸福感（7点以上）”（61.3%）が6割を超えている。

【健康づくりの取り組み状況別の幸福感】



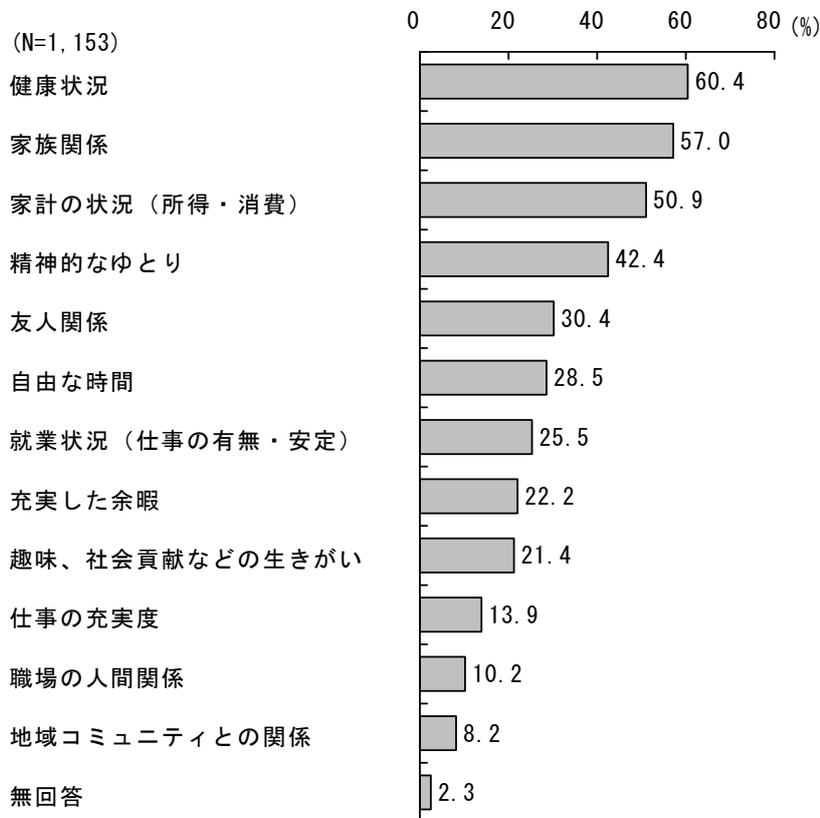
※健康づくりの取り組み状況については、p59の問17を参照。

健康づくりへの関心度と取り組み状況別

健康づくりの取り組み状況別の幸福感をみると、『取り組んでいる』人は“幸福感（7点以上）”（62.5%）が6割を超えている。

2) 幸福感を判断する際の重視事項

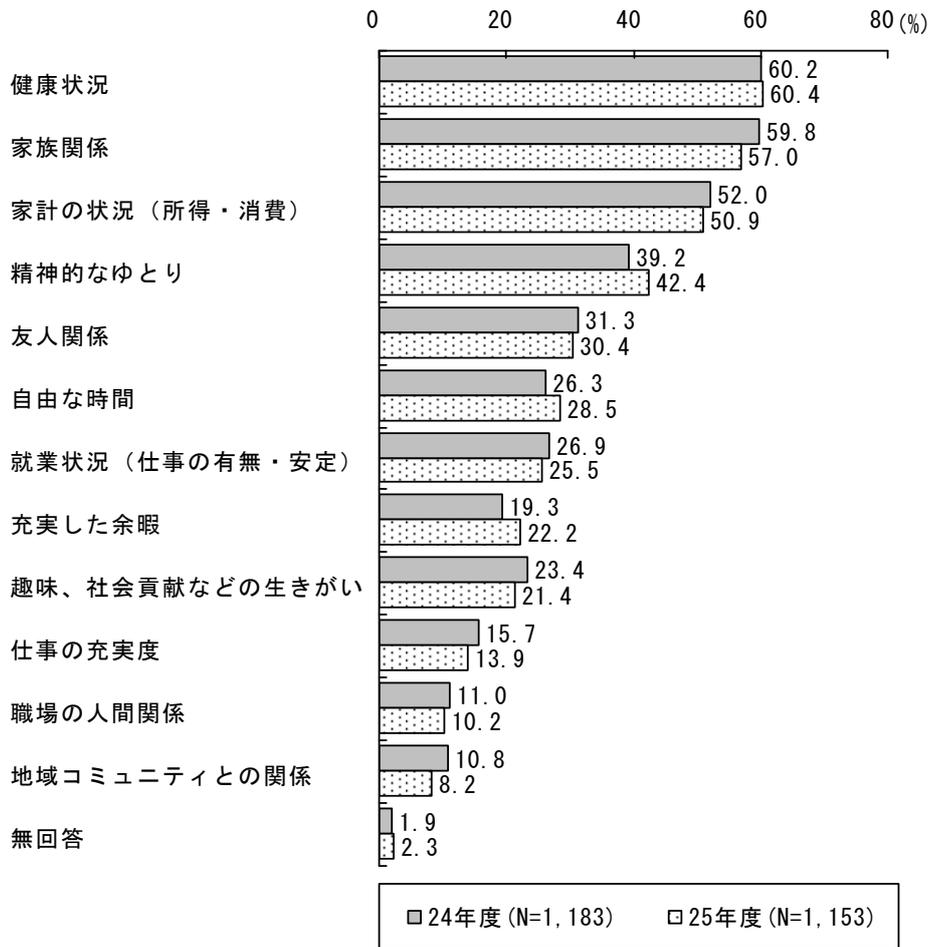
問14 問13で、幸福感を判断する際に重視した事項は何ですか。(〇はいくつでも)



***** 幸福感を判断する際に重視した事項は「健康状態」が60.4% *****

幸福感を判断する際の重視事項について聞いたところ、「健康状況」(60.4%)、「家族関係」(57.0%)、「家計の状況 (所得・消費)」(50.9%) などとなっている。

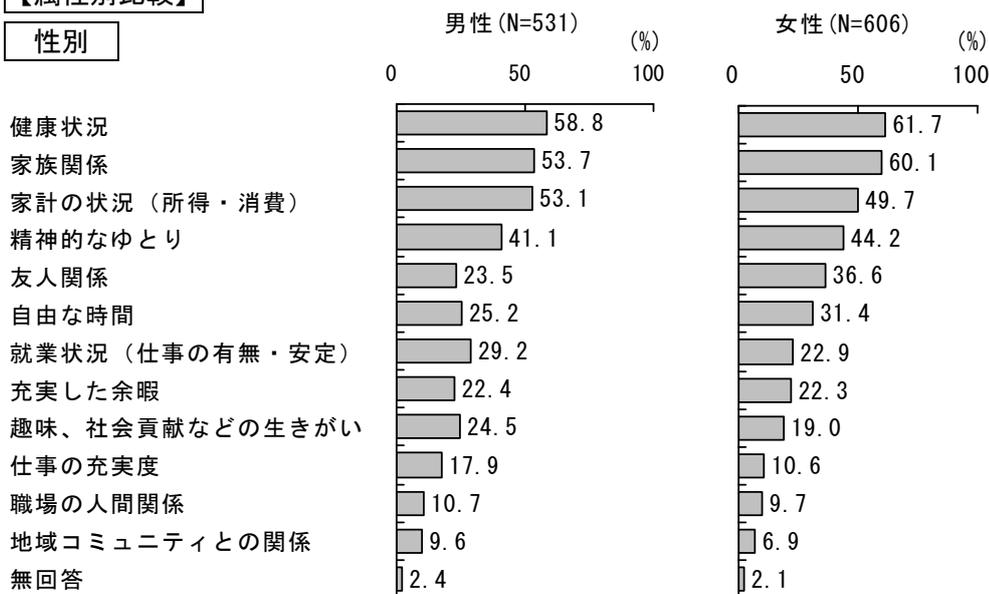
【時系列比較】



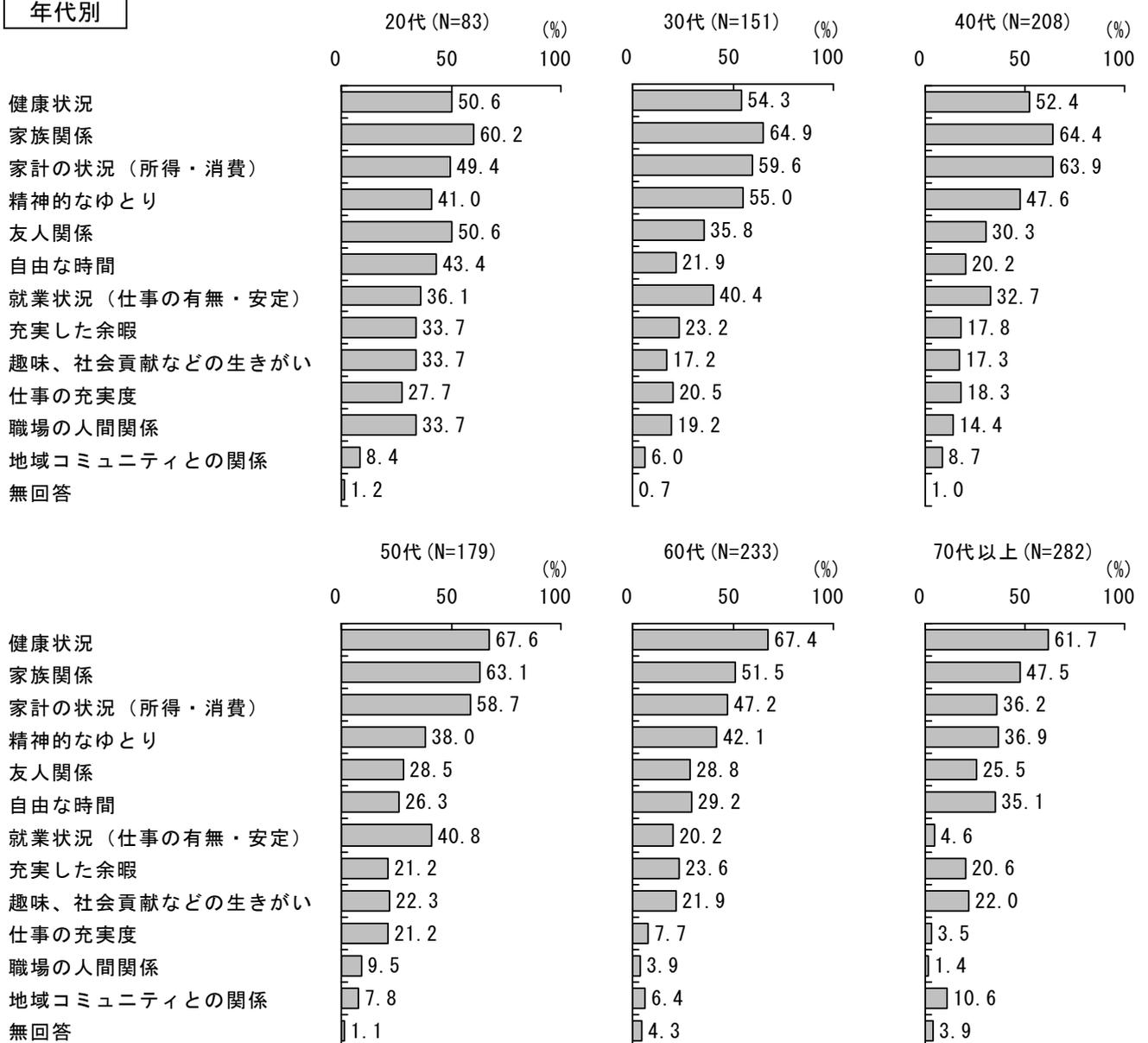
時系列でみると、「健康状況」（60.4%）、「精神的なゆとり」（42.4%）、「自由な時間」（28.5%）、「充実した余暇」（22.2%）は、24年度調査に比べ増加傾向にある。

【属性別比較】

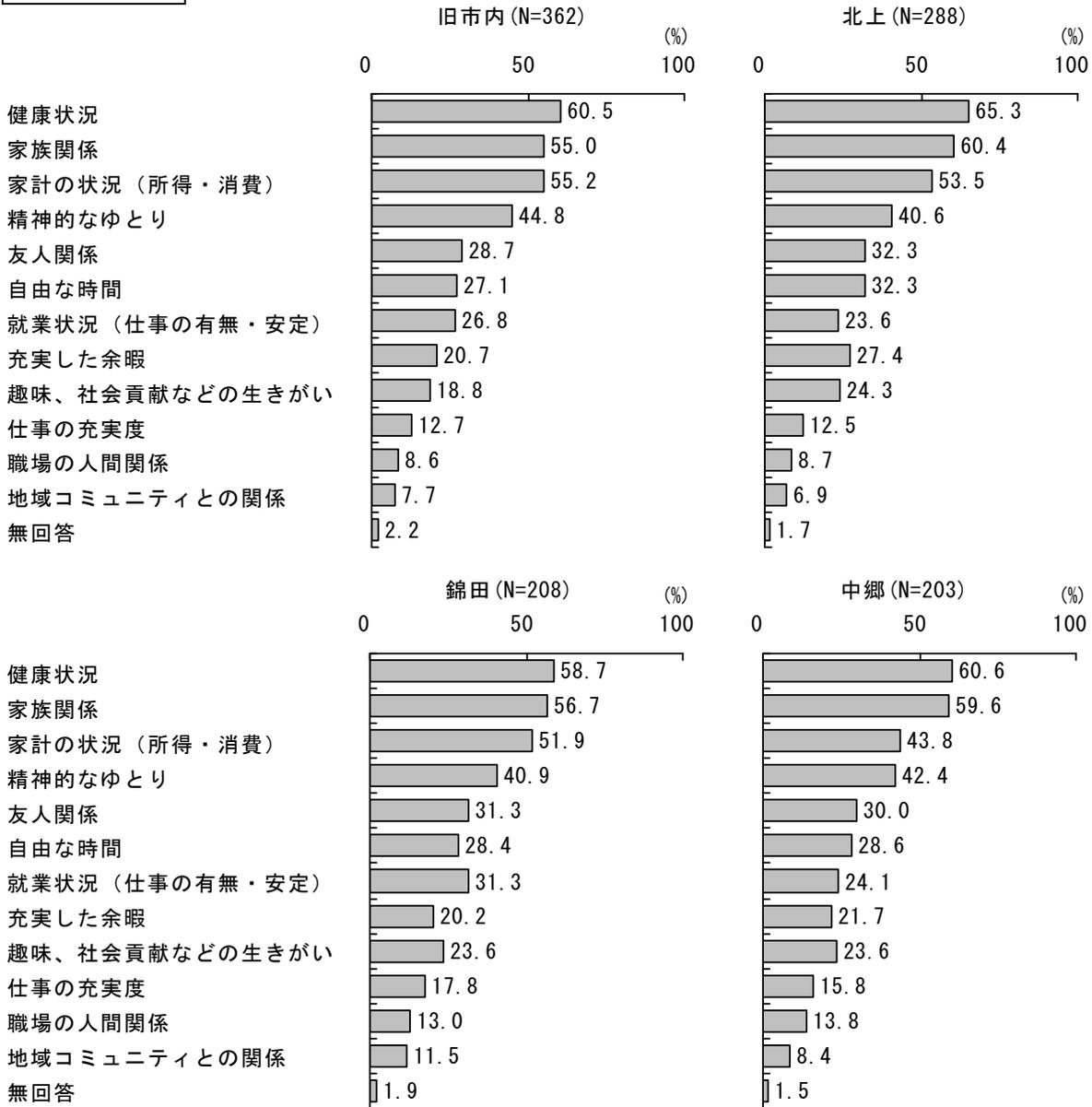
性別



年代別



居住地区別



性別

性別でみると、「家族関係」は、女性 (60.1%) が、男性 (53.7%) より6ポイント以上高くなっている。

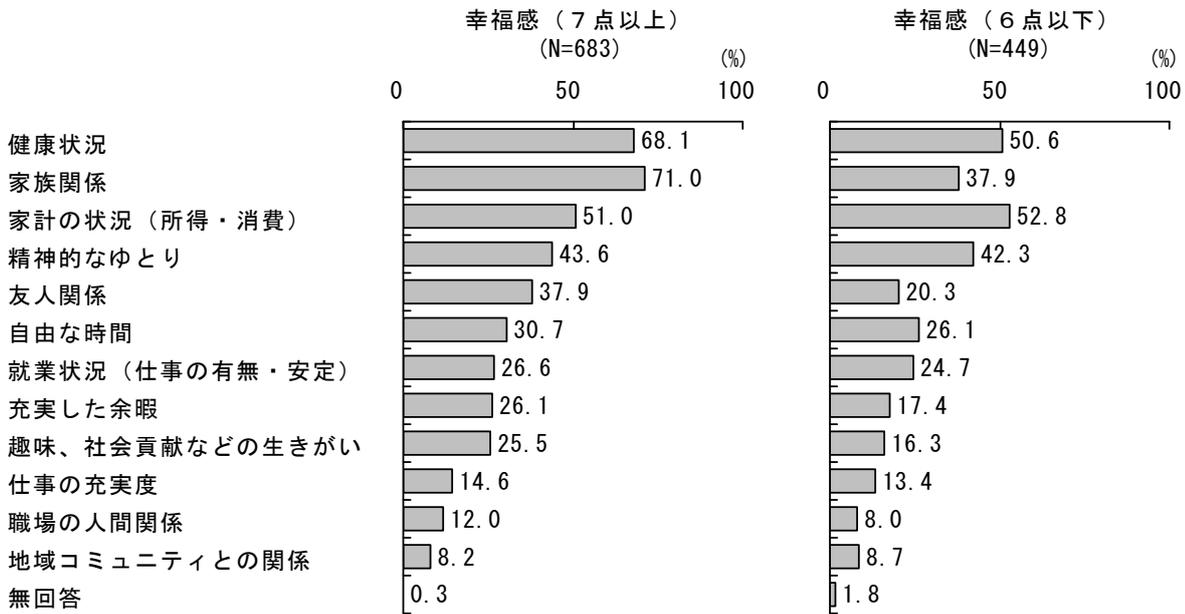
年代別

年代別でみると、「健康状況」は、50代以上で6割を超え、多くなっており、「家族関係」は20代から50代で6割を超え、多くなっている。

居住地区別

居住地区別でみると、「就業状況 (仕事の有無・安定)」は、錦田 (31.3%) で多くなっており、「地域コミュニティとの関係」は、北上 (6.9%) で少なくなっている。

【幸福感別の幸福感を判断する際の重視事項】

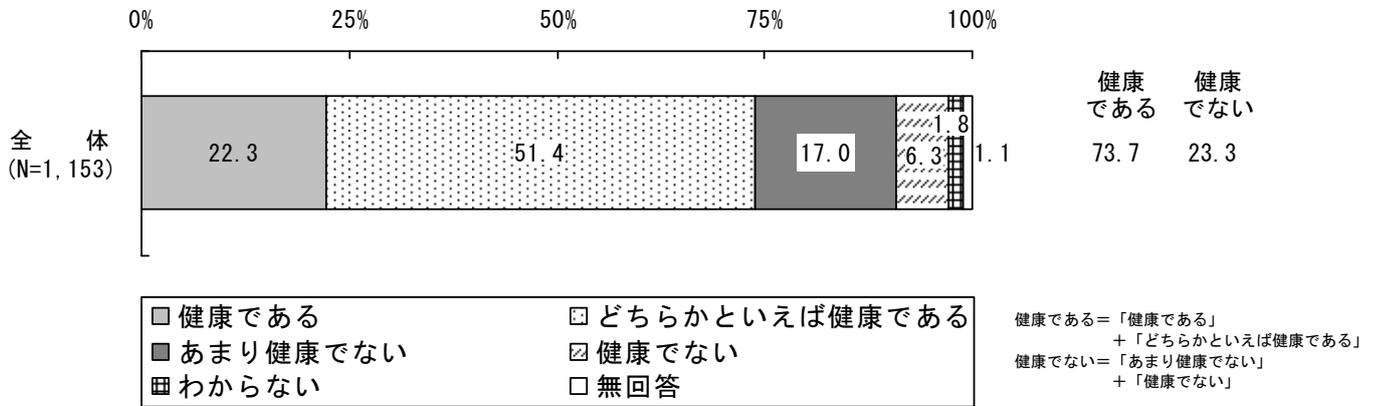


幸福感別

幸福感別の幸福感を判断する際の重視事項をみると、「家族関係」は“幸福感 (7点以上)” (71.0%) が、“幸福感 (6点以下)” (37.9%) より大幅に多くなっており、「友人関係」や「充実した余暇」、「趣味、社会貢献などの生きがい」でも同様の傾向がみられる。

3) 健康状態

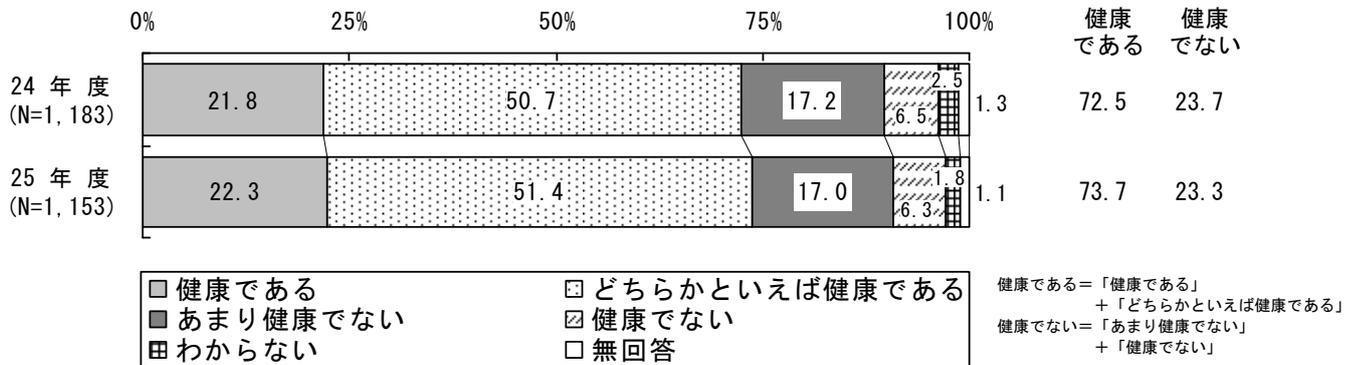
問15 あなたは、現在の自分の健康状態をどのように感じていますか。(○はひとつ)



*** 現在健康であると感じている人は73.7% ***

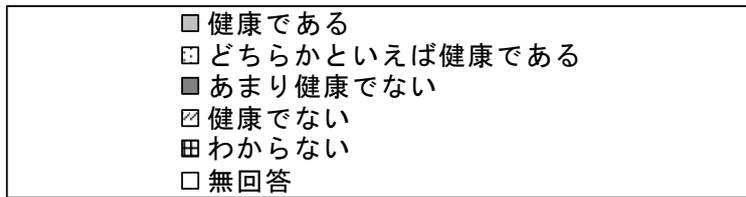
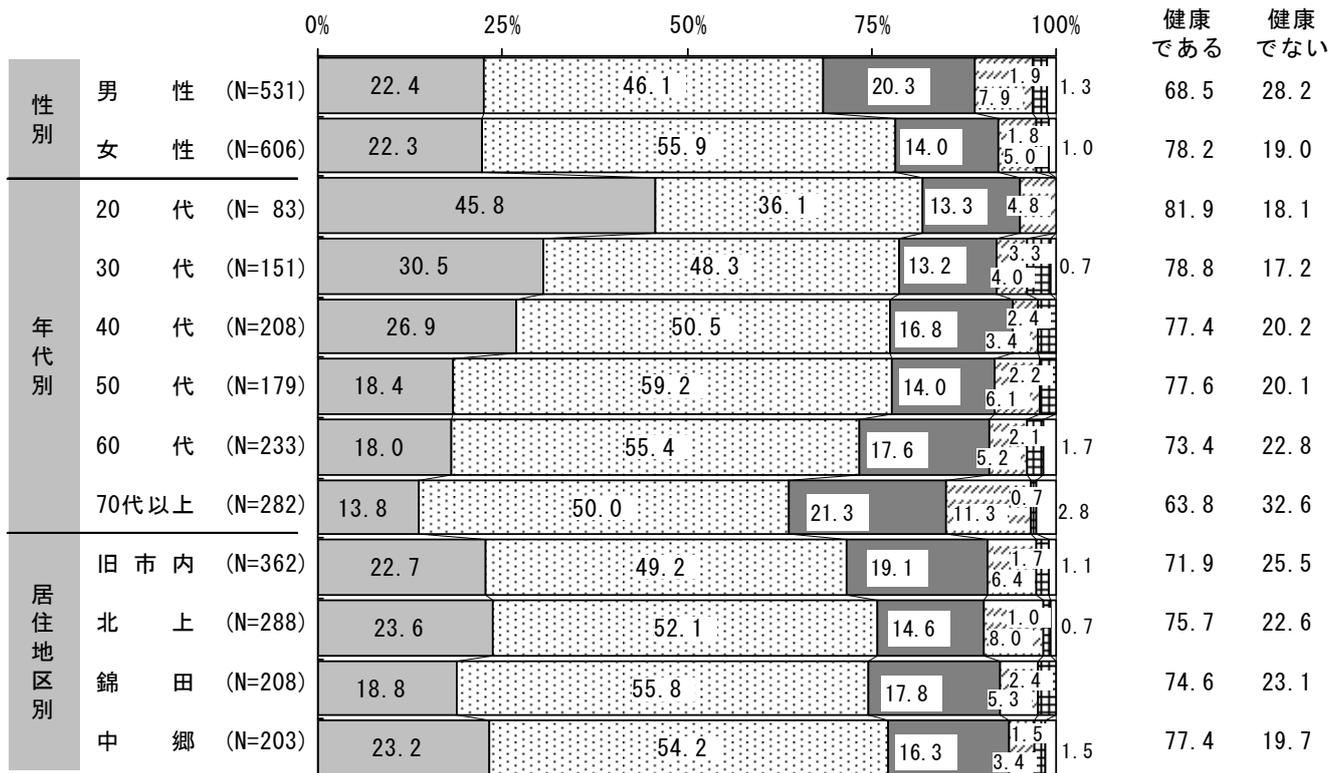
健康状態について聞いたところ、「健康である」(22.3%)、「どちらかといえば健康である」(51.4%)を合わせた“健康である”は73.7%となっている。一方、「あまり健康でない」(17.0%)、「健康でない」(6.3%)を合わせた“健康でない”は23.3%となっている。

【時系列比較】



時系列でみると、“健康である”(73.7%)は、24年度調査(72.5%)に比べ増加傾向にあり、7割台半ばとなっている。

【属性別比較】



健康である = 「健康である」
 + 「どちらかといえば健康である」
 健康でない = 「あまり健康でない」
 + 「健康でない」

性別

性別でみると、「健康である」と「どちらかといえば健康である」を合わせた“健康である”(男性 68.5%、女性 78.2%) は、性別による大きな差がみられ、女性の方が9ポイント以上高くなっている。

年代別

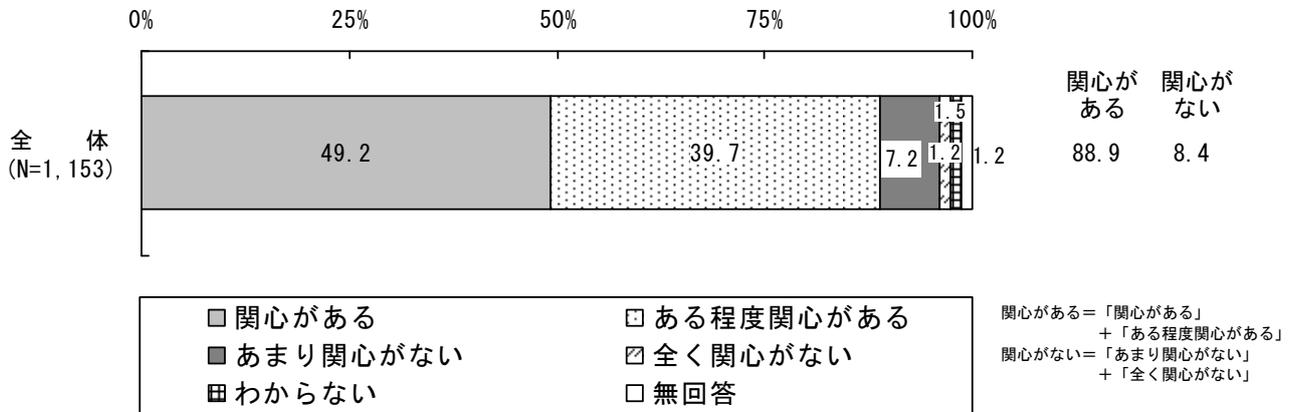
年代別でみると、「健康である」は、年代が上がるにつれて少なくなっている。「どちらかといえば健康である」は、50代(59.2%)で約6割と多くなっている。また、「健康である」と「どちらかといえば健康である」を合わせた“健康である”は70代以上(63.8%)で少なくなっている。

居住地区別

居住地区別でみると、「健康である」と「どちらかといえば健康である」を合わせた“健康である”は、中郷(77.4%)が最も多く、次いで北上(75.7%)となっている。一方、“健康でない”は、旧市内(25.5%)で最も多くなっている。

4) 健康づくりへの関心度

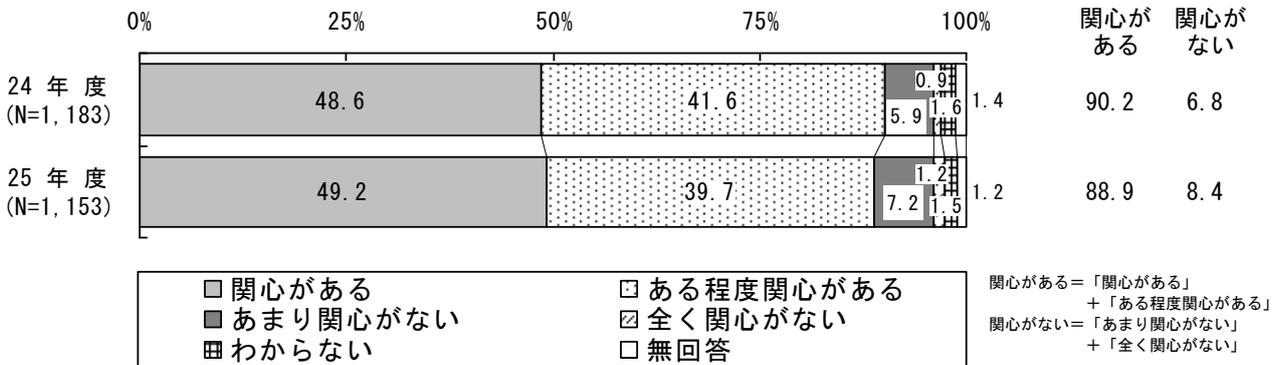
問16 あなたは、健康づくりに関心がありますか。(〇はひとつ)



*** 健康づくりに“関心がある”のは88.9% ***

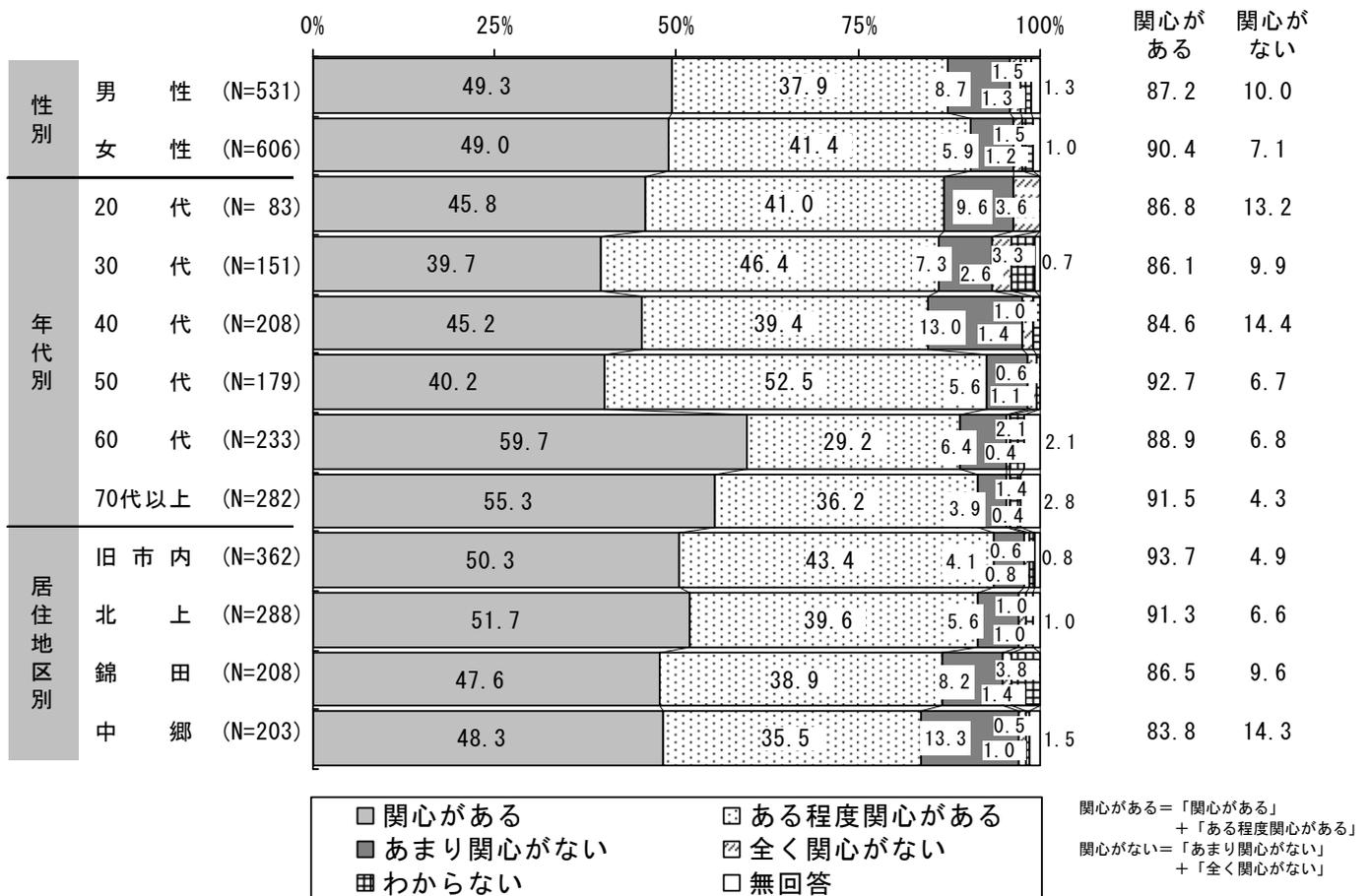
健康づくりへの関心度について聞いたところ、「関心がある」(49.2%)が最も多く、「ある程度関心がある」(39.7%)を合わせた“関心がある”は88.9%となっている。一方、「あまり関心がない」(7.2%)、「全く関心がない」(1.2%)を合わせた“関心がない”は8.4%となっている。

【時系列比較】



時系列でみると、“関心がある” (88.9%) は、24年度調査 (90.2%) に比べ減少傾向にあり、約9割を占めている。

【属性別比較】



性別

性別でみると、「関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせた“関心がある”（男性 87.2%、女性 90.4%）で、性別による大きな差はみられず、男性・女性ともおよそ9割となっている。

年代別

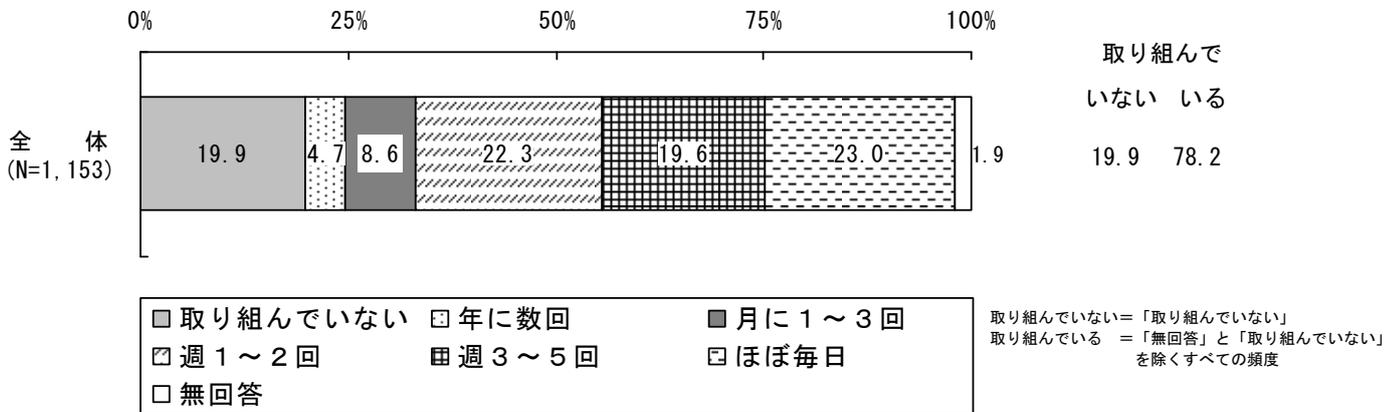
年代別でみると、「関心がある」は、60代（59.7%）が6割と最も多く、「あまり関心がない」と「全く関心がない」を合わせた“関心がない”は、40代（14.4%）と20代（13.2%）で1割を超え、多くなっている。

居住地区別

居住地区別でみると、「関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせた“関心がある”は、旧市内（93.7%）、中郷（83.8%）などとなっており、居住地区により差がみられる。

5) 健康づくりの取り組み頻度

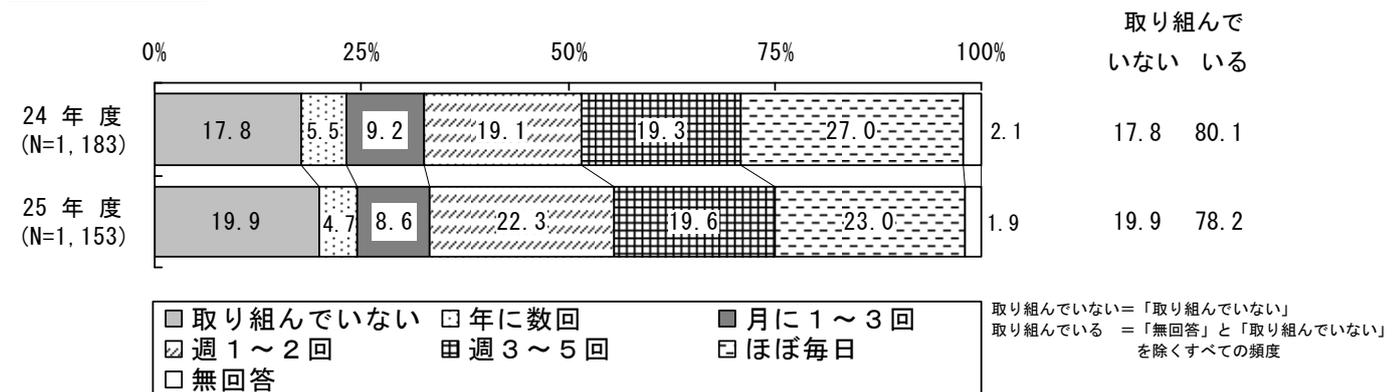
問17 あなたは、日常生活で健康の維持・増進のために意識して健康づくりに取り組んでいますか。
 (例：バランスのとれた食事、適度な運動、十分な睡眠など) (〇はひとつ)



*** 健康づくりに「取り組んでいる」のは78.2%、うち「ほぼ毎日」が23.0% ***

健康づくりの取り組み頻度について聞いたところ、「ほぼ毎日」(23.0%)が最も多く、次いで「週1～2回」(22.3%)、「週3～5回」(19.6%)となっており、「月1～3回」(8.6%)、「年に数回」(4.7%)を合わせた“取り組んでいる”は78.2%となっている。一方、「取り組んでいない」(19.9%)はおおよそ2割となっている。

【時系列比較】

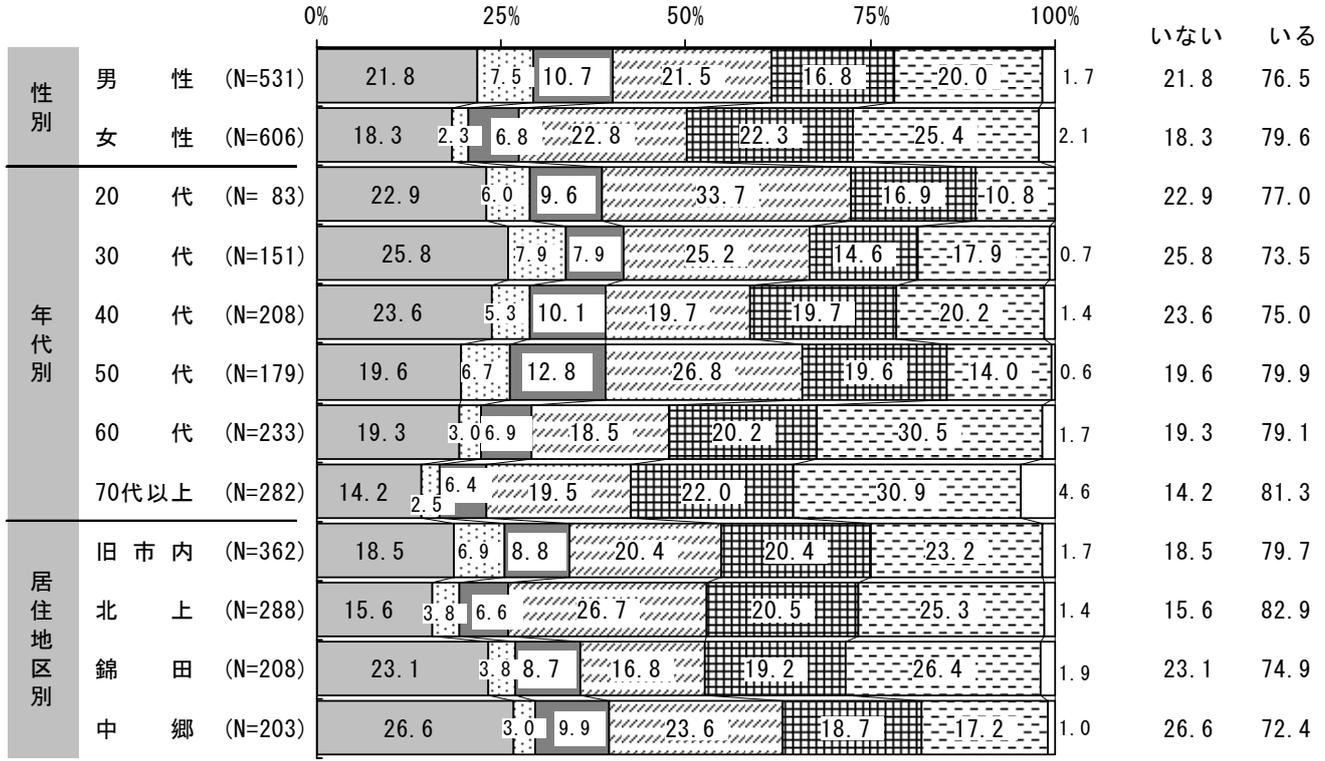


時系列で見ると、“取り組んでいる”(78.2%)は、24年度調査(80.1%)と比べ減少傾向にあり、約8割を占めている。

【属性別比較】

取り組んで

いない いる



- 取り組んでいない
- 月に1~3回
- 田 週3~5回
- 無回答
- 年に数回
- 田 週1~2回
- ほぼ毎日

取り組んでいない = 「取り組んでいない」
 取り組んでいる = 「無回答」と「取り組んでいない」を
 除くすべての頻度

性別

性別でみると、「取り組んでいる」（男性 76.5%、女性 79.6%）で、男性・女性ともおよそ8割となっている。「ほぼ毎日」は、女性（25.4%）が男性（20.0%）より多くなっている。

年代別

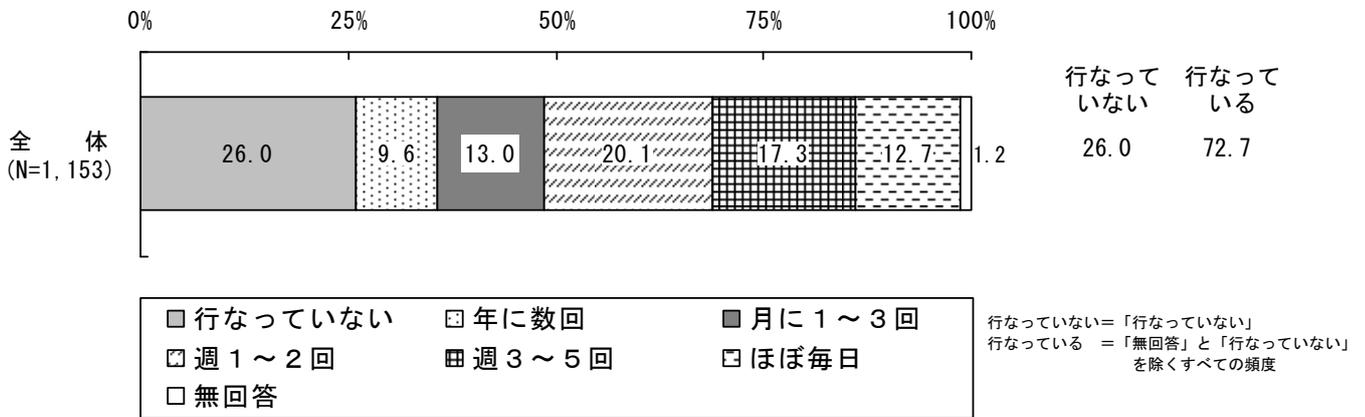
年代別でみると、「ほぼ毎日」は、70代以上（30.9%）、60代（30.5%）で多くなっている。一方、「取り組んでいない」は30代（25.8%）が多くなっている。

居住地区別

居住地区別でみると、「取り組んでいる」は、北上（82.9%）で最も多くなっている。一方、「取り組んでいない」は、中郷（26.6%）で2割台半ばと多くなっている。

6) この1年間の運動頻度

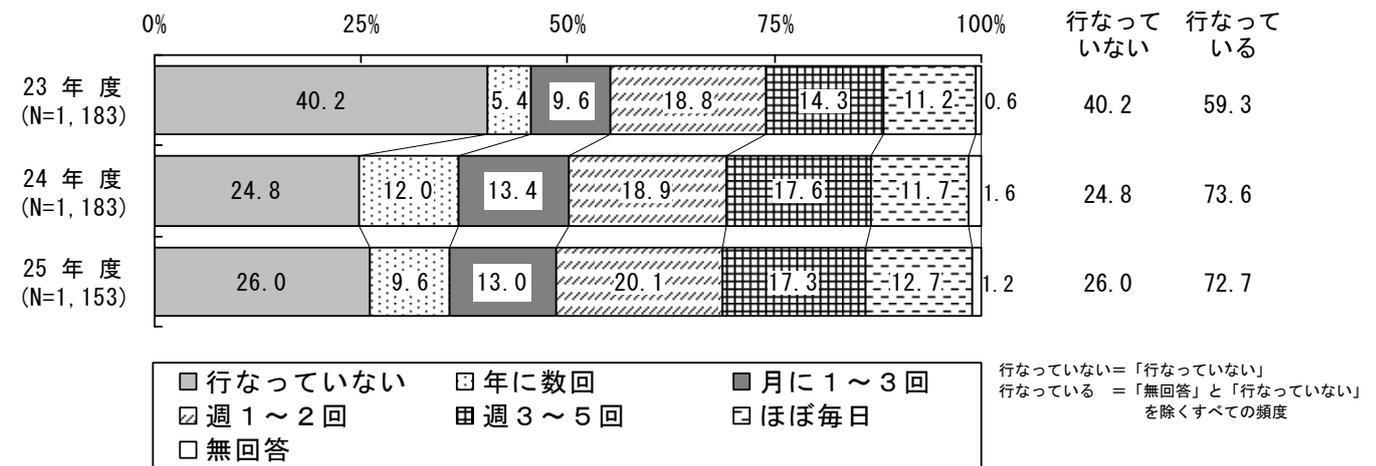
問18 あなたは、この1年で1回30分以上の運動を行なっていますか。(運動には、ジョギングやウォーキングも含まれます。)(○はひとつ)



*** 運動を行なっている人は72.7% ***

この1年間の運動頻度について聞いたところ、行なっている場合は「週1~2回」(20.1%)、「週3~5回」(17.3%)が多く、「月1~3回」(13.0%)、「ほぼ毎日」(12.7%)、「年に数回」(9.6%)を合わせた“行なっている”割合は72.7%となっている。一方、「行っていない」(26.0%)は、4人に1人の割合となっている。

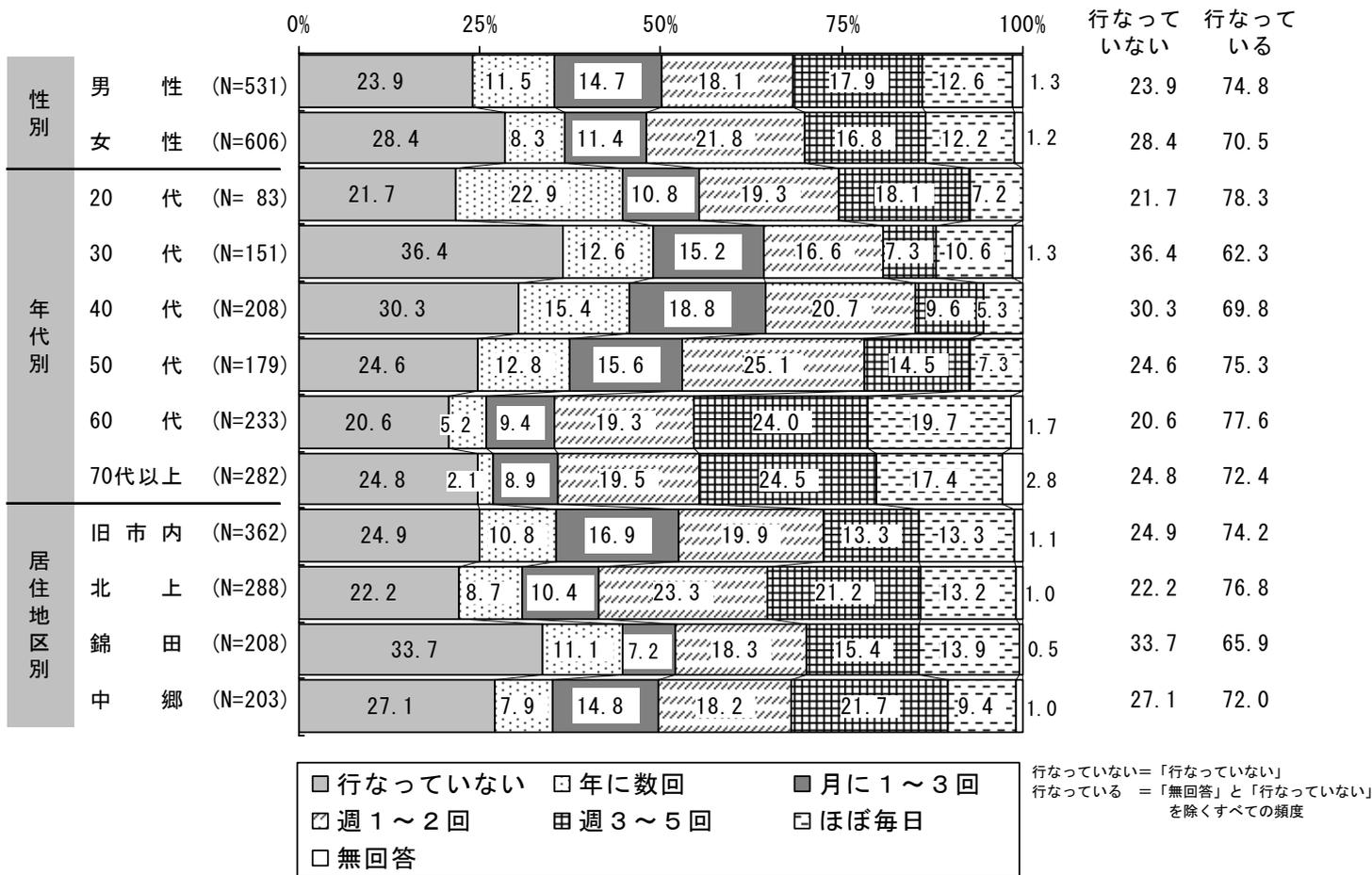
【時系列比較】



※23年度は「あなたは、1回30分以上の運動を行なっていますか。」という設問文章で調査を行なった。

時系列で見ると、“行なっている”(72.7%)は、23年度調査(59.3%)に比べ24年度調査(73.6%)で増加したが、再度減少傾向を示し、7割を超える。但し、23年度は「この1年で」という期間を定める文言がなかったため、このような結果となっている可能性がある。

【属性別比較】



性別

性別でみると、「行なっている」（男性 74.8%、女性 70.5%）は、男性・女性とも7割台となっている。「週1～2回」は、女性（21.8%）が男性（18.1%）より多くなっている。また、「年に数回」は男性（11.5%）が女性（8.3%）より多くなっている。

年代別

年代別でみると、「行っている」は20代（78.3%）で約8割と多く、一方、30代（62.3%）は少なくなっている。「ほぼ毎日」は60代以上（19.7%）、70代（17.4%）で多くなっている。また、「行っていない」は、30代（36.4%）、40代（30.3%）で3割を超え多くなっている。

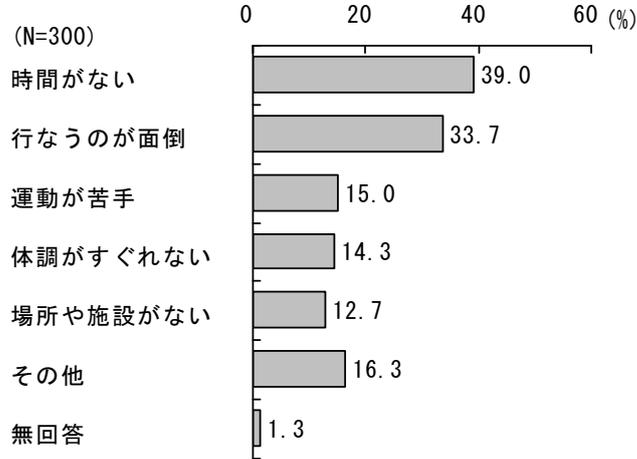
居住地区別

居住地区別でみると、「行なっている」は、北上（76.8%）、旧市内（74.2%）となっている。「行っていない」は錦田（33.7%）で3割を超え多くなっている。

7) 運動を行なわない理由

※問18で、「行っていない」と回答された方にお伺いします。

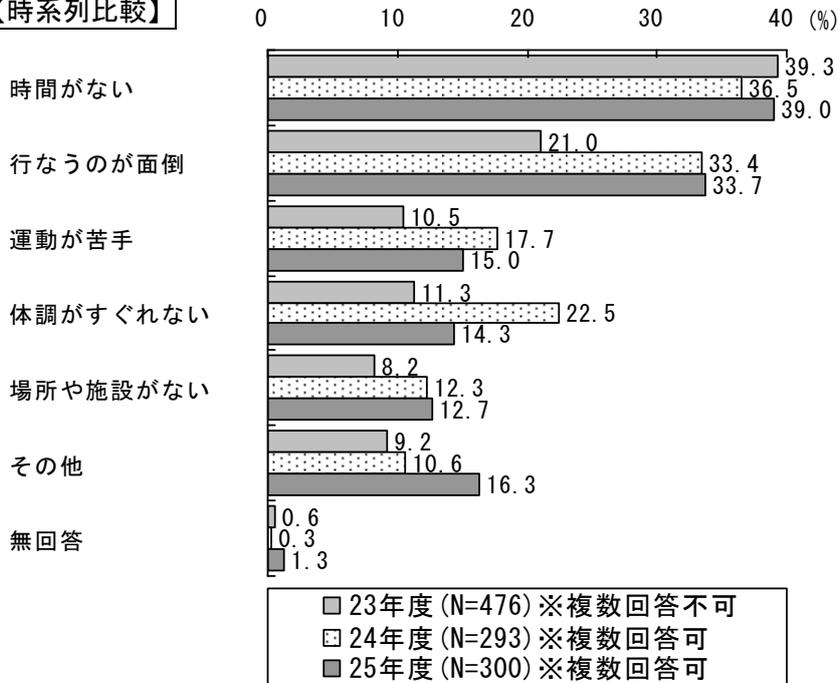
問18-1 運動を行なわない理由はなんですか。(○はあてはまるものすべて)



*** 運動を行なわない理由は「時間がない」が39.0% ***

この1年間で運動を行なわなかったと回答した人に、運動を行なわない理由について聞いたところ、「時間がない」(39.0%)が最も多く、次いで「行なうのが面倒」(33.7%)、「運動が苦手」(15.0%)などとなっている。

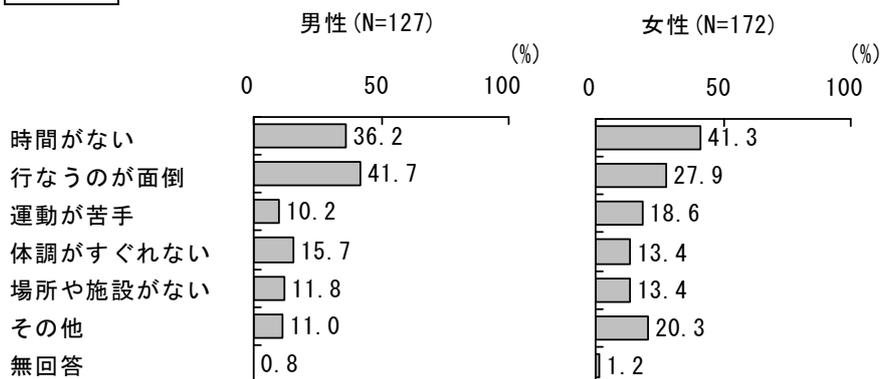
【時系列比較】



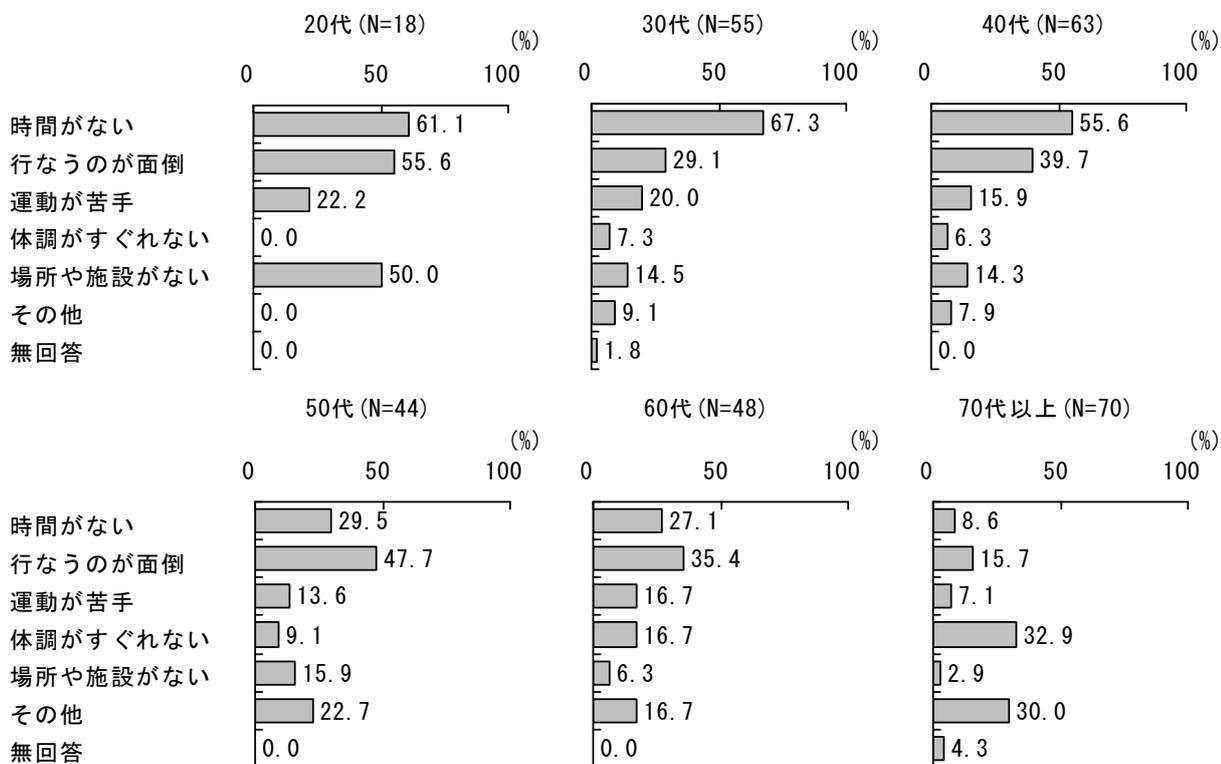
時系列で見ると、「時間がない」(39.0%)はいずれの年度でも最も多くなっている。また、「体調がすぐれない」(14.3%)は24年度調査に比べ、8ポイント以上低くなっている。但し、23年度は複数回答不可での回答であった。

【属性別比較】

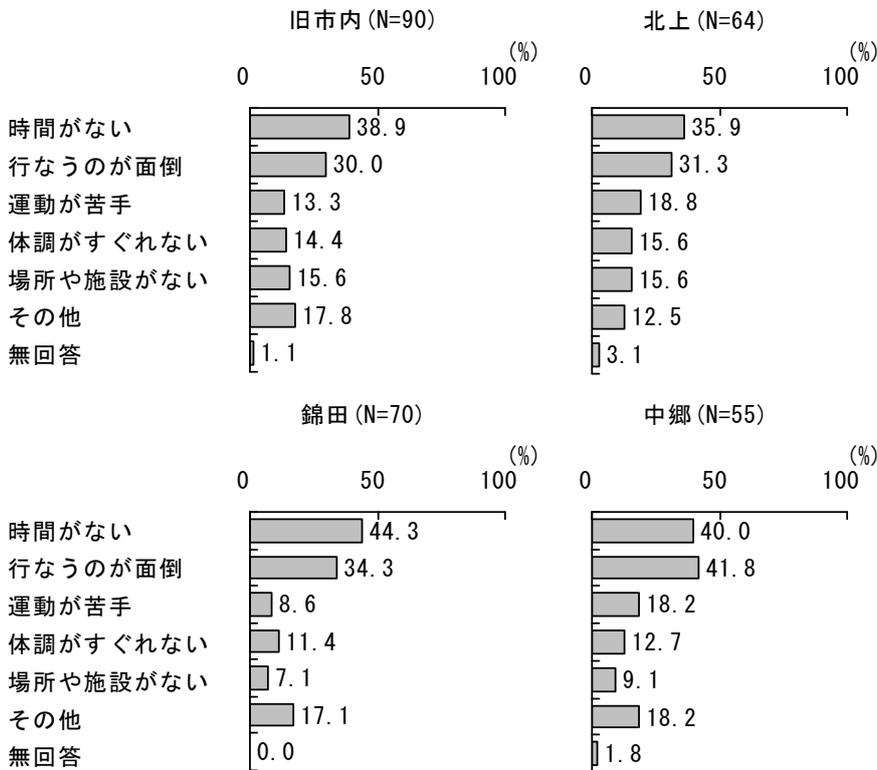
性別



年代別



居住地区別



性別

性別でみると、「行なうのが面倒」は、男性（41.7%）が、女性（27.9%）より大幅に多くなっている。また、「運動が苦手」は、女性（18.6%）が、男性（10.2%）より多くなっている。

年代別

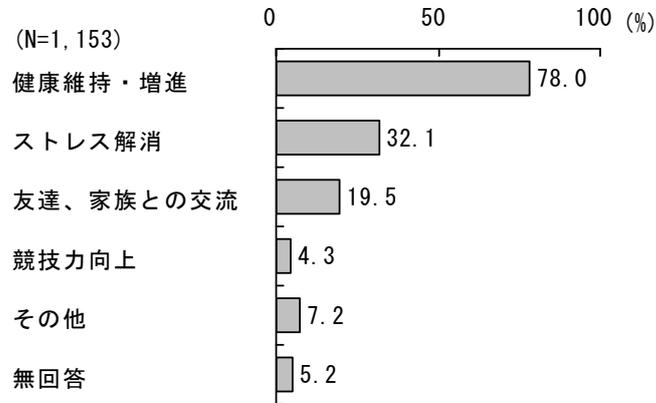
年代別でみると、「時間がない」は、20代から40代にかけて多くなっている。「行なうのが面倒」は、20代（55.6%）で半数を超え多くなっている。「体調がすぐれない」は、70代以上（32.9%）で3割を超え、多くなっている。

居住地区別

居住地区別でみると、「時間がない」は、錦田（44.3%）、中郷（40.0%）で4割を超え、多くなっている。また、「運動が苦手」は、錦田（8.6%）で約1割と少なくなっている。

8) 運動を行なう理由

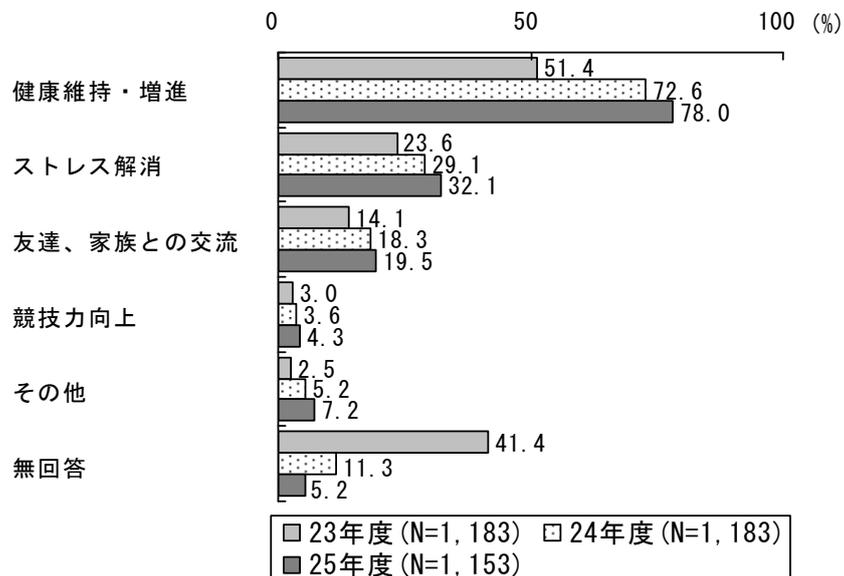
問19 あなたが運動を行なう理由はなんですか。(〇はあてはまるものすべて)



***** 運動を行なう理由は「健康維持・増進」が78.0% *****

運動を行なう理由について聞いたところ、「健康維持・増進」(78.0%)が最も多く約8割となっている。次いで「ストレス解消」(32.1%)、「友達、家族との交流」(19.5%)などとなっている。

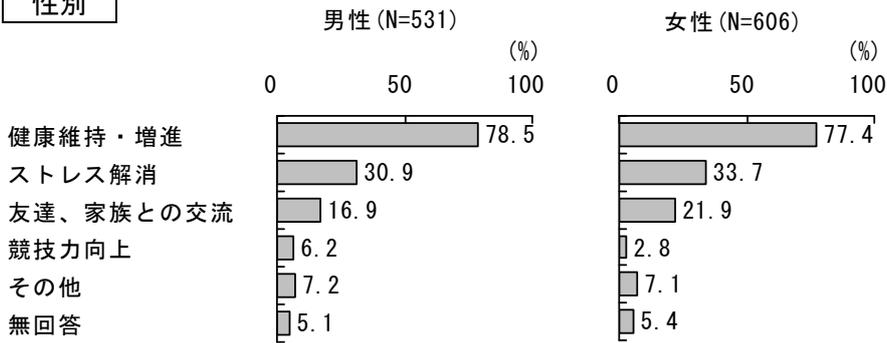
【時系列比較】



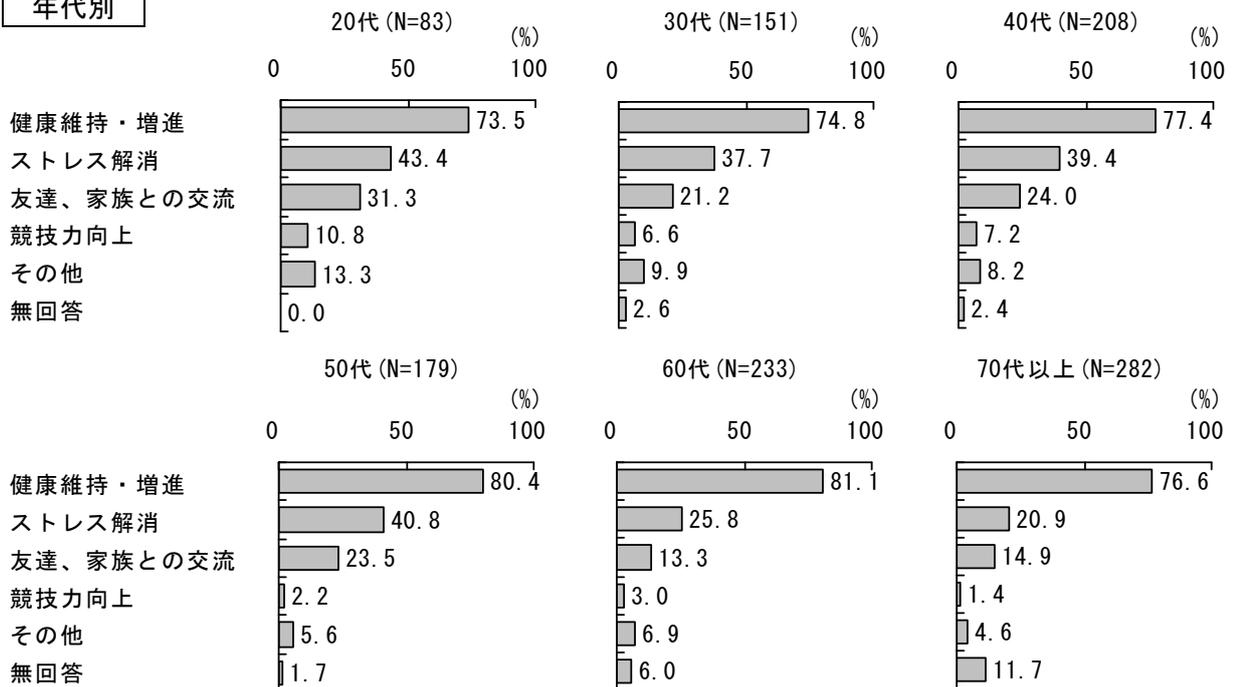
時系列で見ると、無回答を除く、すべての項目で23年度調査と24年度調査より増加している。「健康維持・増進」(78.0%)は24年度調査(72.6%)に比べ5ポイント以上増加している。

【属性別比較】

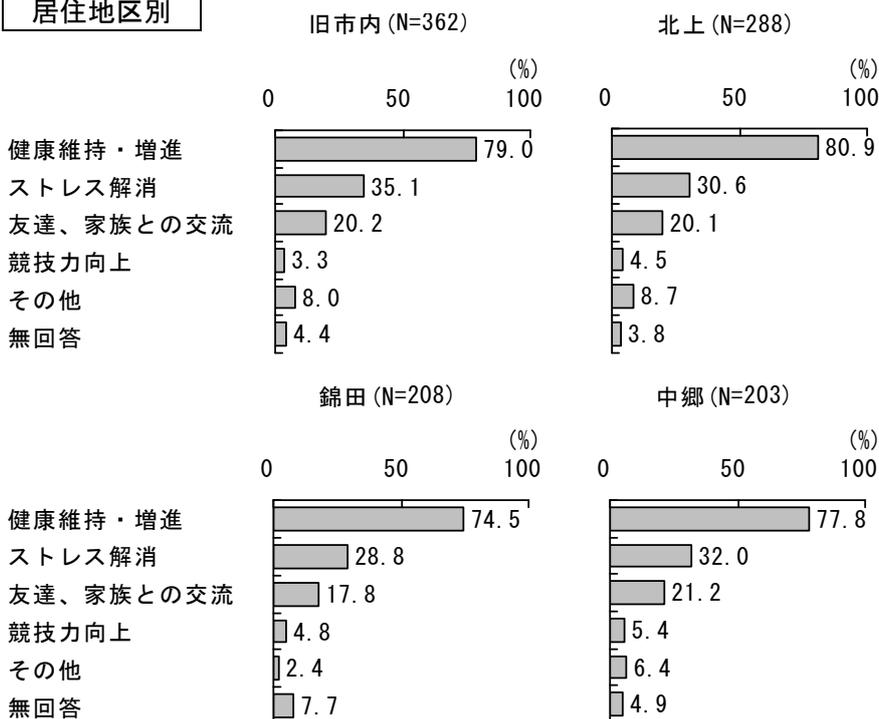
性別



年代別



居住地区別



性別

性別でみると、「友達、家族との交流」は、女性（21.9%）が、男性（16.9%）より多くなっている。

年代別

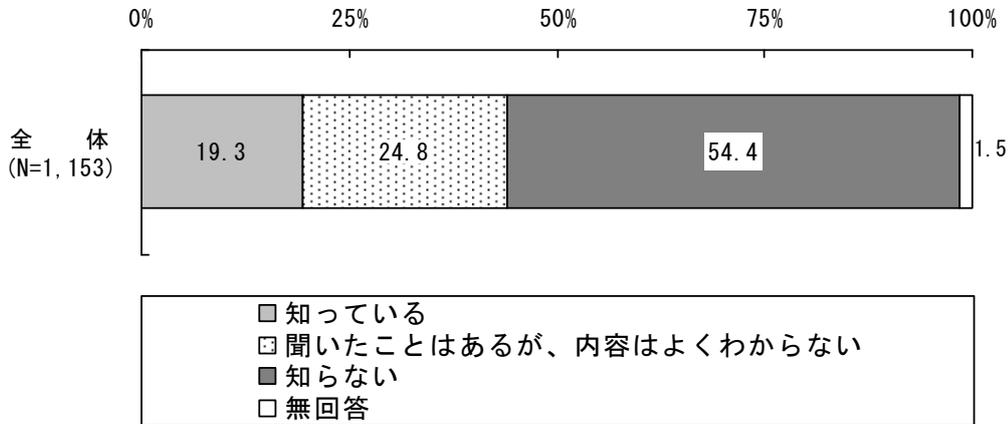
年代別でみると、「健康維持・増進」は、50代と60代で8割を超え、多くなっている。また、「ストレス解消」は、20代（43.4%）で4割台半ばと多くなっている。

居住地区別

居住地区別でみると、「友達、家族との交流」は、錦田（17.8%）で少なくなっている。

9) 健幸都市（スマートウエルネスみしま）の認知度

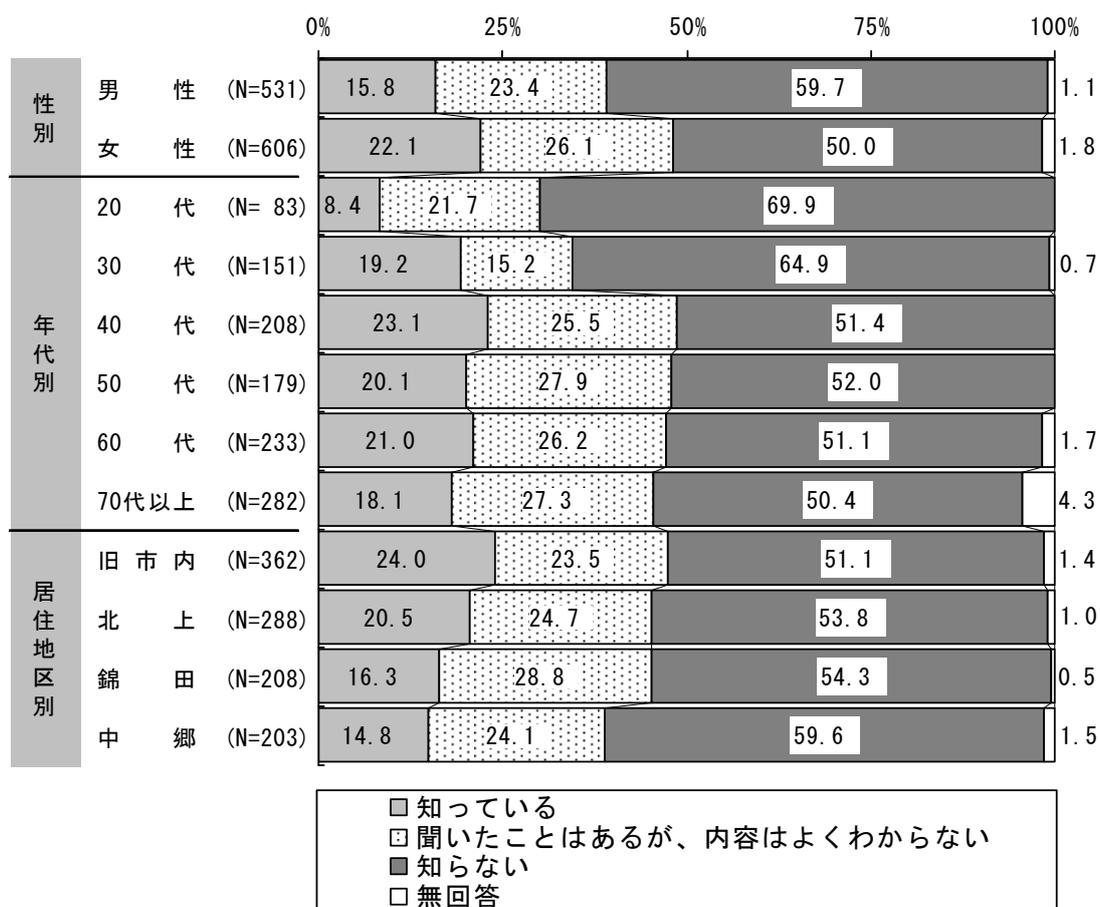
問20 三島市が健幸都市（スマートウエルネスみしま）の取組みを行なっていることを知っていますか。（○はひとつ）



*** 健幸都市(スマートウエルネス)を知っているのは 19.3% ***

健幸都市（スマートウエルネス）の認知度について聞いたところ、「知らない」（54.4%）が最も多く、次いで「聞いたことはあるが、内容はよくわからない」（24.8%）、「知っている」（19.3%）となっている。

【属性別比較】



性別

性別でみると、「知っている」は、女性（22.1%）が、男性（15.8%）より多くなっている。

年代別

年代別でみると、「知っている」は、40代（23.1%）が2割台半ばと最も多く、20代（8.4%）が1割以下と最も少なくなっている。

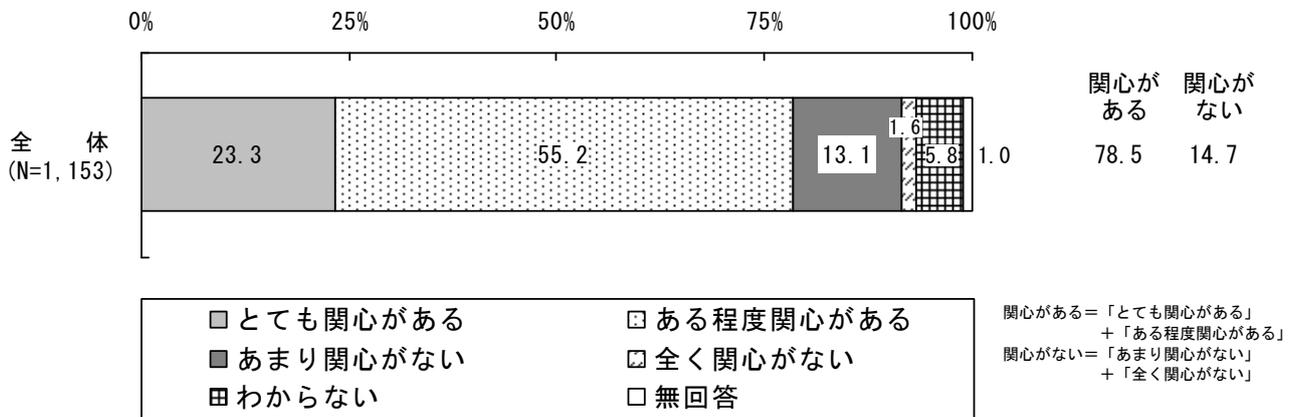
居住地区別

居住地区別でみると、「知っている」は、旧市内（24.0%）、中郷（14.8%）などとなっており、居住地区により差がみられる。

6 『福祉』について

1) 福祉の関心度

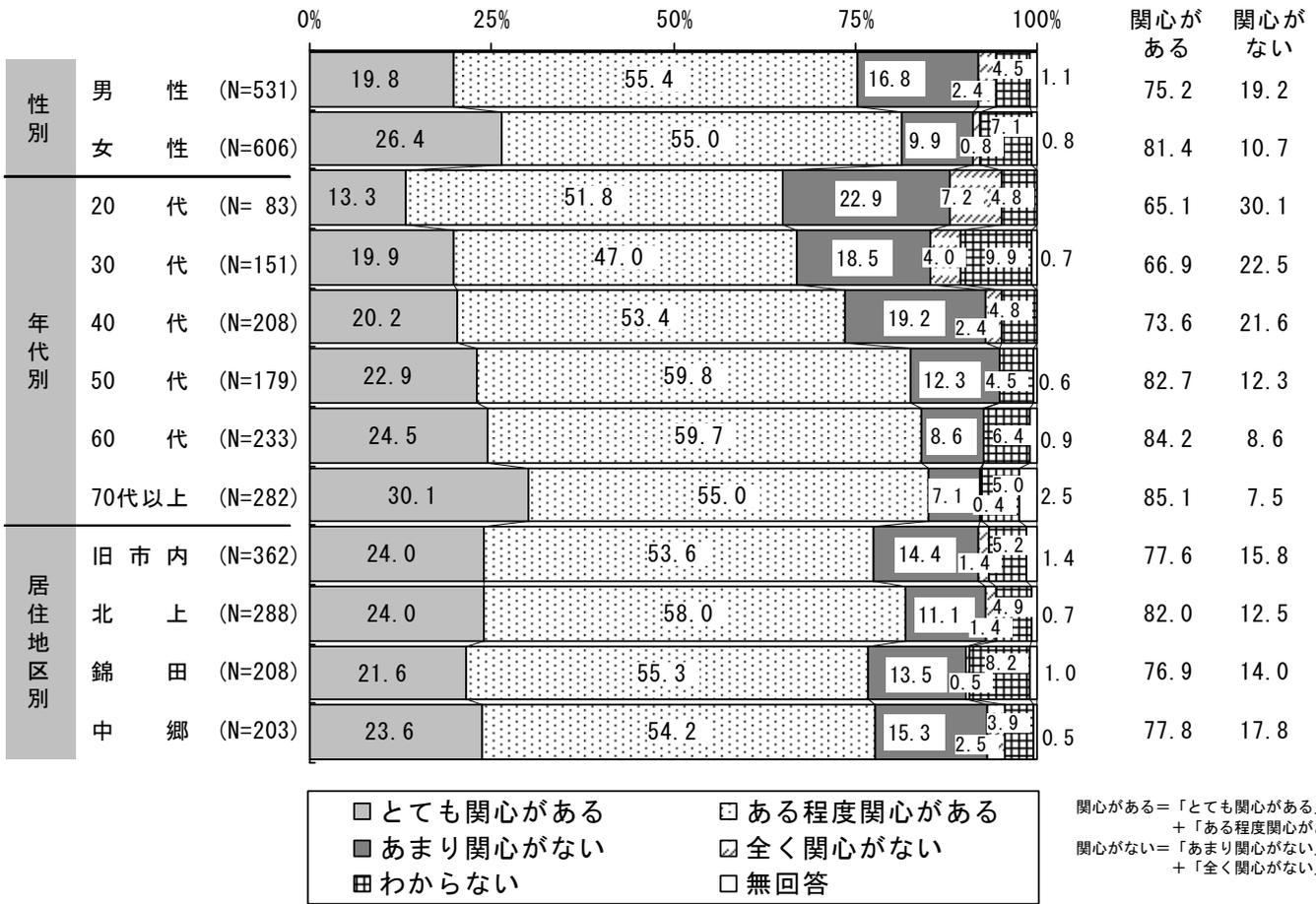
問2 1 あなたは「福祉」に関心がありますか。(○はひとつ)



*** 福祉に“関心がある”のは 78.5% ***

福祉の関心度について聞いたところ、「ある程度関心がある」(55.2%)が最も多く、「関心がある」(23.3%)と「ある程度関心がある」(55.2%)を合わせた“関心がある”は78.5%となっている。一方、「あまり関心がない」(13.1%)、「全く関心がない」(1.6%)を合わせた“関心がない”は14.7%となっている。

【属性別比較】



性別

性別でみると、「とても関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせた、福祉に“関心がある”は、女性（81.4%）が、男性（75.2%、）より多くなっている。「とても関心がある」でも同様の傾向を示し、女性（26.4%）が、男性（19.8%）より多くなっている。

年代別

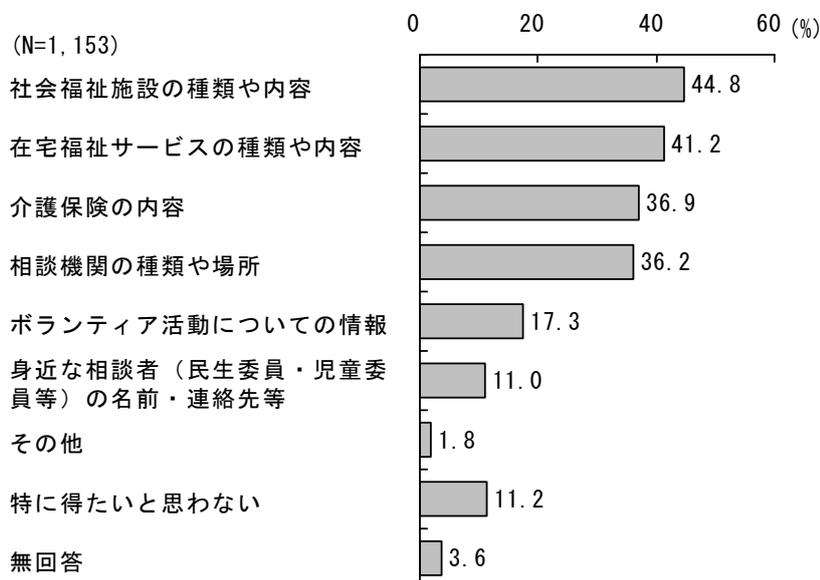
年代別でみると、「とても関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせた、福祉に“関心がある”は、70代以上（85.1%）で最も多く、年齢が下がるにつれ“関心がある”が少なくなる傾向となり、20代（65.1%）は、6割台半ばとなっている。

居住地区別

居住地区別でみると、「とても関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせた、福祉に“関心がある”は、北上（82.0%）で最も多く、一方、錦田（76.9%）では約7割台半ばとなっている。

2) 福祉に対して得たい情報と知識

問22 あなたは福祉に対してどのような情報・知識を得たいと思いますか。
 (〇はあてはまるものすべて)

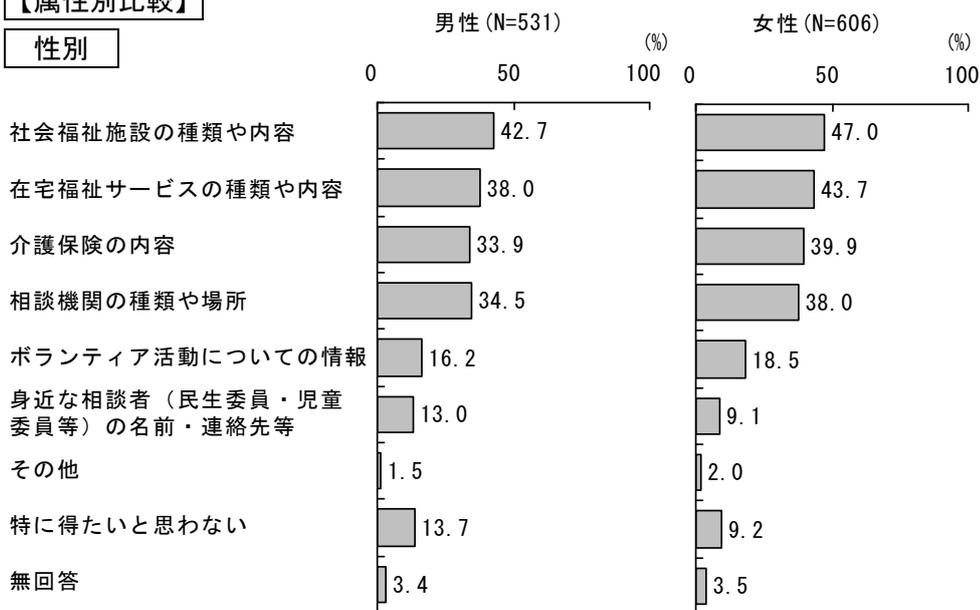


***** 福祉に対して得たい情報・知識は「社会福祉施設の種類や内容」が 44.8% *****

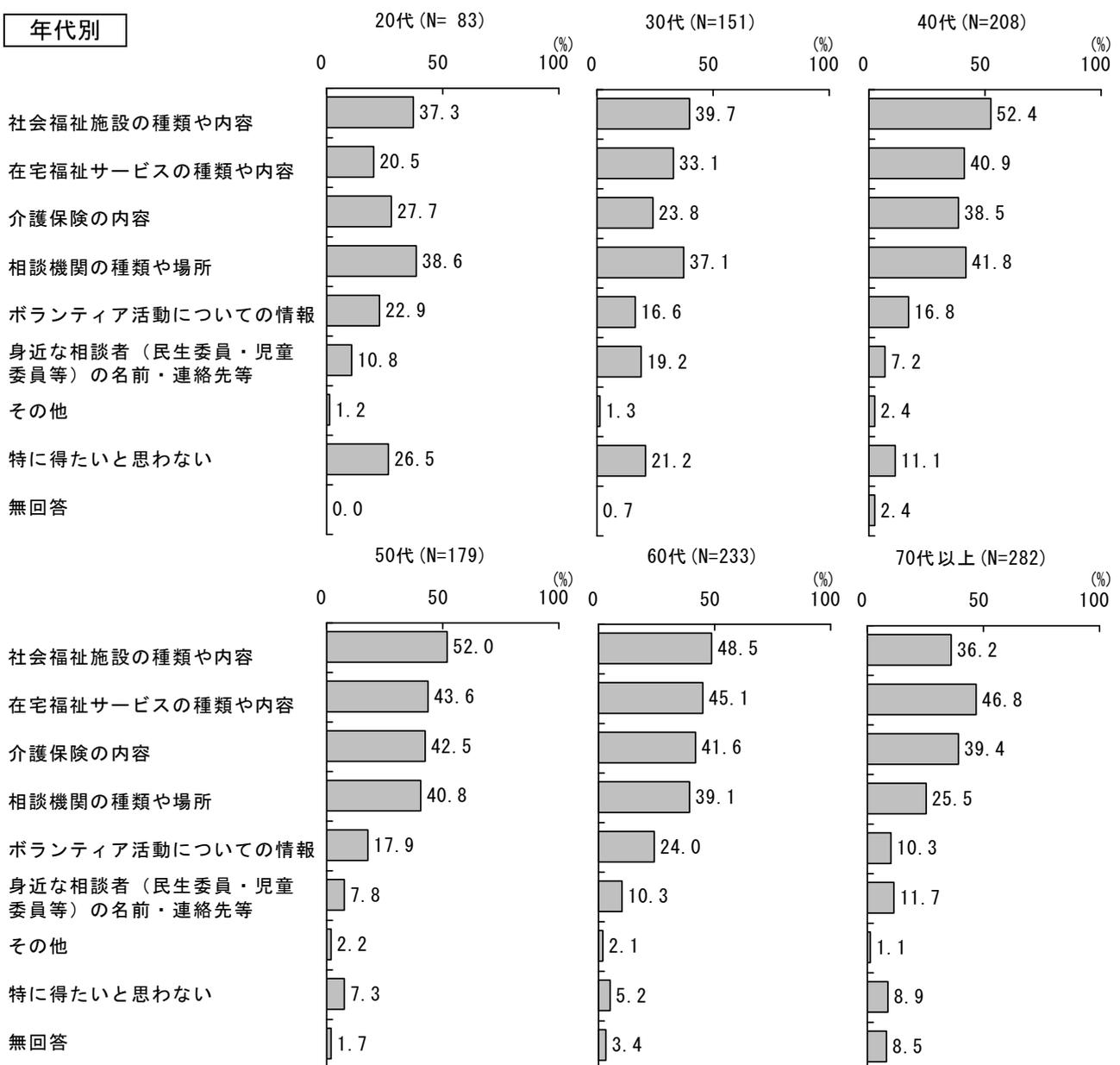
福祉に対して得たい情報・知識について聞いたところ、「社会福祉施設の種類や内容」(44.8%)が最も多く、次いで「在宅福祉サービスの種類や内容」(41.2%)、「介護保険の内容」(36.9%)などとなっている。一方、「特に得たいと思わない」(11.2%)は約1割となっている。

【属性別比較】

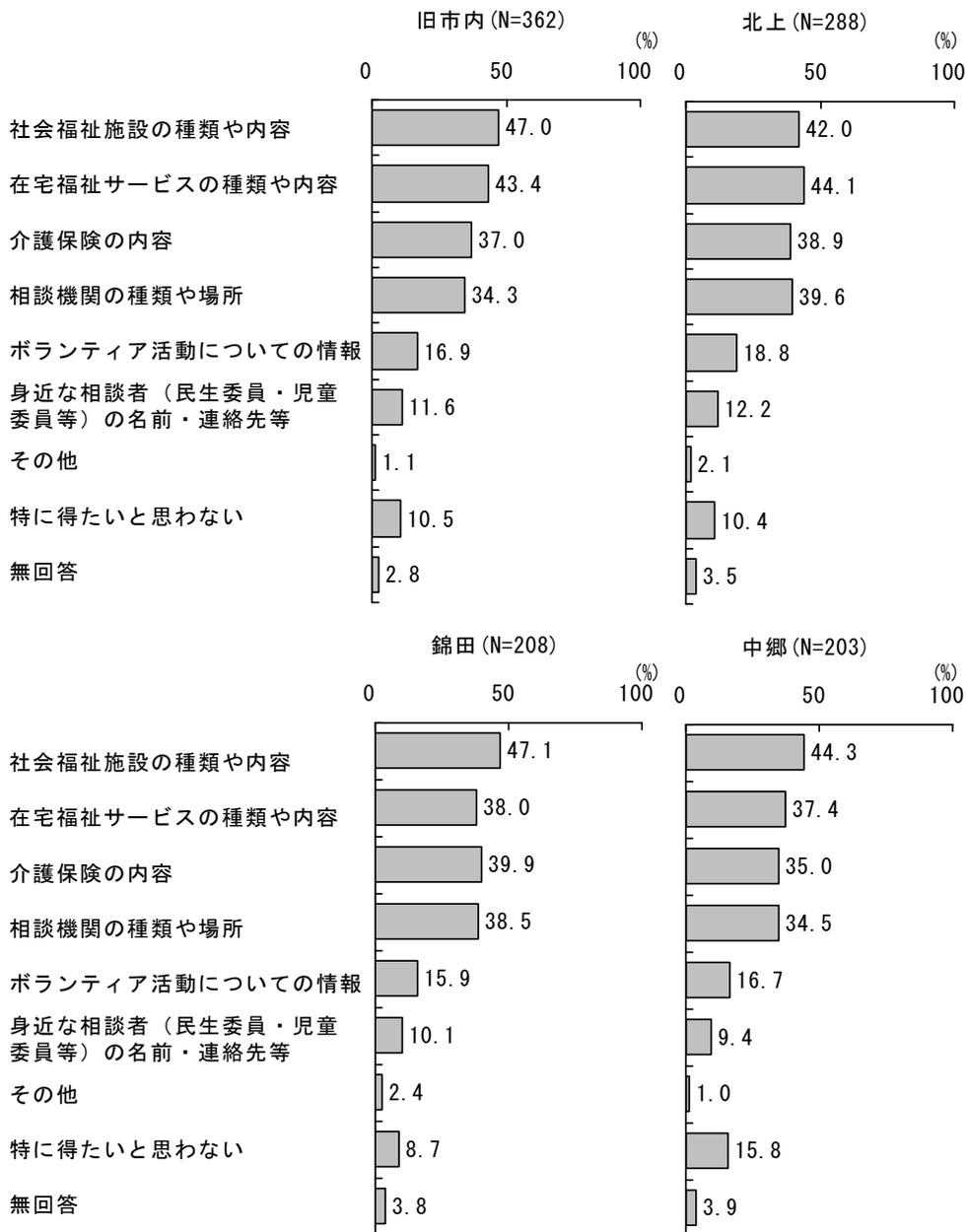
性別



年代別



居住地区別



性別

性別でみると、「社会福祉施設の種類や内容」は、女性（47.0%）が、男性（42.7%）より多くなっている。また、「身近な相談員（民生委員・児童委員等）の名前・連絡先等」は、男性（13.0%）が、女性（9.1%）より多くなっている。

年代別

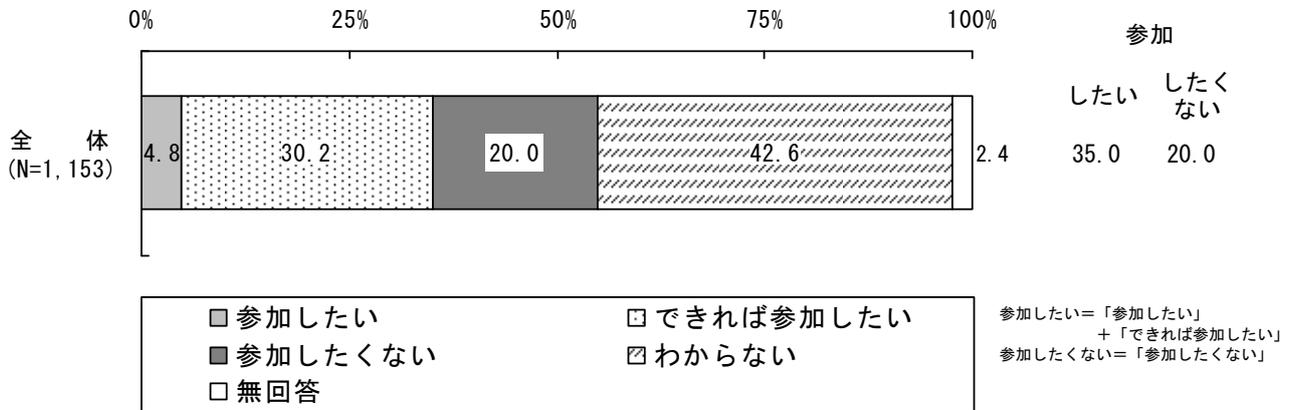
年代別でみると、「社会福祉施設の種類や内容」は、40代と50代で半数を超え、多くなっている。また、「相談機関の種類や場所」は、70代（25.5%）で2割台半ばと少なくなっている。

居住地区別

居住地区別でみると、「社会福祉施設の種類や内容」は、すべての居住地区で4割を超え、多くなっている。また、「身近な相談員（民生委員・児童委員等）の名前・連絡先等」は、中郷（9.4%）で約1割と少なくなっている。

3) 今後のボランティア活動への参加意向

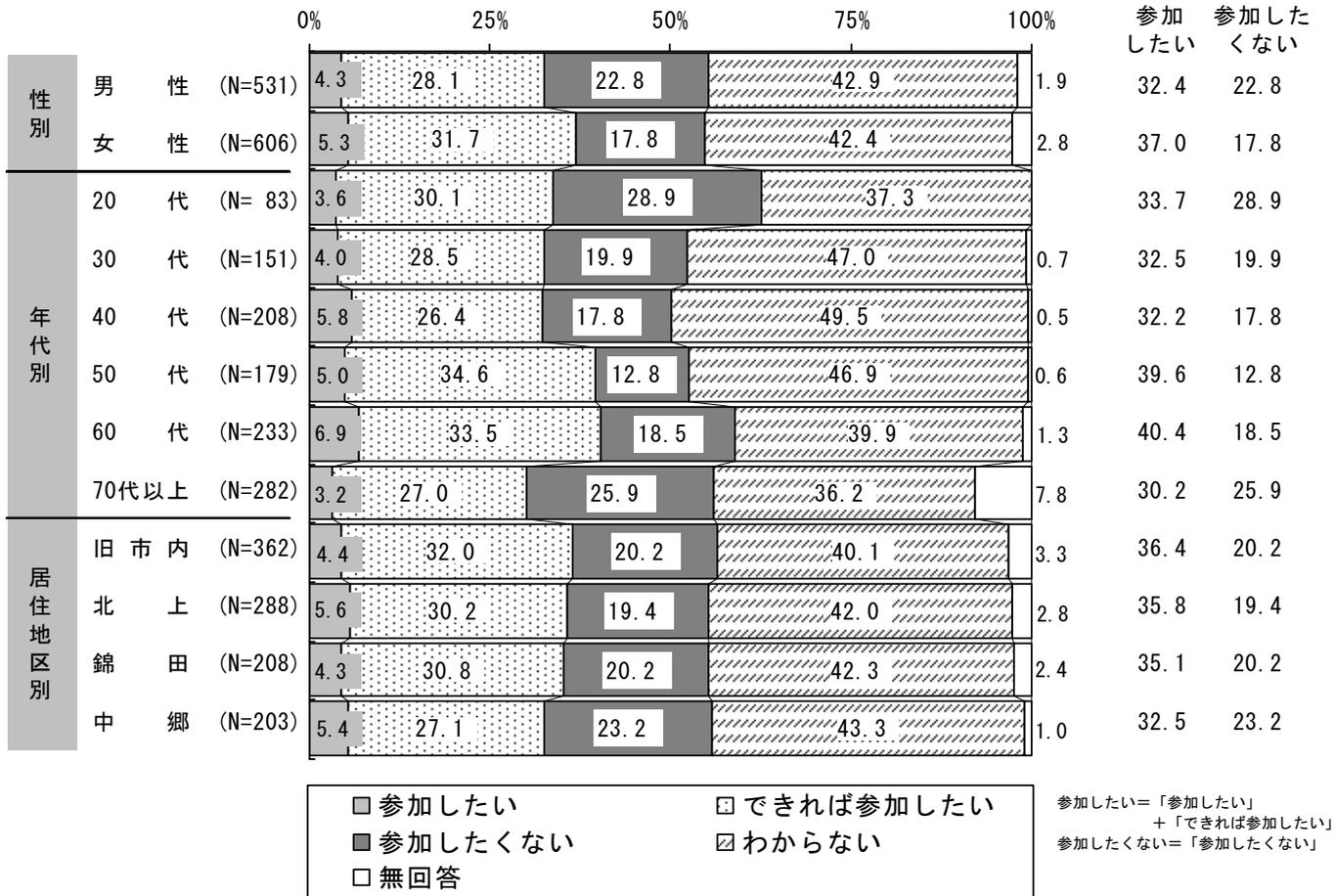
問23 あなたは今後、福祉のボランティア活動に参加したいと思いますか。(○はひとつ)



***** 福祉のボランティア活動に“参加したい”と思うのは 35.0% *****

今後のボランティア活動への参加意向について聞いたところ、「できれば参加したい」(30.2%)が最も多く、「参加したい」(4.8%)と合わせた“参加したい”は35.0%となっている。一方、「参加したくない」(20.0%)は2割となっている。

【属性別比較】



性別

性別でみると、「参加したい」と「できれば参加したい」を合わせた、福祉のボランティア活動に“参加したい”は、女性（37.0%）が、男性（32.4%）より多くなっている。

年代別

年代別でみると、「参加したい」と「できれば参加したい」を合わせた、福祉のボランティア活動に“参加したい”は、60代（40.4%）、50代（39.6%）で約4割と多くなっている。

居住地区別

居住地区別でみると、「参加したい」と「できれば参加したい」を合わせた、福祉のボランティア活動に“参加したい”は、旧市内（36.4%）、北上（35.8%）などとなっており、居住地区による差はみられない。

